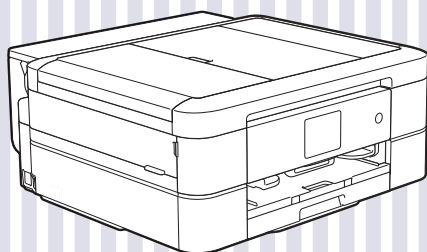


PRIVIO

MFC-J830DN/J830DWN

MFC-J900DN/J900DWN

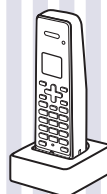
ユーザーズガイド ー基本編ー



《複合機本体》



《通信ボックス》



《子機》

本書「ユーザーズガイド 基本編」は、製品に関する全ての情報を含んでいません。

本書にない情報の詳細は、「マニュアルの構成」をご確認の上、それぞれのマニュアルをご覧ください。

2ページ

ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

<http://support.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようになしてください。

第1章
ご使用の前に

第2章
プリント

第3章
コピー

第4章
スキャン

第5章
NFC

第6章
デジカメプリント

第7章
電話

第8章
ファクス

第9章
電話帳

第10章
留守番機能

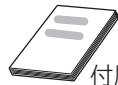
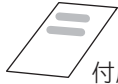
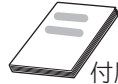
第11章
こんなときは

第12章
付録(索引)

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ 製品に付属されています

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。 はじめにお読みください。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属
3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について説明しています。	 付属

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	 http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/
ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク(HTML 形式) 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。 また、本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	
クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法などを説明しています。	
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.8.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法などを説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法などを説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>

● パソコンからユーザーズガイドを見るときは

- Windows® の場合：
 Brother Utilities から [サポート] - [ユーザーズガイド] をクリックし、開いたサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）から、見たいユーザーズガイドをダウンロードします。
 Brother Utilities については⇒ 8 ページ「Brother Utilities について（Windows® のみ）」
- Macintosh の場合：
 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>））からダウンロードしてご覧ください。

主な機能の目次

本製品の主な機能の一覧です。用途に応じてお読みください。

機能	内容	記載先のマニュアル名称
セットアップ	用紙をセットする	ユーザーズガイド 基本編
	パソコンに接続する	かんたん設置ガイド
	スマートフォンなどの携帯端末に接続する	かんたん設置ガイド
コピー	コピーする	ユーザーズガイド 基本編
	いろいろな機能を使ってコピーする（両面コピーなど）	ユーザーズガイド 応用編
プリント	パソコン（Windows®、Macintosh）から印刷する	ユーザーズガイド 基本編
	はがき（年賀状）に印刷する	ユーザーズガイド 基本編
	記録ディスクに印刷する（レーベルプリント）（MFC-J900DN/J900DWN のみ）	ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	スマートフォンなどの携帯端末から印刷する（Brother iPrint&Scan）	モバイルプリント&スキャンガイド
	AirPrint 機能を使って印刷する	AirPrint ガイド
	Google クラウドプリント機能を使って印刷する	Google クラウドプリントガイド
	クラウドサービスからデータをダウンロードして印刷する	クラウド接続ガイド
電話	電話をかける、電話を受ける	ユーザーズガイド 基本編
	留守番電話機能を使う	ユーザーズガイド 基本編
ファクス	ファクスを送る、受け取る	ユーザーズガイド 基本編
	パソコンにファクスを転送する	ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	パソコンからファクスを送る、パソコンでファクスを受信する	ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	スマートフォンなどの携帯端末からファクスを送る、受信したファクスを携帯端末で表示する（Brother iPrint&Scan）	モバイルプリント&スキャンガイド
スキャン	本体からスキャンする	ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	パソコンからスキャンする	ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	スマートフォンなどの携帯端末からスキャンする（Brother iPrint&Scan）	モバイルプリント&スキャンガイド
	スキャンしたデータをクラウドサービスに保存する	クラウド接続ガイド
デジカメプリント	写真をプリントする	ユーザーズガイド 基本編
こんなときは	画面にエラーメッセージが表示されたときは	ユーザーズガイド 基本編
	トラブル解決（困ったときは）	ユーザーズガイド 基本編
	製品仕様について	ユーザーズガイド 応用編

サポートサイトのご紹介

本製品に関する問題やご質問があるときは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）をご確認ください。

<http://support.brother.co.jp/>

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）では：

- 目的別やアクセスの多い質問別など、色々な方法で検索できます。
- 質問に関連する情報を表示します。
- お客様の声をもとに定期的に更新しています。

よくあるご質問（Q&A）

お問い合わせ分類

アクセスランキング

新着Q&A

 **製品の使い方、トラブル解決**

▶ エラー表示

▶ 紙詰まり、紙送り

▶ 印刷

▶ スキャン

▶ コピー

▶ 電話

▶ ファクス

▶ スマートフォン、タブレット端末

▶ クラウド

▶ はがき印刷

▶ フォトメディアキャプチャー

▶ その他

 **製品セットアップ関連**

▶ 本体設置、設定

▶ ドライバー、ソフトウェア

▶ ネットワーク設定

 **消耗品、製品のお手入れ**

▶ 消耗品、用紙、オプション

▶ 製品のお手入れ

 **その他**

▶ 製品に関する一般的な質問

▶ OSのサポート情報

質問文から探す

例）紙が詰まった

検索

▶ Q&A番号から探す

お問い合わせ分類

アクセスランキング

新着Q&A

※サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）は継続的に更新を行っております。この画面は予告なく変更されることがあります。

目次

マニュアルの構成	2
主な機能の目次	3
サポートサイトのご紹介	4
目次	5
本書の見かた	7
編集ならびに出版における通告	7
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	7
Brother Utilities について (Windows® のみ)	8

第 1 章 ご使用の前に 9

必ずお読みください

各部の名称とはたらき	9
操作パネル	9
待ち受け画面	10
メニュー	11
通信ボックス	12
子機	13
用紙のセット	16
用紙トレイにセットする	16
スライドトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	18
手差しトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	20
多目的トレイにセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	21
トレイ確認を設定する	23
用紙の種類とサイズを設定する	23
原稿のセット	24
原稿台ガラスに原稿をセットする	24
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	24
記録ディスクをセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	26
記録ディスクをセットする	26
記録ディスクを取り出す	27
必要に応じて設定する	28
日付と時刻を設定する	28
音量を設定する	28
保留 / 着信メロディを設定する	28
回線種別を設定する	28
留守モードと在宅モードについて	28
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない (無鳴動受信)	28
呼出ベル回数を設定する	29
再呼出の設定をする	30
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	31
キャッチホン・ディスプレイサービスを 利用する	31

第 2 章 プリント 32

プリンターとして使う	32
Windows® の場合	32
Macintosh の場合	32
はがき (年賀状) に印刷する	33

第 3 章 コピー 34

コピーする	34
コピーする	34
設定を変えてコピーするには	34

第 4 章 スキャン 36

スキャンする	36
スキャンしたデータをパソコンに保存する	36
付属のアプリケーションソフト ControlCenter を 使ってスキャンする	36

第 5 章 NFC 38

NFC 機能を使って印刷 / スキャンする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	38
NFC (近距離無線通信) で印刷 / スキャンする ...	38

第 6 章 デジカメプリント 39

写真をプリントする	39
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内 の画像を見る / プリントする	39

第 7 章 電話 40

電話をかける / 受ける	40
電話をかける	40
電話を受ける	40
電話帳からかける	40
通話を保留にする	40
通話を録音する	41
録音した通話を再生 / 消去する	41
いろいろな電話のかけかた	42
通話中の各種操作	43
電話を取り次ぐ	44
電話を取り次ぐ	44
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	44
内線通話をする	45
子機から子機へかける	45
3人で同時に話す (トリプル通話)	45
かかってきた電話を拒否する	46
通話中に電話を拒否する	46

通話前に電話を拒否する	46
オプションサービスを利用する	47
キャッチホンで電話を受ける	47
着信鳴り分けを設定する	48
迷惑電話指定する	49

第 8 章 ファクス50

送信 / 受信

本製品のファクス送信 / 受信のしくみ	50
送信のしくみ	50
受信のしくみ	50
ファクスを送る	51
ファクスを送る	51
ファクスを受ける	53
自動的に受ける	53
電話に出ってから受ける	53

通信管理

発信元を登録する	54
送信したファクスに印刷される自分の名前と 番号を登録する	54

第 9 章 電話帳55

電話帳に登録する	55
複合機本体の電話帳に登録する	55
子機の電話帳に登録する	56

第 10 章 留守番機能57

留守番機能を設定する	57
留守番機能で設定できること	57
メッセージの録音時間を設定する	58
応答メッセージを録音する	59
留守録モニターを設定する	60
出かけるとき	61
留守番機能をセットする	61
留守応答メッセージを選ぶ	61
帰ってきたとき	62
留守番機能を解除する	62
メモリー内の留守録メッセージを 再生 / 消去する	62

第 11 章 こんなときは64

子機のバッテリーを交換するときは	64
紙が詰まったときは	66
用紙が詰まったときは	66
ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは （MFC-J900DN/J900DWN のみ）	78
ディスクが詰まったときは （MFC-J900DN/J900DWN のみ）	79
ディスクが前面に詰まったときは	79
ディスクが背面に詰まったときは	79

印刷品質が良くないときは	81
印刷品質をチェックする	81
罫線ずれ、文字ぶれを改善する	82
スキャナー（読み取り部）を清掃する	82
給紙ローラーを清掃する	83
画面にメッセージが表示されたときは	84
複合機本体のメッセージ	84
子機のメッセージ	93
無線 LAN 設定で困ったときは （無線 LAN レポート）	95
故障かな？と思ったときは （修理を依頼される前に）	96
複合機本体と通信ボックスの通信が うまくいかないときは	117
通信ボックスとの接続を確認する	117
通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の 状態に戻す（通信ボックスの再接続）	117
ファクス通信で困ったときは	118
エラーが発生したときのファクスの転送方法	118
回線環境を改善する	119
初期状態に戻す	121
初期化内容一覧	121
初期化のしかた	122
こんなときは	124
子機を増設する / 登録抹消する	124
停電になったときは	124
本製品のシリアルナンバーを確認する	125
本製品のファームウェアのバージョンや 更新情報を確認する	125
本製品を輸送するときは	126
本製品を廃棄するときは	126

第 12 章 付録127

索引	127
関連製品のご案内	130
innobella	130
消耗品	130
消耗品などのご注文について	131
インクカートリッジの回収・リサイクルの ご案内	131
アフターサービスのご案内	

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があります。かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J830DN、MFC-J830DWN、MFC-J900DN、MFC-J900DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J900DN のイラストを代表で使用しています。ただし、モデル限定のある機能については、該当製品のイラストを使用して説明します。

操作パネルのボタンについては、黒色タイプのイラストを使用しています。お使いのモデルによっては本書で使用する操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2015 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://support.brother.co.jp/>

Brother Utilities について (Windows® のみ)

パソコンに本製品のプリンタードライバーをインストールすると [Brother Utilities] アイコン  が表示されます。[Brother Utilities] は、さまざまな機能を実行できるソフトウェアです。

1 Brother Utilities を選ぶ

- Windows® XP、Windows Vista®, Windows® 7 の場合
スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] -  (Brother Utilities) の順にクリックします。
- Windows® 8 の場合
スタート画面またはデスクトップ上の  (Brother Utilities) をダブルクリックまたはタップします。
- Windows® 8.1 の場合
スタート画面の左下の  をクリックします。(タッチパネルをご使用の場合は、下から上へスワイプしても、アプリ画面が表示されます。)
アプリ画面が表示されたら  (Brother Utilities) をクリックまたはタップします。

[Brother Utilities] ダイアログボックスが表示されます。

2 モデル名を選択する



3 ナビゲーションバーのメニューからお使いになる機能を選ぶ

ドライバーをアンインストールする (Windows® のみ)

ドライバーをアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

1 (Brother Utilities) をクリックまたはタップする

[Brother Utilities] ダイアログボックスが表示されます。

2 モデル名を選択する

3 ナビゲーションバーから [ツール] - [アンインストール] をクリックする

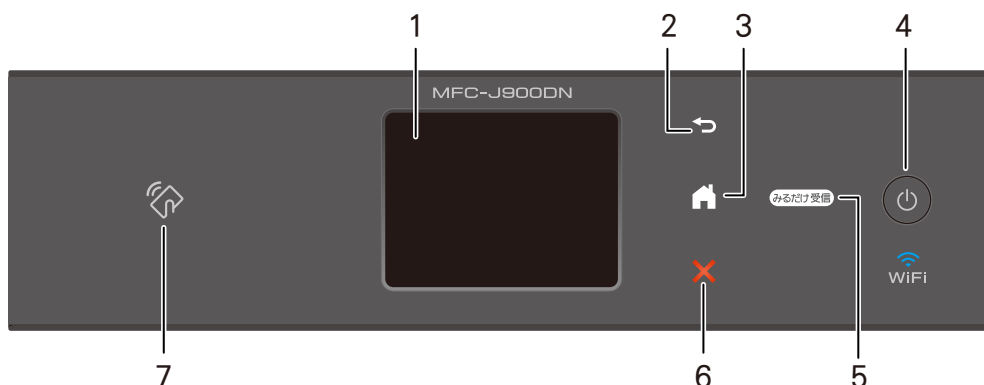
4 画面の指示に従って操作する

ドライバーとソフトウェアがアンインストールされます。

各部の名称とはたらき

必ずお読みください

操作パネル

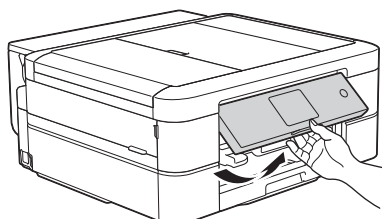


1	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第1章「画面の操作方法」
2	戻るボタン	1 つ前の画面に戻すときに押します。
3	ホームボタン	設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。
4	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。
5	みるだけ受信ボタン	「みるだけ受信」が設定されている場合、ファクスを受信すると点滅して知らせます。
6	停止ボタン	処理中の動作を中止するときに押します。
7	NFC（近距離無線通信）マーク（MFC-J900DN/J900DWNのみ）	NFCを搭載したAndroid™ 端末をこの位置にかざして、Android™ 端末から直接印刷したり、本製品でスキャンしたデータをAndroid™ 端末に転送することができます。 ⇒ 38 ページ「NFC 機能を使って印刷 / スキャンする（MFC-J900DN/J900DWNのみ）」

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあとすぐには、タッチパネルに触れないでください。エラーを引き起こす恐れがあります。本製品の操作は待ち受け画面（⇒ 10 ページ）が表示されてから行ってください。
- 複合機本体の電源をオンにすると、自動的に通信ボックスと接続します。複合機本体が電源オフ時にファクスを受信していた場合は、電源をオンにすると、通信ボックスとの接続に加え、ファクスデータの転送が始まります。複合機本体で操作ができるようになるまでしばらくお待ちください。

- 操作パネルは使いやすい角度に調整してください



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

待ち受け画面

本製品には 3 タイプの待ち受け画面が用意されています。画面上の ◀▶ を押すと、3 タイプの待ち受け画面のあいだを自由に移動できます。



1	日時/メッセージ表示		現在の日時が表示されます。ファクスを受信したり、エラーが発生すると、この位置にアイコンとともにメッセージが表示されます。メッセージが重複した場合は交互に表示されます。
			年賀状サービスやお役立ちツールに新しい機能が追加されたときに、お知らせが表示されます。(本製品がインターネット接続されている場合のみ) また、みただけ受信やメモリ保持など、ファクスをメモリーに保存する設定にしている場合に、ファクスを受信すると新着ファクスの件数が表示されます。
			エラーが発生した場合は、メッセージを表示してお知らせします。メッセージ右側の【詳細】を押すと、現在の状態や保守手順を表示します。 ⇒ 84 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。を押すと待ち受け画面に戻ります。
2	静音モード表示		静音モード設定になっている場合に表示されます。お買い上げ時は【オフ】に設定されています。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「印刷音を軽減する」
			本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続するときに押します。 (Wi-Fi® 接続されていることを示す表示ではありません。) 設定について詳しくは、⇒かんたん設置ガイド
			無線 LAN 接続時に、電波状態を 3 段階 (. , 2 , 3) で表示します。
			無線 LAN アクセスポイントとつながらない場合に表示されます。
3	Wi-Fi 設定ボタン / 無線 LAN 状態		無線 LAN 設定が無効になっている場合に表示されます。
			無線 LAN 接続時に、電波状態を 3 段階 (. , 2 , 3) で表示します。
			無線 LAN 接続時に、電波状態を 3 段階 (. , 2 , 3) で表示します。
			無線 LAN アクセスポイントとつながらない場合に表示されます。
4	モードボタン		押すと各モードに切り替わります。 ファクス/コピー/スキャン/デジタルカメラプリント/レーベルプリント (MFC-J900DN/J900DWN のみ) /クラウド/お役立ちツール/年賀状アプリ クラウド、お役立ちツールについて詳しくは、⇒クラウド接続ガイド
5	メニューボタン		メニューを表示させるときに押します。 ⇒ 11 ページ「メニュー」
6	インク残量表示 / インクメニューボタン		マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクメニューが表示されます。
7	お気に入り設定ボタン		よく使う機能やこだわりの設定内容を登録してワンタッチで呼び出せるようにします。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「お気に入りを登録する」

本製品には ARPHIC TECHNOLOGY CO.,LTD. 製のフォントを採用しております。

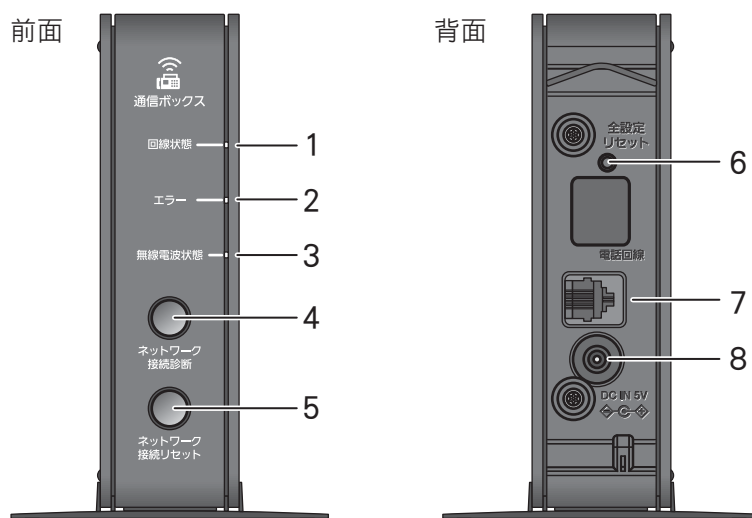
メニュー

待ち受け画面の【メニュー】を押すと表示されるメニューです。



1	メンテナンスボタン	押すと下記のメンテナンスメニューが表示されます。 印刷品質のチェックと改善／ヘッドクリーニング／給紙ローラーのクリーニング (MFC-J900DN/J900DWN のみ)／インク残量／インクカートリッジ型番／ディスクプリント位置調整 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
2	日時表示 / 時計セットボタン	現在の日時が表示されており、押すと時計セットの画面に飛びます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「日付と時刻を設定する」
3	Wi-Fi 接続・電波状態表示 / Wi-Fi 設定ボタン	無線 LAN 設定のオン / オフが表示されます。押すと Wi-Fi 設定の画面に飛びます。無線 LAN 接続時は、電波状態を 3 段階（. 〆 〰）で表示します。
4	みるだけ受信オン・オフ表示 / みるだけ受信設定ボタン	現在のファクスの見かたが表示されており、押すとみるだけ受信のオン・オフ設定ができます。 • オン（チェックマーク）： 受信したファクスは印刷されず、画面上で確認します。 • オフ（×マーク）： 受信したファクスは印刷されます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファクスの見かた」
5	全てのメニューボタン	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下 7 つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。 基本設定／お気に入り設定／ファクス／電話／ネットワーク／レポート印刷／製品情報／初期設定 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 9 章「機能一覧」
6	用紙トレイ設定ボタン	押すと用紙トレイ設定の画面に飛びます。用紙トレイの用紙タイプと用紙サイズを変更することができます。 ⇒23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」
7	接続確認ボタン	通信ボックスとの接続状態が確認できます。

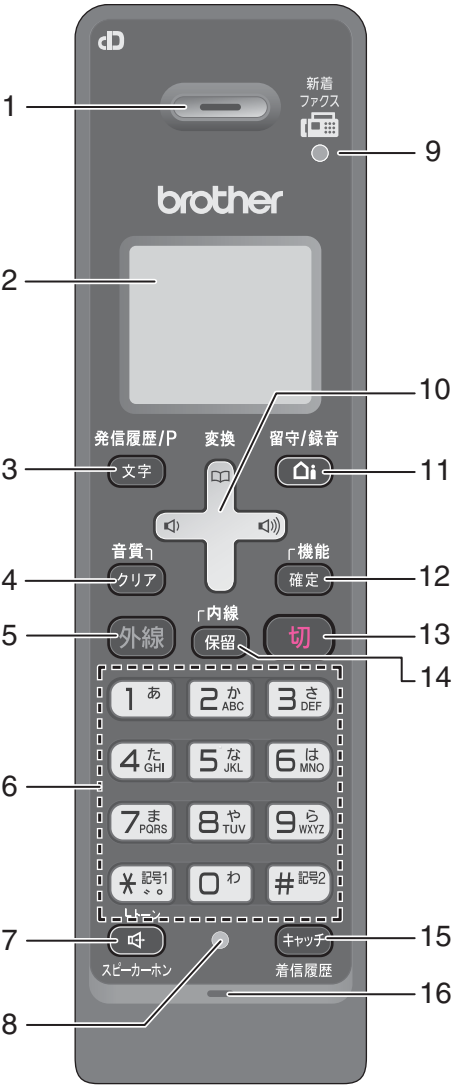
通信ボックス



ランプ			
1	回線状態	点灯	通信ボックスに電源が入っており、電話回線の使用待ちの状態です。
		点滅	呼び出し、回線判定、子機増設 / 消去など通信中であることを示しています。
2	エラー	点灯	通信ボックスのメモリー残量がないことを示しています。みただけ受信やメモリー受信によってメモリーに保存されているファクスや留守録メッセージ、録音通話を整理してください。
		点滅	回線の自動判定ができなかったことを示しています。複合機本体にて手動で回線設定を行ってください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
3	無線電波状態	点灯	電波強度は強～中で、複合機本体と無線で良好につながっていることを示しています。
		規則的な点滅	電波強度が弱いことを示しています。
		不規則な点滅	接続診断中であることを示しています。
		消灯	複合機本体と無線が繋がっていないことを示しています。
ボタン			
4	ネットワーク接続診断	通信ボックスのネットワーク設定リストを印刷するときに押します。リストは複合機本体から印刷されます。	
5	ネットワーク接続リセット	通信ボックスと複合機本体の 2 者間のネットワークをお買い上げ時の状態に戻すときに押します。両機それぞれの電源プラグがしっかりと差し込まれ、両機のあいだに障害物がないのに通信ができない場合に行ってください。操作方法については下記をご覧ください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の状態に戻す（通信ボックスの再接続）」	
6	全設定リセット	本製品をお買い上げ時の状態に戻すときに使用します。複合機本体からの【全設定リセット】がうまくいかない場合に限り、通信ボックス単体で初期化を行うときに使用します。 ⇒ 121 ページ「初期状態に戻す」	
端子			
7	電話回線接続	付属の電話機コードを接続します。	
8	ACアダプタープラグ接続	付属の AC アダプターを接続します。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行います。電源プラグが抜かれているときは、電話（内線通話を含む）およびファクスが使用できなくなります。電話機コードが接続されているだけでは電話はつながりません。	

子機

操作パネル



1	スピーカー（受話口）	相手の声が聞こえます。
2	画面	子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
3	再ダイヤル / 発信履歴 / 文字切替 / ポーズ入力ボタン	待機中
		文字入力中
		ダイヤル中 / 電話帳登録中
		通話中

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

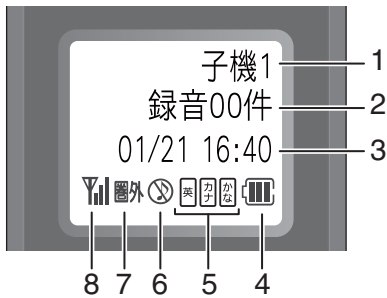
録付

《第1章 ご使用の前に》

4	クリア / 音質ボタン	文字入力中	文字を消します。
		通話中	相手の声の聞こえかたを調整することができます。長押しすると内緒話モードになり、小さい声での会話が可能になります。
		メニュー操作中	【再生 / 消去】メニューおよび【留守番設定】メニューの操作中に押すと、1つ前の画面に戻ることができます。
5	外線ボタン		電話をかけるときや受けるときに押します。電話がかかってくると点滅します。
6	ダイヤルボタン		ダイヤルするときや文字や記号を入力するときに押します。
			一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）に切り替えることができます。
7	スピーカーホンボタン		子機を持たずに通話したいときに押します。通話中に押すと通常の通話に切り替わります。
8	充電ランプ		充電中は点灯します。
9	ファクス受信ランプ		ファクスを受信すると点滅して知らせます。
10	マルチセレクトボタン	機能設定中	「上下」を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン 変換 	待機中	「上下」を押して電話帳を開きます。
		文字入力中	「上下」を押すと漢字変換ができます。
	音量ボタン 		「左右」を押して着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整します。
		文字入力中	カーソルを移動します。
11	留守 / 録音ボタン	待機中（電話がかかってきたときに受話器を取る前を含む）	留守モードのオン / オフを切り替えます。留守モードの解除時、留守中に入ったメッセージが自動的に再生されます。留守モード中は点灯、留守中に録音されたメッセージがあるときは点滅して知らせます。
		外線通話中	会話の録音を開始します。
12	機能 / 確定ボタン	待機中	子機のメニュー操作（機能設定）を開始するとき、設定内容を確定するときに押します。
		通話中	通話拒否（おことわり）またはファクス受信をするときに押します。電話を取る前に押しても通話拒否ができます。
13	切ボタン		電話を切るとき、メニュー操作を中止するときに押します。
14	内線 / 保留ボタン		内線通話、外線保留にするときに押します。
15	キャッチ / 着信履歴ボタン		キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。 ※これらの機能を利用するためには、電話会社とのキャッチホン機能およびナンバー・ディスプレイ機能の契約が必要となります。
16	マイク（送話口）		子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

画面

—非接続中/各種設定中—



※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

—外線接続中—

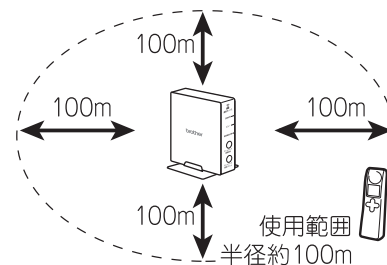


1	内線番号（子機名）
2	メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数を表示します。
3	日時表示
4	バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリー残量の目安〉 : 20%以上 : 20%未満 : 10%未満 : 要充電
5	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は を押して切り替えます。 : ひらがな(全角)と、変換キーを使用することにより漢字および記号が入力できます。 : カタカナ(半／全角)および記号が入力できます。 : アルファベット(大／小文字)、記号および数字が入力できます。
6	着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7	電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8	通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。
9	外線接続時間の目安(相手につながってからの時間ではなく子機の を押してから経過時間)

子機の設置場所について

子機（充電器）の設置場所については、以下のよう
な点に注意してください。

- 通信ボックスから障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。



- 子機は複合機本体や他の子機から離して（推奨 3m 以上）設置してください。
- 本製品は、BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機を増設することはできません。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

用紙のセット

印刷品質は用紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った用紙を選んでください。

⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「使用できる用紙」

印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

⇒ 130 ページ「専用紙・推奨紙」

用紙をセットしたときは、本製品の用紙タイプと用紙サイズを設定してください。

⇒ 23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」

【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたときや多目的トレイ（MFC-J900DN/J900DWN のみ）に用紙をセットしたときに、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。

画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズや用紙タイプを変更してください。

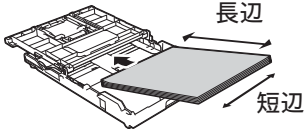
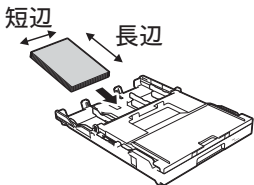
トレイ確認設定については⇒ 23 ページ「トレイ確認を設定する」

ここでは、トレイごとの用紙のセット方法を説明しています。

- 用紙トレイ ⇒ 16 ページ
- スライドトレイ（MFC-J830DN/J830DWN のみ） ⇒ 18 ページ
- 手差しトレイ（MFC-J830DN/J830DWN のみ） ⇒ 20 ページ
- 多目的トレイ（MFC-J900DN/J900DWN のみ） ⇒ 21 ページ

用紙トレイにセットする

用紙サイズとセットする向きについて

用紙トレイ	
• A4 ◆ • US レター • エグゼクティブ • B5 • A5 • A6 • 2L 判 • 往復ハガキ • インデックスカード • 封筒	
• L 判 (MFC-J900DN/J900DWN のみ) • ハガキ • ポストカード	

◆ ここでは、A4 サイズ用紙のセット方法を例に説明します。

その他の用紙サイズのセット方法については、
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「用紙トレイにセットする」をご覧ください。

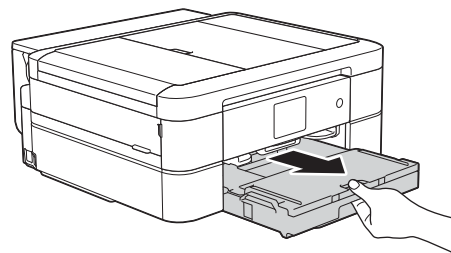
(MFC-J830DN/J830DWN のみ)

L 判用紙をセットする場合は、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 18 ページ「スライドトレイにセットする
(MFC-J830DN/J830DWN のみ)」

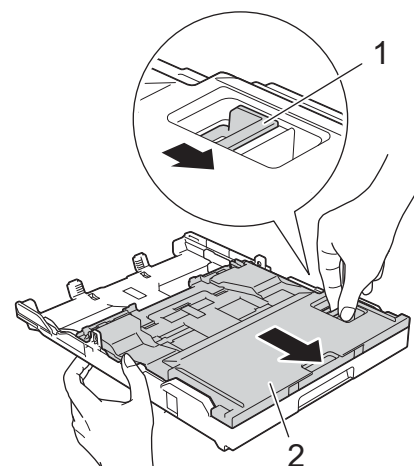
A4 の用紙をセットする

1 用紙トレイを引き出す

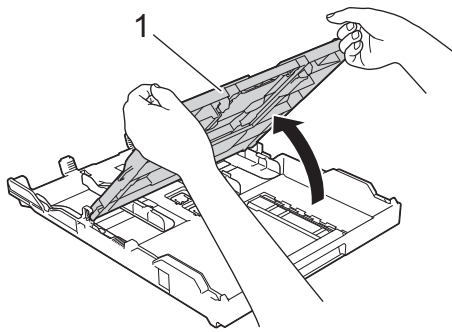


（MFC-J830DN/J830DWN のみ）
用紙トレイから給紙させるときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。

リリースボタン (1) をつまんで、スライドトレイ (2) を完全に手前に引いておいてください。

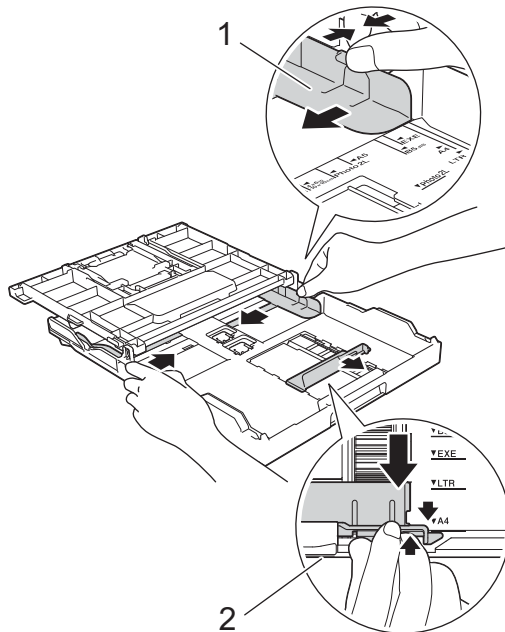


2 トレイカバー (1) を開く



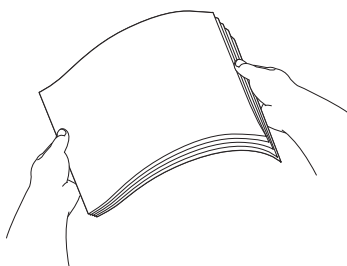
3 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) を用紙サイズの見盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



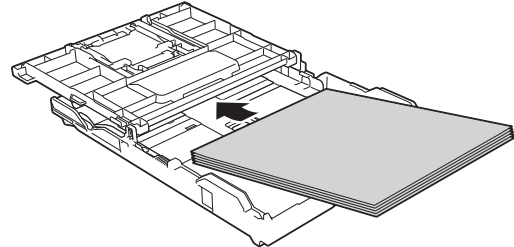
4 用紙をさばく

用紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。
用紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。

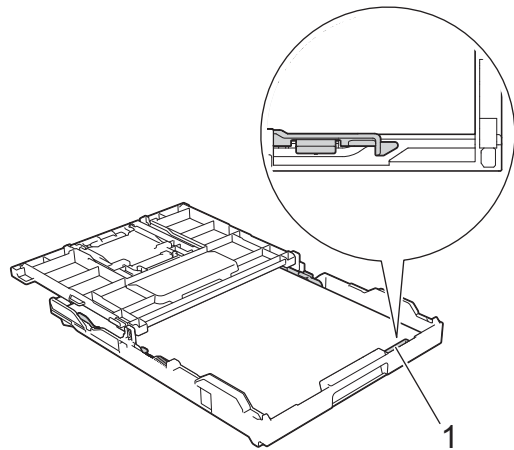


5 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

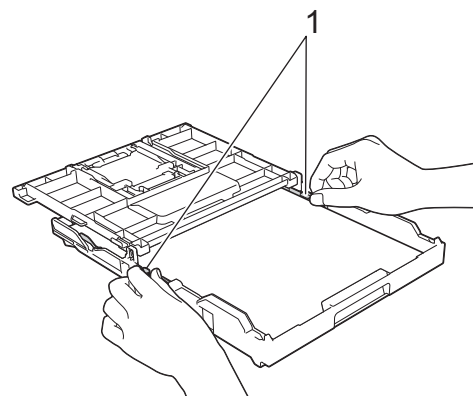


用紙がトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、長さのガイド (1) が用紙に合っていることを確認してください。



6 幅のガイド (1) を、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

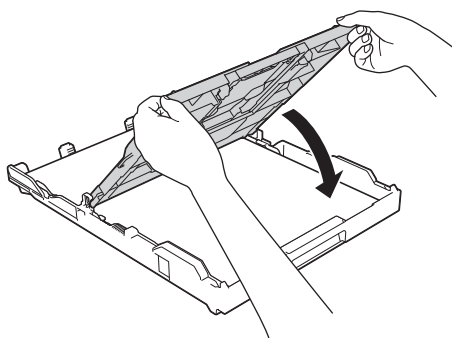
電話帳

留守番機能

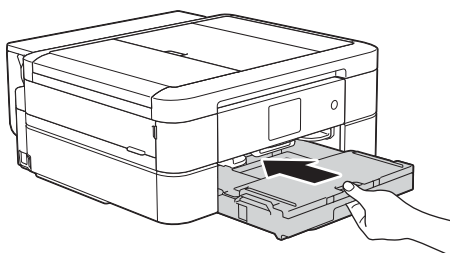
こんなときは

付録

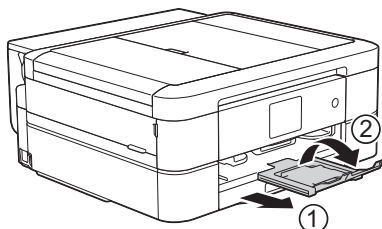
7 トレイカバーを閉じる



8 用紙トレイを元に戻す



9 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

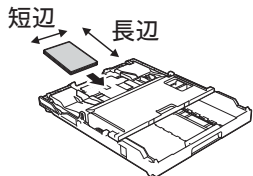


10 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ 23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」

スライドトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)

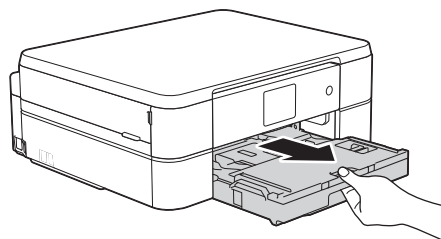
用紙サイズとセットする向きについて

スライドトレイ	
• L 判 ◆ • ハガキ • ポストカード	

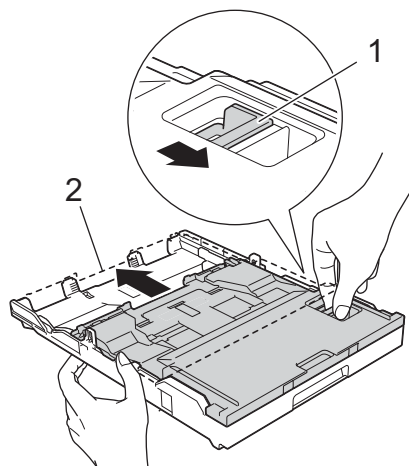
◆ここでは、L 判用紙のセット方法を例に説明します。
その他の用紙サイズのセット方法については、
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「スライドトレイにセットする」をご覧ください。

L 判の用紙をセットする

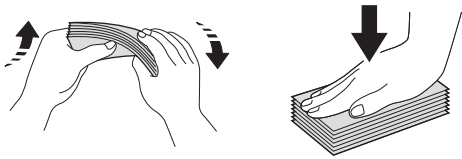
1 用紙トレイを引き出す



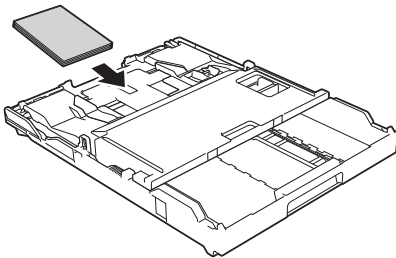
2 リリースボタン (1) をつまみ、スライドトレイが止まる位置 (2) まで完全に奥にずらす



3 用紙にゆがみや折れがあればよくなり、上下左右をそろえる

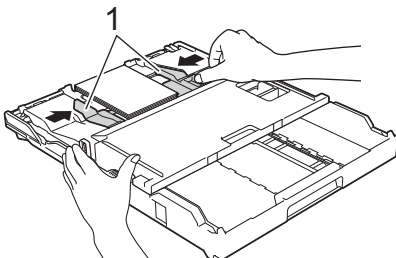


4 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

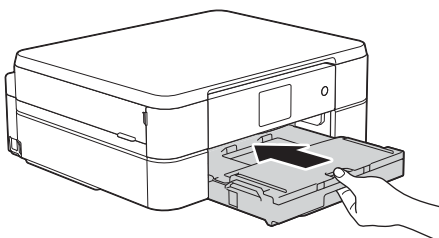


5 幅のガイド (1) を、用紙にぴったりと合わせる

用紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。



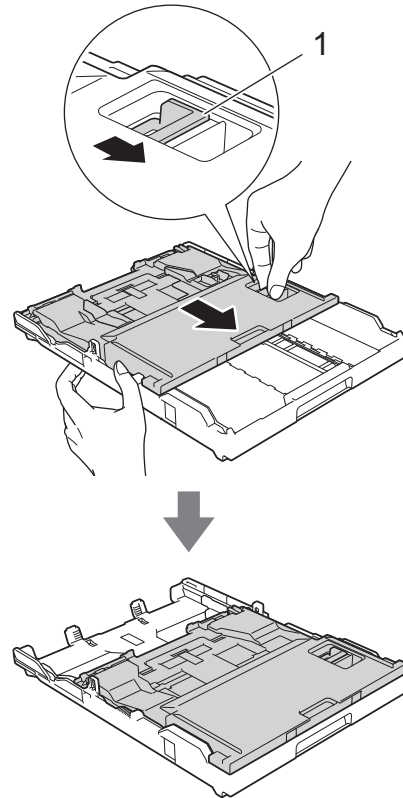
6 用紙トレイを元に戻す



7 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ 23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」

印刷後は、リリースボタン (1) をつまみ、スライドトレイを完全に手前に引いてください。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

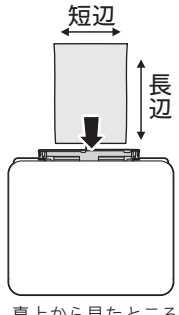
こんなときは

録付

手差しトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)

用紙トレイの用紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての用紙がセットできます。一度にセットできるのは 1 枚です。

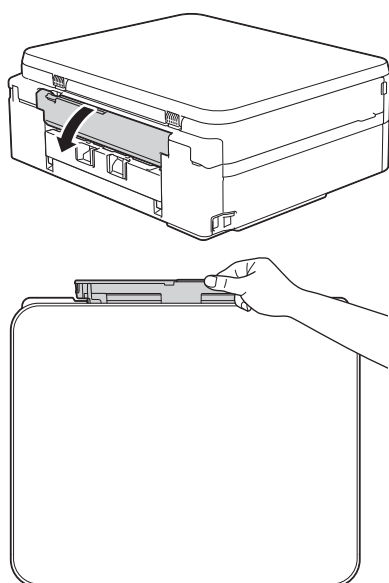
用紙サイズとセットする向きについて

手差しトレイ	
• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5 • A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ◆ • ポストカード • インデックスカード • 封筒	 真上から見たところ

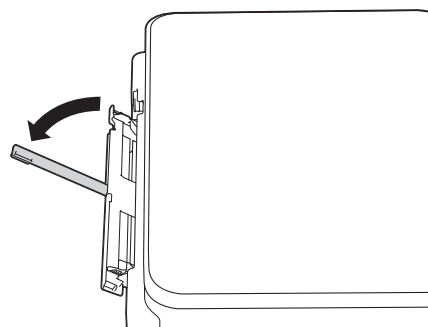
◆ここでは、はがきのセット方法を例に説明します。その他の用紙サイズのセット方法については、⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「手差しトレイにセットする」をご覧ください。

はがきをセットする

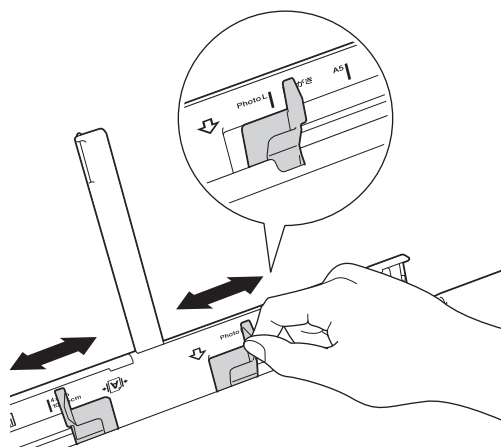
1 手差しトレイを開く



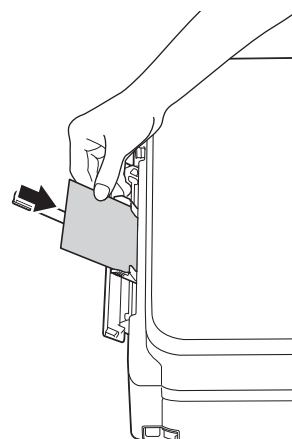
2 用紙サポーターを立てる



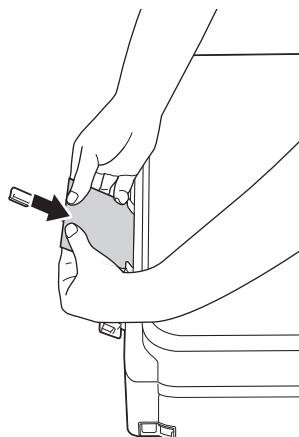
3 用紙ガイドをつまんで動かし、はがきのサイズの見盛りに合わせる



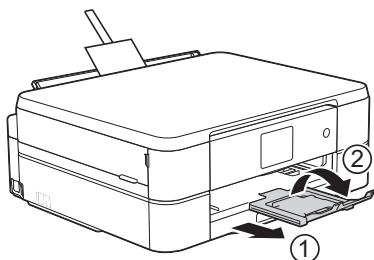
4 印刷する面を上にして、はがきを 1 枚だけセットする



- 5** 両手ではがきを挿入し、はがきが奥に当たるまで差し込む



- 6** 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



用紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

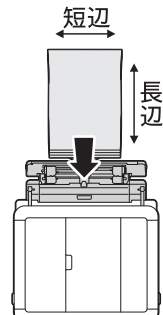
 封筒や厚紙は、本体に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで、奥まで確実に差し込んでください。

多目的トレイにセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

多目的トレイには、普通紙は 80 枚、はがきは 50 枚、光沢紙は 20 枚までセットできます。

また、多目的トレイを使用するときは、背面に 182mm 以上のスペースが必要です。

用紙サイズとセットする向きについて

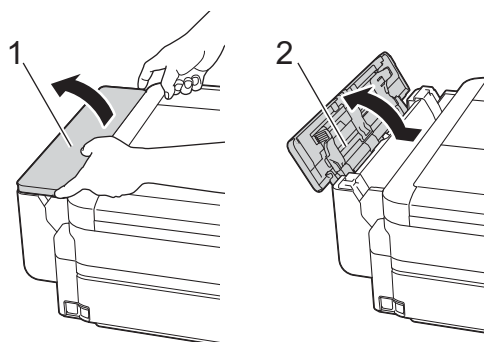
多目的トレイ	
• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5 • A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ ◆ • ポストカード • インデックスカード • 封筒	 真上から見たところ

◆ここでは、はがきのセット方法を例に説明します。その他の用紙サイズのセット方法については、⇒ユーザズガイド 応用編 第 1 章「多目的トレイにセットする」をご覧ください。

はがきをセットする

- 1** 多目的トレイの上カバー (1) を開き、多目的トレイ (2) を開く

上カバーは両手で持ってください。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

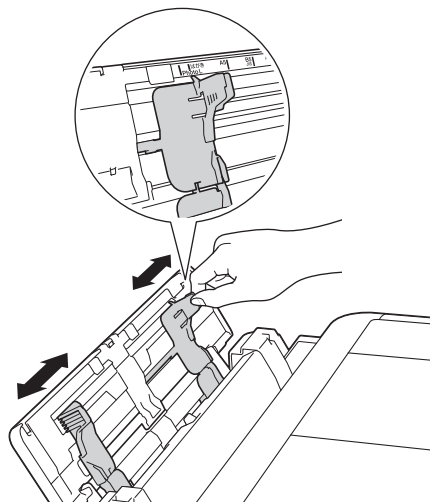
電話帳

留守番機能

こんなときは

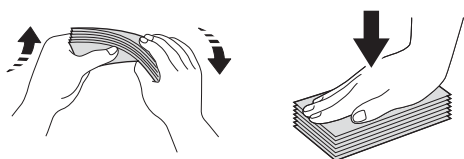
録付

- 2** 多目的トレイの用紙ガイドをつまんで動かし、はがきのサイズを目盛りに合わせる

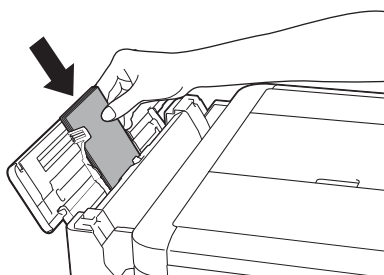


- 3** 用紙をさばく

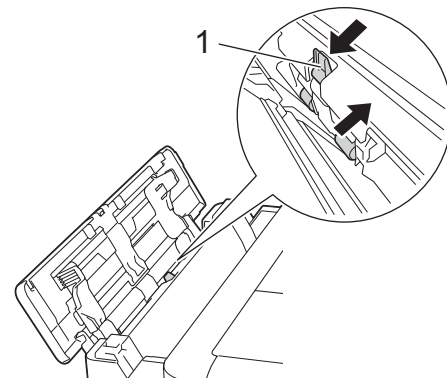
用紙にゆがみや折れがあればよくなりし、上下左右をそろえます。



- 4** 印刷する面を上にして、用紙をセットする

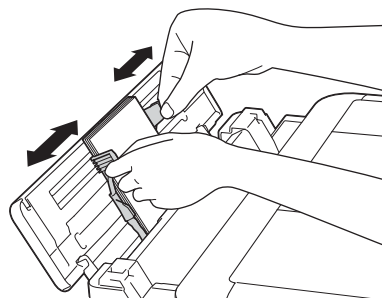


-  多目的トレイに用紙がセットできない場合は、解除レバー (1) を本体の後ろ方向に押しながら、用紙をセットしなおしてください。

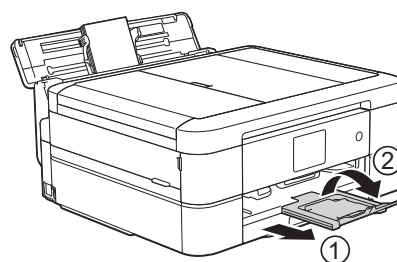


- 5** 用紙ガイドを、はがきにぴったりと合わせる

用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



- 6** 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



- 7** 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ 23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」

トレイ確認を設定する

【トレイ確認】

【トレイ確認】を【オン】にすると、用紙トレイが抜かれたときや多目的トレイ（MFC-J900DN/J900DWN のみ）に用紙がセットされたときに、トレイの用紙設定を変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。

お買い上げ時は、【オン】に設定されています。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【用紙トレイ設定】（MFC-J900DN/J900DWN のみ）、【トレイ確認】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 【オン】または【オフ】を押す

- 【オン】：
確認メッセージを表示します。
- 【オフ】：
確認メッセージを表示しません。

- 4 を押して設定を終了する

用紙の種類とサイズを設定する

【用紙タイプ／用紙サイズ】

通常よく使う用紙の種類やサイズを設定します。お買い上げ時は、用紙の種類（用紙タイプ）が【普通紙】、サイズは【A4】に設定されています。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【用紙トレイ設定】を押す
- 3 （MFC-J900DN/J900DWN のみ）設定するトレイを選ぶ

【用紙トレイ #1 / 多目的トレイ】から選びます。

【多目的トレイ】を選択すると、多目的トレイの説明画面が表示される場合があります。内容を確認して【OK】を押し、次に進んでください。

- 4 【用紙タイプ】を押す

- 5 用紙タイプを選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】から選びます。

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 6 【用紙サイズ】を押す

- 7 用紙サイズを選ぶ

【A4 / B5 / A5 / 2L 判 / L 判 / ハガキ / 往復ハガキ / A6 / インデックスカード / ポストカード / エグゼクティブ / US レター / 長形 3 号封筒 / 長形 4 号封筒 / 洋形 2 号封筒 / 洋形 4 号封筒 / Com-10 / DL 封筒】から選びます。

- 8 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。



(MFC-J900DN/J900DWN のみ)

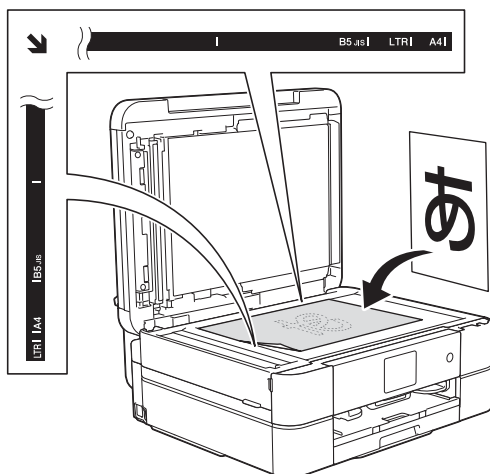
原稿台ガラスを使用するときは、ADF (自動原稿送り装置) から原稿を取り除き、ADF 原稿トレイを閉じてください。

1

原稿台カバーを持ち上げる

2

原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



3

原稿台カバーを閉じる

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿

ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿は下記のとおりです。これ以外の原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

- 最大サイズ：215.9mm × 355.6mm
- 最小サイズ：148mm × 148mm
- 厚さ：0.08mm ～ 0.12mm
- 坪量：64g/m² ～ 90g/m²

ADF (自動原稿送り装置) にセットできない原稿



クリップの付いた原稿



ホチキスでとじてある原稿

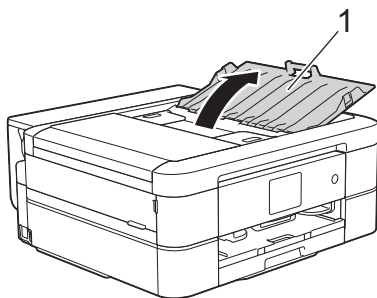
- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿
- 異なるサイズ・厚さ・紙質を混ぜた原稿
- しわ、折り目のついた原稿
- カールした原稿
- 折ってある原稿
- 破れた原稿
- とじ穴のある原稿
- 付箋など接着面がある原稿
- トレーシングペーパーのような半透明な原稿
- セロハンテープなどでつなぎ合わせてある原稿
- カーボン紙、ノーカーボン紙、裏カーボン紙の原稿
- その他特殊な原稿

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする

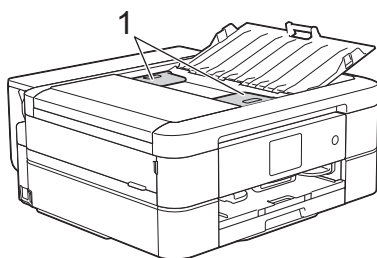
本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF (自動原稿送り装置) が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときに便利です。

 インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 ADF 原稿トレイ (1) を開く

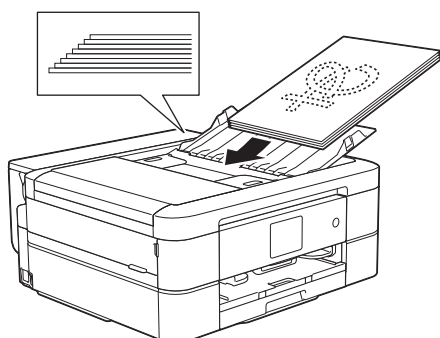


2 ADF ガイド (1) を原稿のサイズに調整する



3 原稿は、さばいてからそろえて、読み取りたい面を下にし、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

一度に 20 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

記録ディスクをセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

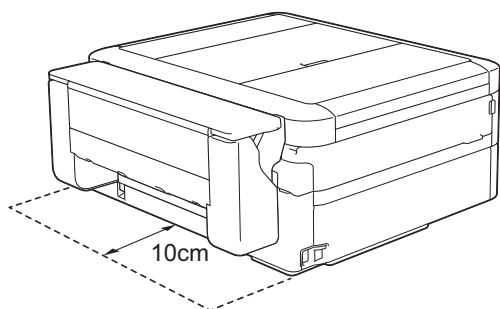
ここでは記録ディスクのセット方法について説明します。
印刷方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークをご覧ください。

 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズの CD/DVD/BD です。

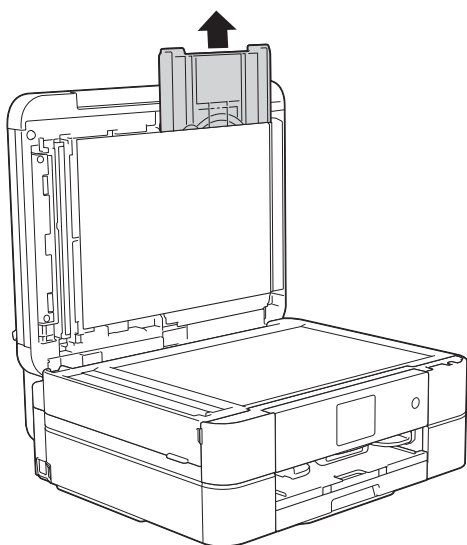
記録ディスクをセットする

1 本体の背面に 10cm 以上のスペースがあることを確認する

印刷時、ディスクトレイが本体の背面にいったん突き出るため、背面にスペースが必要です。

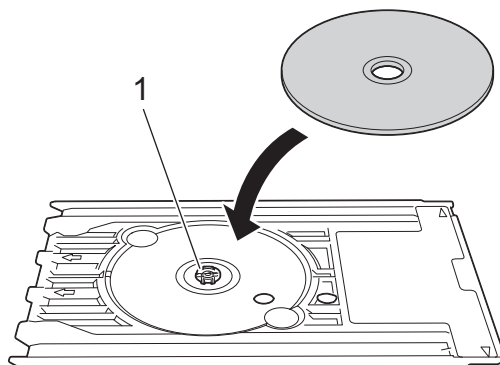


2 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜き、原稿台カバーを閉じる

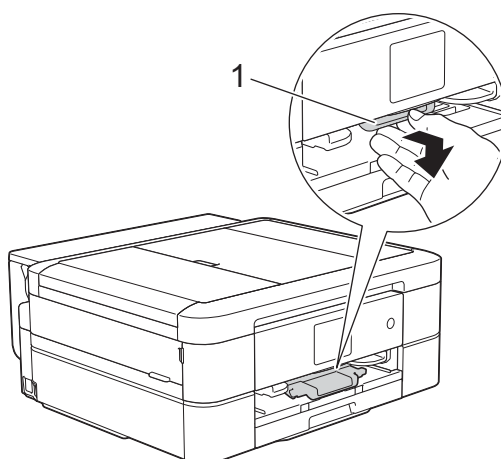


3 記録ディスクの穴を、ディスクトレイの爪 (1) にしっかりはめる

記録ディスクをセットする前に、トレイ上に、記録面を傷付けたり汚したりするようなゴミがないことを確認してください。記録ディスクは、印刷面を上にしてセットします。

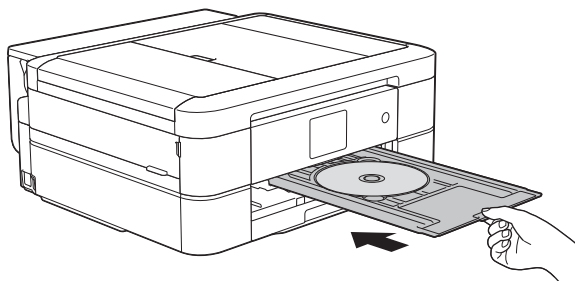


4 ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる

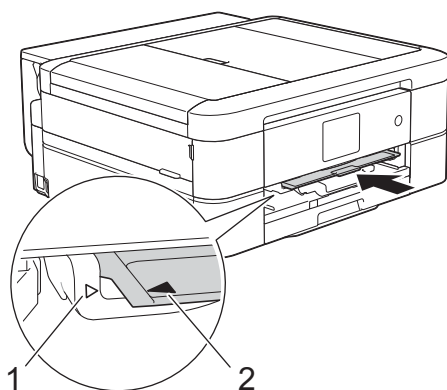


5 ディスクトレイをディスクガイドに差し込む

ディスクトレイ上に刻印されている矢印の方向に挿入します。



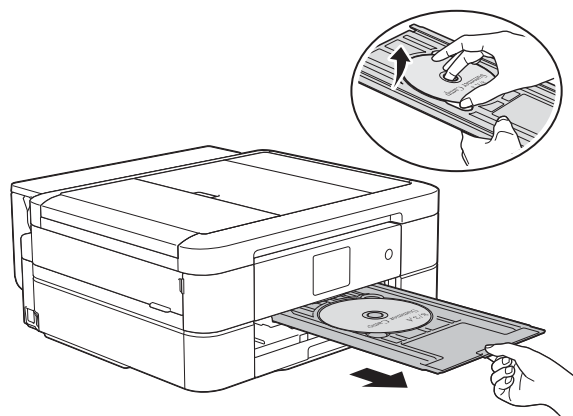
6 本体の△の目印 (1) とディスクトレイの▲の目印 (2) が合う位置まで、ディスクトレイを挿入する



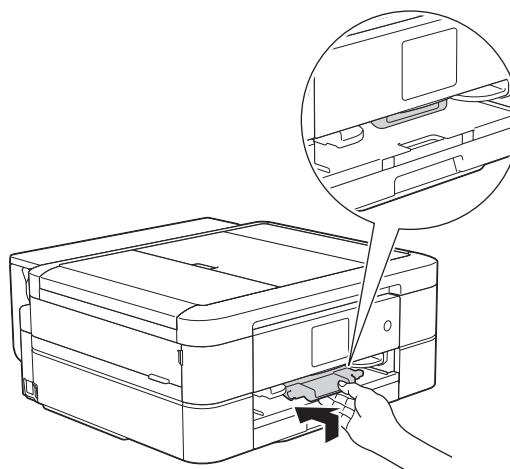
記録ディスクを取り出す

印刷が終わると、画面に印刷完了のメッセージが表示されます。

1 ディスクトレイを引き抜き、記録ディスクをはずす



2 ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む



3 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する

お願い

- 印刷位置がずれてディスクトレイ上に印刷された場合や、記録ディスク中央の透明部分に印刷された場合はすぐに拭き取ってください。
- ディスクトレイは、印刷が終了したら必ず原稿台カバーに収納してください。ディスクトレイが反ったり変形したりすると動作不良の原因になる恐れがあります。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

必要に応じて設定する

ご使用の前に次の設定を行ってください。

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、発信元登録をしてあればファクスを送信したときに相手側の用紙にも印刷されます。

設定方法について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「日付と時刻を設定する」

発信元登録について、詳しくは⇒ 54 ページ「発信元を登録する」

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

設定方法について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」

保留 / 着信メロディを設定する

電話の保留音と着信音を設定します。

設定方法について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「着信音と保留音を設定する」

回線種別を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

設定方法について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」

留守モードと在宅モードについて

本製品は、留守番機能がセットされている場合を「留守モード」、セットされていない場合を「在宅モード」としています。「留守モード」と「在宅モード」では、呼出ベル回数や回線につながった後の動作が異なります。

留守モードの設定方法について、詳しくは⇒ 61 ページ「留守番機能をセットする」

⇒ 62 ページ「留守番機能を解除する」

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

【ファクス無鳴動受信】

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

- ④ 無鳴動受信を有効にすると、かかってきた電話がファクスでない場合は、再呼び出しに切り替わると着信音が鳴り始めます。
- ④ 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話を取らなくても相手側には通話料金が発生します。
- ④ 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【ファクス無鳴動受信】を順に押す

3 【する】を押す

・【する】：

ファクス受信を優先する無鳴動受信が設定されます。

無鳴動受信を設定すると、呼出ベル回数は在宅モード時、留守モード時ともに【0】、再呼出ベル設定が自動的に、【オン（電話呼び出し）】、【相手にベル】、【30 秒】に設定されます。⇒手順 ⑤ へ

・【しない】：

無鳴動受信は設定されません。電話、ファクスどちらの場合も着信音が鳴ります。無鳴動受信を設定しない場合、呼出ベル回数は在宅モード時【7】、留守モード時【5】になり、再呼出ベル設定が自動的に、【オン（電話呼び出し）】、【相手にベル】、【30 秒】に設定されます。⇒手順 ④ へ

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

呼出ベル回数を設定する

【呼出ベル回数】

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを区別する）までに鳴る着信音の回数を設定します。

呼出ベル回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。なお、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【呼出ベル回数】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【在宅モード】を押す

4 呼出ベル回数を選ぶ

- 【0 ～ 15 (回)】 :
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】 :
受話器を取るまで着信音が鳴り続けます。受話器を取ると回線がつながります。

5 【留守モード】を押す

6 呼出ベル回数を選ぶ

- 【0 ～ 7 (回)】 :
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】 :
外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
⇒ 29 ページ「トールセーバーを利用する」

7 を押して設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出ベル回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れれば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。

⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 7 章「外出先から本製品を操作する」

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

再呼出の設定をする

【再呼出ベル設定】

着信を知らせる呼出音が、⇒ 29 ページ「呼出ベル回数を設定する」で設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。留守モードに設定されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的にを行います。ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【再呼出ベル設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【再呼出ベル設定】を押して、自動着信後の動作を選ぶ

- 【オン（電話呼び出し）】：
電話とファクスの両方を使うときに選びます。
電話のときは再呼出音が鳴ります。
ファクスは自動的に受信します。
- 【オフ（ファクス専用）】：
本製品をファクス専用として使うときに選びます。
回線接続後は再呼び出しをせず、すぐにファクス受信を開始するため電話は受けられません。

- 【オン（電話呼び出し）】を選んだ場合：
⇒手順 4 へ
- 【オフ（ファクス専用）】を選んだ場合：
⇒手順 6 へ

4 【再呼出方法】を押して、再呼出音を選ぶ

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音（声）を選びます。

- 【相手にベル】：
「トゥルルルルルル」という音が相手に流れます。
- 【相手にメッセージ】：
在宅応答メッセージが相手に流れます。
お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
⇒ 59 ページ「応答メッセージを録音する」

5 【再呼出時間】を押して、再呼び出し時間を選ぶ

再呼出音を鳴らす時間を設定します。

【20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 70 秒】から選びます。

6 を押して設定を終了する

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

電話会社の有料サービスを契約している場合に本製品で利用できる機能です。

ファクス受信や電話着信の相手の番号を本製品に表示します。

電話会社の有料サービスが契約されているか、事前に必ずご確認ください。(NTT の場合の有料サービス名: ナンバー・ディスプレイサービス)

サービスの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイ機能を設定する

電話会社と有料サービスを契約している場合、相手先の電話番号を本製品に表示します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

3 【あり】を押す

4 を押して設定を終了する

-  ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
-  ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
-  構内交換機（PBX）に接続する場合は、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。
-  IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
-  電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

NTT の有料サービスを契約している場合に本製品で利用できる機能です。外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を本製品に表示します。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」と「ナンバー・ディスプレイサービス」両方の有料サービスを契約していただく必要があります。

他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

電話会社と有料サービスを契約している場合、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を本製品に表示します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【キャッチディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

3 【あり】を押す

4 を押して設定を終了する

-  ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
-  構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
-  電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
-  子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬とぎれます。
-  子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。
本製品をプリンターとして使用する場合はプリンタードライバをインストールする必要があります。
ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

Windows® の場合

- 1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ
- 2 【プリンター】で、接続している本製品を選び、【プリンターのプロパティ】をクリックする



- 3 【基本設定】タブをクリックし、用紙の種類とサイズを設定する

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、【用紙種類】を【インクジェット紙】、【用紙サイズ】を【ハガキ】に設定します。

(MFC-J830DN/J830DWN のみ)
【ハガキ】を選ぶとスлайドトレイへのセット方法が表示されるので、確認して【OK】をクリックしてください。

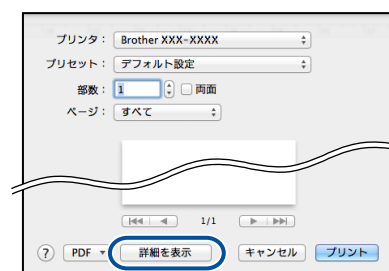
- 4 【拡張機能】タブをクリックし、カラーまたはモノクロの印刷を設定する
- 5 必要に応じてその他の項目を設定し、【OK】を押す
- 6 【印刷】をクリックし、印刷する

Macintosh の場合

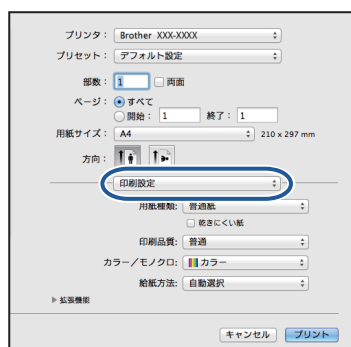
- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューから【ページ設定】を選ぶ
- 2 【対象プリンタ】で、接続している本製品を選び、【OK】をクリックする



- 3 アプリケーションの【ファイル】メニューから【プリント】を選ぶ
- 4 【詳細を表示】をクリックする



5 ポップアップメニューから【印刷設定】を選ぶ



6 用紙の種類とサイズ、カラーまたはモノクロの印刷を設定する

例：インクジェット紙のはがきにカラー印刷する場合は、[用紙サイズ] を [はがき]、[用紙種類] を [インクジェット紙]、[カラー/モノクロ] を [カラー] に設定します。

7 必要に応じてその他の項目を設定する

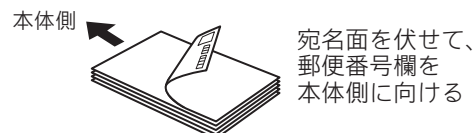
8 【プリント】をクリックし、印刷する

はがき（年賀状）に印刷する

1 はがきをトレイにセットする

- 用紙トレイ、スライドトレイ：
印刷したい面を下にしてセットします。

例：宛名面に住所を印刷する場合



- 手差しトレイ、多目的トレイ：
印刷したい面を上にしてセットします。

例：宛名面に住所を印刷する場合



セットのしかたについては、
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第1章「用紙トレイにセットする」
⇒ 18 ページ「スライドトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)」
⇒ 20 ページ「手差しトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)」
⇒ 21 ページ「多目的トレイにセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)」

2 必要に応じて設定し、印刷する

- お使いのパソコンが Windows® のときは、
⇒ 32 ページ「Windows® の場合」
- お使いのパソコンが Macintosh のときは、
⇒ 32 ページ「Macintosh の場合」

お願い

- はがき印刷のあと、タイプやサイズの違う用紙に印刷するときは、プリンタードライバーの [用紙種類] および [用紙サイズ] を設定し直してください。

コピーする

モノクロまたはカラーでコピーします。画質や濃度を変更したり、いろいろなコピーをすることができます。

コピーする

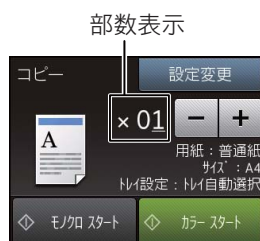
原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 24 ページ「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】で部数を入力する



部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

コピーを中止する

途中でコピーを中止するには、を押してください。

設定を変えてコピーするには

コピーの設定は、次のようにして変更することができます。

待ち受け画面の【コピー】を押し、【設定変更】を押します。設定項目が表示されるので、変更したい項目を押します。設定が終わったら【OK】を押します。

目的のキーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

● 次の設定について詳しくは、

- 用紙タイプ
⇒ 35 ページ「用紙タイプを変更する」
- 用紙サイズ
⇒ 35 ページ「用紙サイズを変更する」

● 次の設定について詳しくは、

⇒ ユーザーズガイド 応用編 第3章「設定を変えてコピーするには」

- コピー画質
- 用紙トレイ選択 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
- 拡大 / 縮小
- コピー濃度
- スタック / ソート
- レイアウト コピー
- 両面コピー (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
- 便利なコピー設定
 - インク節約モード
 - 裏写り除去コピー
 - ブックコピー
 - 透かしコピー
 - 地色除去コピー
- 設定を保持する
- 設定をリセットする
- お気に入り登録

用紙タイプを変更する

使用する用紙に合わせて、用紙タイプを設定します。

- 1 原稿をセットする
⇒ 24 ページ「原稿のセット」
- 2 【コピー】を押す
- 3 【-】 / 【+】 で部数を入力する
- 4 【設定変更】を押す
- 5 【用紙タイプ】を押す
キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。
- 6 セットした用紙の種類を選ぶ
【普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 光沢 / その他光沢】から選びます。
- 7 【OK】を押す
- 8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

用紙サイズを変更する

使用する用紙に合わせて、用紙サイズを設定します。

- 1 原稿をセットする
⇒ 24 ページ「原稿のセット」
- 2 【コピー】を押す
- 3 【-】 / 【+】 で部数を入力する
- 4 【設定変更】を押す
- 5 【用紙サイズ】を押す
キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。
- 6 セットした用紙のサイズを選ぶ
【A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判】から選びます。
- 7 【OK】を押す
- 8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

スキャンする

本製品でスキャンしたデータを接続されているパソコンに送ります。本製品をスキャナーとして使用する場合はスキャナードライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

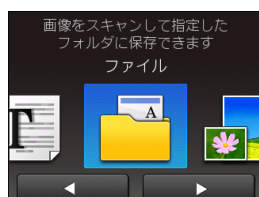
1 原稿をセットする

⇒ 24 ページ「原稿のセット」

2 【スキャン】を押す

3 【ファイル】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。



4 スキャンした画像を保存するパソコンを選ぶ

画面に表示されている中から希望のパソコンを選びます。
(USB でも接続している場合は、【< USB >】とパソコン名が両方表示されています。)

5 【スタート】を押す

付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使ってスキャンする

Windows® の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter4 を使ったスキャンの方法です。ControlCenter4 には、[Home モード] と [Advanced モード] の2種類のモードが用意されています。ここでは、[Advanced モード] を選択した手順で説明しています。

1 原稿をセットする

⇒ 24 ページ「原稿のセット」

2 パソコンのタスクトレイにある

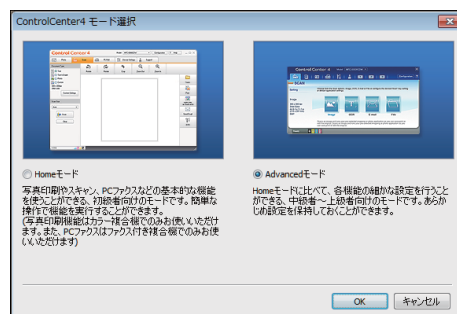
CCU (ControlCenter4) アイコン をクリックし、[開く] をクリックする

タスクトレイに **CCU** が表示されていないときは、Brother Utilities を起動してから、[スキャンする] - [ControlCenter4] をクリックします。

⇒ 8 ページ「Brother Utilities について (Windows® のみ)」

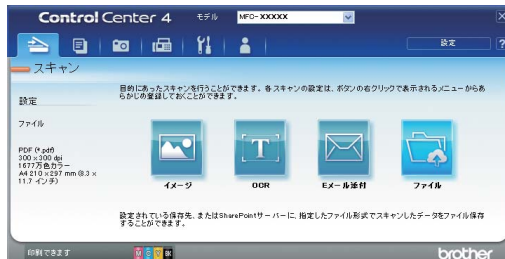
3 【設定】をクリックして、[モード選択] を選ぶ

4 [Advanced モード] を選び、[OK] をクリックする



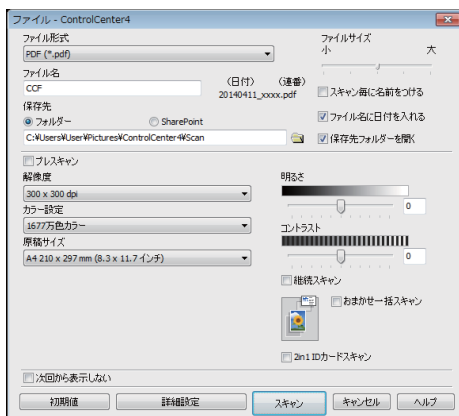
5 画面上部にある【モデル】のプルダウンメニューから、モデル名を選択する

6 【スキャン】タブをクリックし、【ファイル】をクリックする



スキャンの設定画面が表示されます。

7 必要に応じて、設定を変更する



- 【ファイル形式】
スキャンするデータのファイル形式を選択します。
- 【ファイル名】
ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。
- 【保存先】
スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。📁を押すと、保存先フォルダーを参照し、選択することができます。

8 【スキャン】をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ControlCenter4 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワークをご覧ください。

Macintosh の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter2 を使ったスキャンの方法です。

1 原稿をセットする

⇒ 24 ページ「原稿のセット」

2 【Finder】のメニューから【移動】－【アプリケーション】を選択し、【アプリケーション】フォルダ内の【Brother】から【ControlCenter】アイコンをダブルクリックする

ControlCenter2 のウィンドウが表示されます。

3 【ファイル】をクリックする

設定ダイアログが表示されます。内容を確認し、必要があれば設定を変更します。

4 【スキャン開始】をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ファイル形式や保存フォルダー、解像度など、好みや用途に合わせて設定が変更られます。ControlCenter2 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワークをご覧ください。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

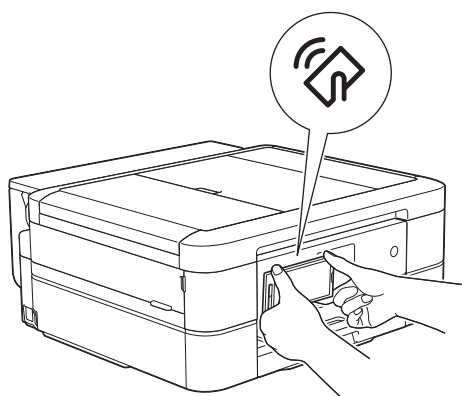
こんなときは

付録

NFC 機能を使って印刷 / スキャンする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

NFC (近距離無線通信) で印刷 / スキャンする

NFC 機能に対応している Android™ 端末を操作パネルにある NFC マークに当てると、Android™ 端末上のデータ（写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページおよび電子メールメッセージ）を印刷したり、本製品でスキャンした写真や書類を Android™ 端末に送ることができます。



本機能を使用するためには、Android™ 端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント&スキャンガイド」をご覧ください。

- 📱 NFC (近距離無線通信) 機能を備えていれば、至近距離にある 2 つの装置のあいだで、簡単なデータ処理やデータ交換および無線接続が可能になります。
- 📱 ご使用の際は、本製品と Android™ 端末の NFC 機能がオンになっていることを確認してください。

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

重要

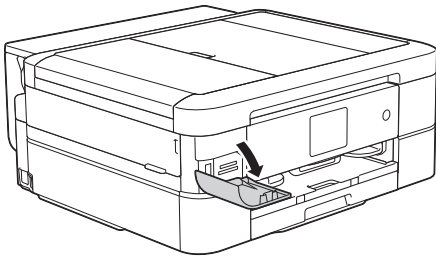
- 差し込み口に本製品に対応していないものを差し込んだり、複数のメモリーカードを挿入しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る／プリントする

【かんたん印刷】

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を画面で確認・プリントできます。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

3 【デジカメプリント】を押す

4 【かんたん印刷】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像が表示されます。

5 プリントしたい画像を押す

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

6 【+】 / 【-】 でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

7 手順 5、6 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



- ④ 【印刷設定】を押すと、プリント画質や用紙のサイズなどの設定を一時的に変えることができます。
- ④ よく使う設定を初期値として保存することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編 第4章「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

10 アクセスが終了していることを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜く

- ④ パソコンに接続しているときは、必ずパソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了させてから、引き抜いてください。

電話をかける / 受ける

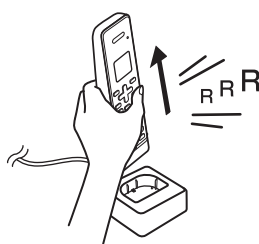
電話をかけたり受けたりするときの基本操作です。

電話をかける

- 1 子機を充電器から取り、**外線** を押す
子機を充電器に置いていないときは、**外線** を押します。
- 2 **0**わ ~ **9**ら WXYZ を押して相手に電話をかける
- 3 通話が終わったら、子機を充電器に戻す（または **切** を押す）

電話を受ける

- 1 電話がかかってきたら、子機を充電器から取る
子機を充電器に置いていないときは、**外線** を押します。



- 2 通話が終わったら、子機を充電器に戻す（または **切** を押す）

電話帳からかける

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

電話帳の登録については、⇒ 55 ページ「電話帳に登録する」

- 1 子機を充電器から取る
- 2 **+** を押す
- 3 **+** で電話をかける相手を選ぶ
- 4 **外線** を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

通話を保留にする

- 1 通話中に**「外線 保留」**を押す

保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。

- 2 通話に戻る時は、**「外線 保留」**を押す

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- 1 回の操作で録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- 録音できる通話数は最大 99 件、総録音時間は合計で 29 分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。
- 再生は、別の子機（2 台以上ある場合）からできます。

1 通話中に、子機の を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、、、 のいずれかを押す

録音した通話を再生 / 消去する

1 子機の を押す

2 で【再生 / 消去】を選び、 を押す

3 で【会話】を選び、 を押す

4 で【1 件ずつ】または【全件】を選び、 を押す

【1 件ずつ】を選ぶと記録されているメッセージの 1 件目の詳細が表示されます。

 で操作の対象を選んで  を押してください。

5 で【再生】または【消去】を選び、 を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。
- 【消去】を選んだ場合：【消去？ 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。
 を押して消去します。

6 を押して操作を終了する

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかかります。

最後にかけた相手にかける
(再ダイヤル)

1 子機を充電器から取る

2 発信履歴/P
文字 を押す

3 外線 を押す

最近かけた相手にかける (発信履歴)

1 充電器から子機を取る

2 発信履歴/P
文字 を押す

3 + で相手先を選ぶ

4 外線 を押す

最近かかってきた相手にかける
(着信履歴)

着信履歴は、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約
の場合のみ使用できます。

1 充電器から子機を取る

2 キヤッチ
着信履歴 を押す

3 + で相手先を選ぶ

4 外線 を押す

充電器に置いたままかける
(スピーカーホン)

1  を押す
スピーカーホン

2 相手先の電話番号を押す

3 相手が出たら、マイクに向かって
話す



 まわりの騒音などによって声が聞き
取りにくいときは、子機を充電器か
ら取って話してください。

4 通話が終わったら 切 を押す

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

1 通話中に を押す

スピーカーホン

スピーカーホン通話が始まります。

2 スピーカーホン通話をやめるときは、もう一度 を押す

スピーカーホン

プッシュホンサービスを利用する

本製品では、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などができるプッシュホンサービスを利用できます。

1 を押して、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

プッシュ回線の場合は、ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がします。
ダイヤル回線の場合は、音がしません。

2 ダイヤル回線の場合は、 を押す

ダイヤル回線

3 サービスの指示に従ってダイヤルボタンを押す

受話音質を調節する

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。

1 通話中に を押す

設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

2 を押して音質を調整する

5 段階から選びます。

通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

1 通話中に を約 2 秒押す

【内緒：ON】と表示されます。

2 内緒話モードをやめるときは、もう一度 を約 2 秒押す

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

電話を取り次ぐ

複数台で子機をご使用になる場合の電話の取り次ぎ方法です。電話の取り次ぎに際しては、子機は互いの内線番号を選んで呼び出します。

内線番号表（表示名）

機種名	子機種類		別売り		
			増設子機 1 台目	増設子機 2 台目	増設子機 3 台目
MFC-J830DN	子機 1	—	子機 2	子機 3	子機 4
MFC-J900DN		—	子機 3	子機 4	子機 5
MFC-J830DWN	子機 2	—	子機 2	子機 3	子機 4
MFC-J900DWN		—	子機 3	子機 4	子機 5



電話を取り次ぐ

ここでは、「子機 1 で受け、子機 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。
- 2 + で【子機 2】を選び、「機能確定」を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

呼び出している子機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、「内線保留」を押します。
- 3 子機 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機 1 の「切」を押す

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。ここでは、「子機 1 で受け、子機 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。
- 2 + で【子機 2】を選び、「機能確定」を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
- 3 子機 1 の「切」を押す

子機 2 の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。
- 4 子機 2 を充電器から取る

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。

外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。

⇒ 44 ページ「電話を取り次ぐ」

ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 を充電器から取り、を押す

- 2 で【子機 2】を選び、を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

- 3 子機 2 を充電器から取る

子機 1 と子機 2 のあいだで通話できます。

 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す（トリプル通話）

子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

ここでは、「子機 1 と外線通話中に、子機 2 を参加させる場合」を例として説明します。

-  外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。
-  トリプル通話中は、保留にできません。

- 1 子機 1 で外線通話中に を押す

通話が保留になります。

- 2 で【子機 2】を選び、を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

- 3 子機 2 を充電器から取る

- 4 子機 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、子機 1 の を押す

トリプル通話が始まります。

-  トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の を押してください。

かかってきた電話を拒否する

通話中に電話を拒否する

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

1 通話中に、子機の^{「機能確定」}を押す

通話中専用のメニューが表示されます。

2 で【おことわり】を選び、^{「機能確定」}を押す

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 子機を充電器に戻す

通話前に電話を拒否する

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、次の手順で回線を切ることができます。

1 着信音が鳴っているときに、充電器から取らずに子機の^{「機能確定」}を押す

通話中専用のメニューが表示されます。

2 で【おことわり】を選び、^{「機能確定」}を押す

「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 子機を充電器に戻す

ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は

各電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信音を鳴らしたくない電話番号をあらかじめ本製品に登録して、着信拒否することもできます。

⇒ 49 ページ「迷惑電話指定する」

オプションサービスを利用する

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

 ご利用には別途、電話会社との契約が必要です。（有料）

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の キャッチ 着信履歴 を押す

 別途、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。
⇒ 31 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

最初の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線につながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、キャッチ 着信履歴 を押す

 キャッチ 着信履歴 を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

 親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 ④、⑤ のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の キャッチ 着信履歴 を押す

「ピーピー」という音が聞こえます。
最初の相手との通話は保留になります。

2 再度 キャッチ 着信履歴 を押して、いったん最初の相手に戻る

3 最初の相手との通話を手短かに終えて、もう一度 キャッチ 着信履歴 を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

お願い

■ ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短かに話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 機能 確定 を押す

5 で【ファクス受信】を選び、機能 確定 を押す

- 6** 画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、子機を充電器に戻す

着信鳴り分けを設定する

【着信鳴り分け】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、電話帳に登録してある相手の着信音を、それ以外の外線着信とは異なるメロディに変更して区別することができます。

登録してある相手先について、子機は個体それぞれで設定できます。

- 1** 【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていることを確認する

⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

- 2** 子機の  を押す

- 3**  で【鳴動音設定】を選び、 を押す

- 4**  で【2. 着信鳴り分け】を選び、 を押す

- 5**  で着信音を選び、 を押す

⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「子機の着信音を選ぶ」

- 6**  を押して設定を終了する

-  電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
-  電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

迷惑電話指定する

【迷惑番号指定】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から100件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。

 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえていません。

- 1 **【メニュー】を押す**
- 2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【着信拒否】、【迷惑番号指定】の順に押す**
キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。
- 3 **【着信履歴から登録】を押す**
迷惑指定を解除するときは、【消去】を選んでください。
- 4 **迷惑指定する番号を選び、メッセージを確認して【はい】を押す**
解除するときは、リストから番号を選んでチェックマークを付け、【OK】を押し、メッセージを確認して【はい】を押します。
- 5 ** を押して設定を終了する**

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

着信音を鳴らさずに電話を受け、メッセージを3回再生したあとで自動的に電話を切ります。【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】のときは設定できません。

- 1 **【メニュー】を押す**
- 2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】を順に押す**
キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。
- 3 **【着信拒否】を押す**
項目が灰色表示されている場合は、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっています。【あり】にしてください。
- 4 **【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を押す**
 - ・【非通知着信拒否】：
番号非通知から着信があった場合、「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけて電話番号を通知しておかけ直してください。」というメッセージを流します。
 - ・【公衆電話拒否】：
公衆電話から着信があった場合、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを流します。
 - ・【表示圏外拒否】：
表示圏外から着信があった場合、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを流します。
- 5 **【する】を押す**
- 6 **他の項目も設定する場合は、手順4、5を繰り返す**
- 7 ** を押して設定を終了する**

 拒否設定した相手から送られたファクスも受信しません。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

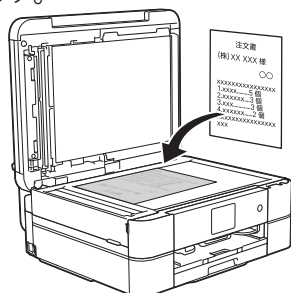
録付

本製品のファクス送信 / 受信のしくみ

送信 / 受信

送信のしくみ

ファクス原稿を複合機本体にセットして送信先を設定すると、複合機本体のメモリーにいったん保存されたのち、自動的に通信ボックスに転送されます。



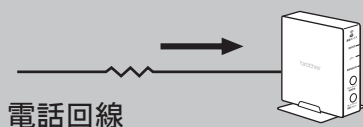
通信ボックスは、原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。



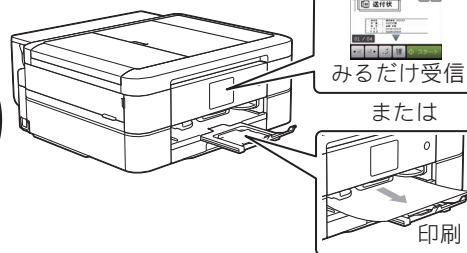
電話回線

受信のしくみ

外部から届いたファクスは、通信ボックスのメモリーにいったん保存され、自動的に複合機本体に転送されます。



複合機本体がファクスデータを受け取ります。受け取ったファクスは、画面で（みるだけ受信）または印刷して確認します。



お願い

- 頻繁にファクスを受信する方は、複合機本体の電源ボタンを常にオンにしてください。電源をオフにしている場合は、ファクスデータを受信しても通信ボックスから転送されません。複合機本体の電源をオンにした後、転送されます。

ファクスを送る

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

お願い

- 相手先のファクス機がモノクロ専用で、カラーファクスを受信できない場合は、カラー送信しないでください。カラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることはありません。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

 ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くなります。

ファクスを送る

【自動送信】

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する

2 原稿をセットする

- 複数枚の原稿を自動で送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。（MFC-J900DN/J900DWNのみ）
⇒ 24 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（MFC-J900DN/J900DWNのみ）」
- 1 枚ずつ原稿を読み取るときは、原稿台ガラスに原稿をセットします。
⇒ 24 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【ファクス】を押す

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、⇒手順 4 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

 お買い上げ時は、みるだけ受信は【する（画面で確認）】に設定されています。

4 【ファクス送信】を押す

5 【設定変更】を押し、必要なファクス送信の設定を行う



変更したい項目を押します。目的のキーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
設定が終わったら【OK】を押します。

次の設定について詳しくは、
⇒ユーザズガイド 応用編 第5章「設定を変えてファクスするには」

- ファクス画質
- 原稿濃度
- 同報送信
- みてから送信
- カラー設定
- 海外送信モード
- 設定を保持する
- 設定をリセットする

6 画面に表示されているキーボード、【履歴】または【電話帳】で相手先のファクス番号を入力する

- 【履歴】から入力する場合
【履歴】、【発信履歴】（または【着信履歴】）の順に押し、ファクスを送る相手先を選んで【送信先に設定】を押します。
- 【電話帳】から入力する場合
【電話帳】を押し、ファクスを送る相手先を選んで【送信先に設定】を押します。

7 【スタート】を押す

- モノクロで送る場合

ADF（自動原稿送り装置 MFC-J900DN/J900DWN のみに搭載）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1枚目の原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

- カラーで送る場合

送信先のファクシミリがカラー受信対応かを確認するメッセージが表示されます。手順 8 に進みます。

8 【はい（カラー送信）】を押す

ADF（自動原稿送り装置 MFC-J900DN/J900DWN のみに搭載）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1枚目の原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 10 に進みます。

10 【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

お願い

- スタートボタンを押してもファクスが送れない場合は、複合機本体と通信ボックスが接続できていないことが考えられます。接続状態を確認してください。⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

ファクスを中止する

送信する前にファクスを中止するには、ダイヤル中または送信中に、 を押してください。

ファクスを受ける

本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。

- 自動的に受ける⇒53ページ「自動的に受ける」
- 電話に出してから受ける⇒53ページ「電話に出してから受ける」
- 電話に出ると自動的に受ける（親切受信）⇒ユーザズガイド 応用編 第5章「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

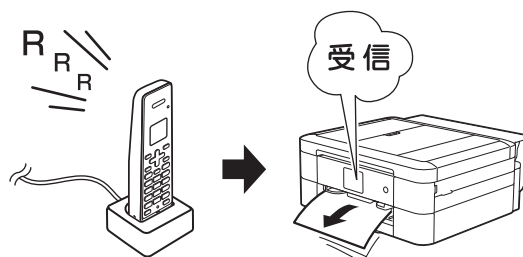
お願い

- 受信したファクスが印刷できないとき、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。メモリーがいっぱいになる前に、画面のメッセージに従って本製品を操作し、メモリーに記憶されたファクスを印刷してください。

自動的に受ける

【自動受信】

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。受信したファクスは、画面または用紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されているため、画面で確認します。



- ☞ (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
ファクスを印刷するときに使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。用紙トレイの設定を行ってください。
⇒ユーザズガイド 応用編 第1章「用紙トレイの設定をする」

電話に出してから受ける

【手動受信】

電話に出たあとでファクスを受信します。

- ☞ 親切受信が設定されている場合は、電話に出て約7秒待つと、自動的にファクスを受信します。
⇒ユーザズガイド 応用編 第5章「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

1 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**外線**を押します。

2 「ポーポー」と音がしていたら、子機の「機能確定」を押す

3 **+**で【ファクス受信】を選び、「機能確定」を押す

- ☞ 通話中にファクスを受信するときは、「機能確定」を押して、**+**で【ファクス受信】を選び、「機能確定」を押します。いったんファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

4 画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、子機を充電器に戻す

発信元を登録する

通信管理

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

【発信元登録】

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の用紙の一番上に印刷されます。

2016/01/21 15:25	052XXXXXXX	山田 太郎	ページ 01/01
------------------	------------	-------	-----------

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ファクス】を押す

4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力し、【OK】を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

 ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

5 【名前】を押す

6 画面に表示されているキーボードで名前を入力し、【OK】を押す

16 文字まで入力できます。

⇒ユーザズガイド 応用編 第 9 章「文字の入力方法」

7 を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ファクス】を押す

4 を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す

5 を押して操作を終了する

電話帳に登録する

複合機本体の電話帳に登録する

【電話帳登録】

よくファクスを送る相手先のファクス番号を電話帳に登録します。

相手先のファクス番号と名称を、最大 100 件×2 番号に登録することができます。

- ① 個別に登録した相手先をまとめてグループダイヤルとして登録することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第6章「グループダイヤルを登録する」
- ② 「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第6章「パソコンを使って電話帳に登録する」

1 【ファクス】を押す

2 【電話帳】、【登録 / 編集】を順に押す

3 【電話帳登録】を押す

4 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す



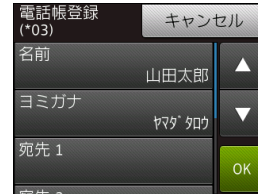
名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 応用編 第9章「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

5 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 6 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 7 へ

6 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す



7 【宛先 1】を押して、画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す



電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。電話・ファクス番号のカッコやハイフンは登録できません。

- 数字：0～9
- 記号：＊、＃
- スペース：▶を押す
- ポーズ：約 3 秒の待ち時間（画面には「p」と表示）

① 同様の手順で【宛先 2】を押すと、2 つめの番号を登録することができます。

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 を押して登録を終了する

お願い

- 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。

子機の電話帳に登録する

子機電話帳には 1 個体につき 100 件まで登録できます。

1 子機の を押す

2 で【電話帳登録】を選び、を押す

3 名前を入力し、を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ユーザズガイド 応用編 第 9 章「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

4 自動入力された読み仮名が、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、を押す

5 電話番号を入力し、を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。
(数字、*、#、P (ポーズ) のみ。)

電話番号が登録されます。

6 を押して登録を終了する

 ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。

⇒ 48 ページ「着信鳴り分けを設定する」

 「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、下記をご覧ください。

⇒ユーザズガイド 応用編 第 6 章「電話帳の内容を変更する」

留守番機能を設定する

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。

留守番機能では、以下のような設定ができます。

留守番機能で設定できること

● メッセージの録音時間

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定できます。

⇒ 58 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

 メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● 留守応答メッセージ

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音できます。

⇒ 59 ページ「応答メッセージを録音する」

また、留守応答メッセージは選ぶことができます。状況に応じて使いわけてください。

⇒ 61 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

 お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」と録音されています。

● 在宅応答メッセージ

在宅応答メッセージとは、留守モードにセットされていないときの着信メッセージです。次の設定下で、かかってきた電話に応答します。

- ・留守モードに設定されていない
- ・再呼び出しあり（ファクス専用・電話専用の設定ではない）

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージが録音されていますが、自分の声で録音して既存のメッセージと入れ替えることができます。

⇒ 59 ページ「応答メッセージを録音する」

 在宅時の応答メッセージは、【再呼出ベル設定】を【オン（電話呼び出し）】、【再呼出方法】を【相手にメッセージ】にすると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。（⇒ 30 ページ「再呼出の設定をする」）

お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● 呼出ベル回数

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定できます。

⇒ 29 ページ「呼出ベル回数を設定する」

● 留守録モニター

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

⇒ 60 ページ「留守録モニターを設定する」

メッセージの録音時間を設定する

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 秒】に設定されています。

1 子機の  を押す

2  で【留守番設定】を選び、
 を押す

3  で【録音時間】を選び、 を押す

4  で 1 回あたりの録音時間を選び、
 を押す

【応答のみ／30 秒／60 秒／120 秒／180 秒】から選択します。

設定が有効になります。

【応答のみ】に設定すると、録音時間は実質 0 秒です。本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。

⇒ 58 ページ「メッセージの録音時間【応答のみ】を選んだときの注意」

5  を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【応答のみ】を選んだときの注意

【応答のみ】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。

録音時間【応答のみ】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。

⇒ 59 ページ「応答メッセージを録音する」

⇒ 61 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

応答メッセージを録音する

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて 2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音できます。

● 留守応答 1、留守応答 2

留守番機能がセットされている場合で電話に出られない場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」

● 在宅応答

留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」

 留守応答メッセージは、お買い上げ時の固定メッセージと、新たに録音できる 2 つのメッセージの合わせて 3 種類から選べます。在宅応答メッセージは、いったん録音すると、そのメッセージが固定となります。お買い上げ時のメッセージを再度使用したいときは、録音した在宅応答メッセージを消去します。

 メッセージは何度でも録音し直すことができます。

1 子機の を押す

2 で【留守番設定】を選び、 を押す

3 で【留守応答 1】または【留守応答 2】、【在宅応答】を選び、 を押す

4 で【録音】を選び、 を押す

5 子機のマイクに向かってメッセージを録音する

20 秒以内に収めてください。20 秒を待たずに終了するときは、 または  を押してください。ただし、録音開始から 5 秒間は停止できません。

今録音した内容が自動的に再生されます。最後まで聞かずに再生を終了するときは、 または  を押してください。

6 別の録音を続ける場合は、 を押し、手順 ③ ～ ⑤ を繰り返す

7 録音が終わったら を押して設定を終了する

応答メッセージを消去する

録音した応答メッセージを消去します。ただし、本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

1 子機の を押す

2 で【留守番設定】を選び、 を押す

3 で【留守応答 1】または【留守応答 2】、【在宅応答】を選び、 を押す

4 で【消去】を選び、 を押す

5 を押す

6 を押して操作を終了する

応答メッセージが消去されます。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

応答メッセージを確認する

- 1 子機の「機能 確定」を押す
- 2  で【留守番設定】を選び、「機能 確定」を押す
- 3  で【留守応答 1】または【留守応答 2】、【在宅応答】を選び、「機能 確定」を押す
- 4  で【再生】を選び、「機能 確定」を押す
応答メッセージが再生されます。
- 5  を押して確認を終了する

留守録モニターを設定する

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、子機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

-  （別売りの子機を増設してご利用の場合）留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。
-  モニター中の音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
⇒ユーザズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」

- 1 子機の「機能 確定」を押す
- 2  で【留守番設定】を選び、「機能 確定」を押す
- 3  で【留守録モニター】を選び、「機能 確定」を押す
- 4  で【する】または【しない】を選び、「機能 確定」を押す
- 5  を押して設定を終了する

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 子機の留守/録音を押す

留守応答メッセージが再生されます。
留守/録音が点灯し、留守モードになります。



留守番機能を解除するときは、もう一度留守/録音を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分で録音した応答メッセージがある場合は、応答メッセージを選ぶことができます。

1 子機の機能を押す

2 + で【留守番設定】を選び、機能を押す

3 + で【応答切替】を選び、機能を押す

4 + で留守応答メッセージを選び、機能を押す

下記の中から選択します。

- 【固定メッセージ】：
あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【留守応答 1】：
自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【留守応答 2】：
自分で録音した留守応答メッセージ 2

設定が有効になります。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さない限り有効です。

5 切を押して設定を終了する

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、子機の留守録音が点滅しています。



1 子機の留守録音を押す

留守録音が点滅し、留守モードが解除されます。
新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。
再生が終わると、【再生済音声 1. 消去 2. 保存 番号を入力】と表示されます。メッセージを消去する場合は **1**、保存しておく場合は **2** を押してください。操作しないでそのままにしておくと、自動的にメモリーに保存されます。

ファクスが届いているとき

新着ファクスが点滅しているときは、ファクスを受信しています。複合機本体で確認してください。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する」

メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生 / 消去できます。

メッセージを一括再生 / 消去する

- 1 子機の機能確定を押す
- 2 + で【再生 / 消去】を選び、機能確定を押す
- 3 + で【留守】を選び、機能確定を押す
- 4 + で【全件】を選び、機能確定を押す
- 5 + で【再生】または【消去】を選び、機能確定を押す
 - 【再生】を選んだ場合：
古いメッセージから順に再生されます。
⇒ 63 ページ「音声メッセージを確認する」
⇒ 手順 7 へ
 - 【消去】を選んだ場合：
【消去 ? 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。⇒ 手順 6 へ
- 6 1 あを押す
- 7 切を押して操作を終了する

メッセージを1件選んで再生/消去する

- 1 子機の^{「機能」}確定を押す
- 2  で【再生 / 消去】を選び、^{「機能」}確定を押す
- 3  で【留守】を選び、^{「機能」}確定を押す
- 4  で【1 件ずつ】を選び、^{「機能」}確定を押す
 メモリーに保存されている最も古いメッセージの着信日時が表示されます。
- 5  で操作対象のメッセージを選び、^{「機能」}確定を押す
- 6  で【再生】または【消去】を選び、^{「機能」}確定を押す
 - 【再生】を選んだ場合：
メッセージが再生されます。⇒手順 8 へ
 - 【消去】を選んだ場合：
【消去？ 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。⇒手順 7 へ
- 7  を押す
- 8  を押して操作を終了する

音声メッセージを確認する

留守録メッセージの再生で【全件】を選んだときは、下記の操作ができます。

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

-  を押すと、再生中のメッセージを頭出しします。
-  を2回続けて押すと、1つ前のメッセージを頭出しします。

(B) 次のメッセージを聞くとき

-  を押します。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

- 再生中に^{「機能」}確定または  を押すと、再生 / 消去メニューに戻ります。
- 再生中に  を2回押すと、待ち受け画面に戻ります。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

子機のバッテリーを交換するときは

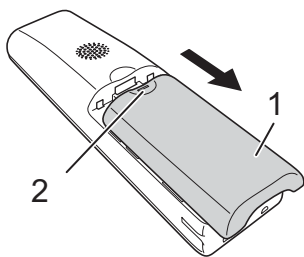
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

！ 危険

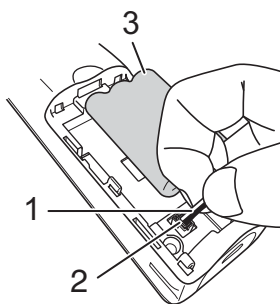
- バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

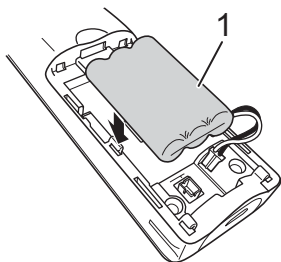
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらしします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



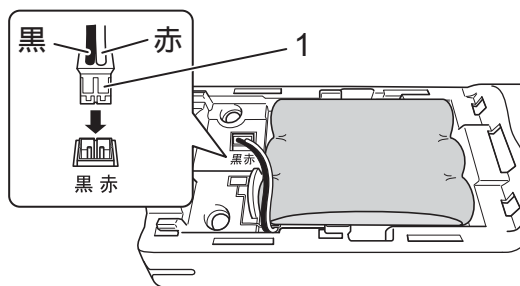
2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上引き抜き、バッテリー（3）を取り出す



3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

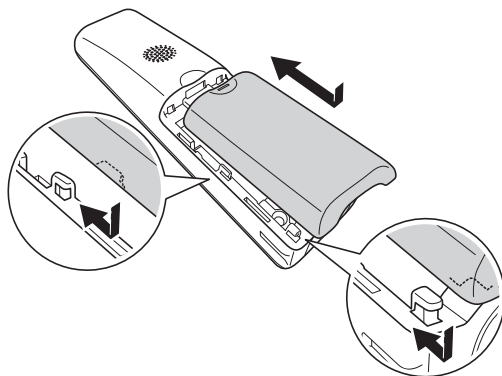


4 バッテリーコードの黒 / 赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込む



5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



バッテリーを交換したら、必ず 12 時間以上充電してください。

お願い

■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーは剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 使用済み電池の届け出先は、⇒ 65 ページ「使用済み電池の届け出」をご覧ください。



使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- 一般社団法人 電池工業会
ホームページ： <http://www.baj.or.jp>
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株） 東京事業所
〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
電話： 03-3272-0351
- ブラザー販売（株） 関西事業所
〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
電話： 06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

紙が詰まったときは

重要

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、用紙を取り除いてください。

用紙が詰まったときは

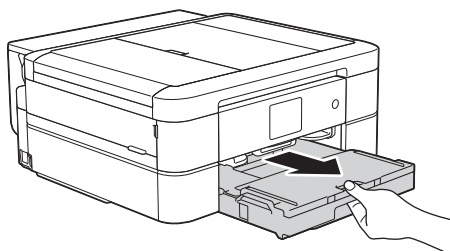
お願い

- 何度も紙が詰まるときは…
 - 紙の曲がりや反りを直して使用してください。
 - 給紙ローラーを清掃してください。
⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
 - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」手順 13
 - ⇒ 70 ページ「用紙が前面に詰まったときは」手順 9
 - ⇒ 71 ページ「用紙が背面に詰まったときは」手順 7
 - 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうかを、用紙トレイを抜いて確認してください。
 - 用紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
⇒ 130 ページ「専用紙・推奨紙」
- メッセージに従って対処してもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグを抜き差ししてみてください。

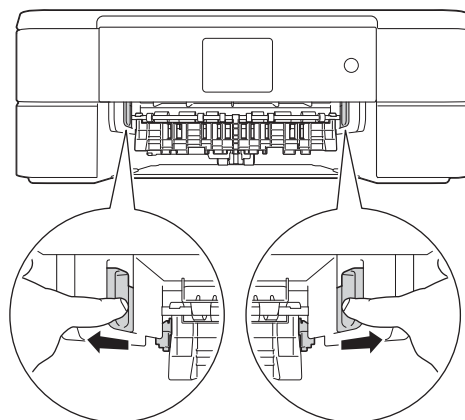
用紙が前面または内部に詰まったときは

画面に【用紙詰まり A: 内部 / 前】または【繰返し用紙詰まり A: 内部 / 前】と表示された場合は、次のようにして用紙を取り除きます。

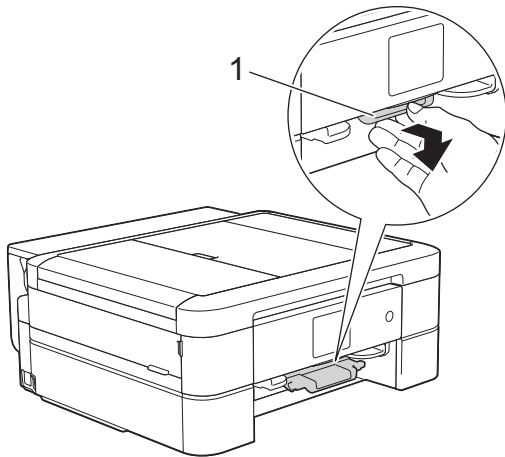
- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す
- 3 用紙トレイを引き出す



- 4 (MFC-J830DN/J830DWN)
左右にある緑色のレバーを手前に引く

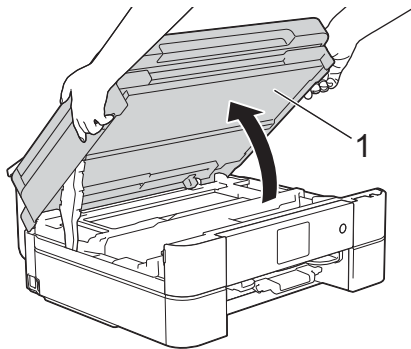


(MFC-J900DN/J900DWN)
ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる



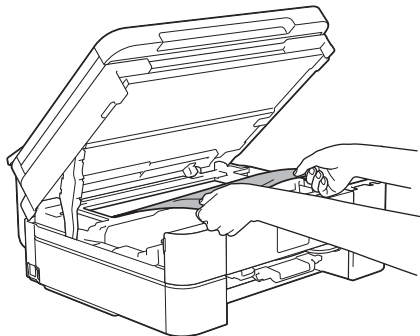
5 両手で本体カバー (1) を開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。



6 内部に残っている用紙をゆっくり引き抜く

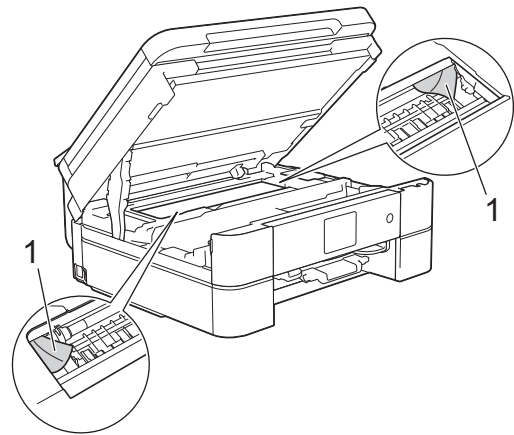
紙が破れないように静かに抜き取ります。



- 【用紙詰まり A: 内部 / 前】と表示されていた場合：⇒手順 8 へ
- 【繰返し用紙詰まり A: 内部 / 前】と表示されていた場合：⇒手順 7 へ

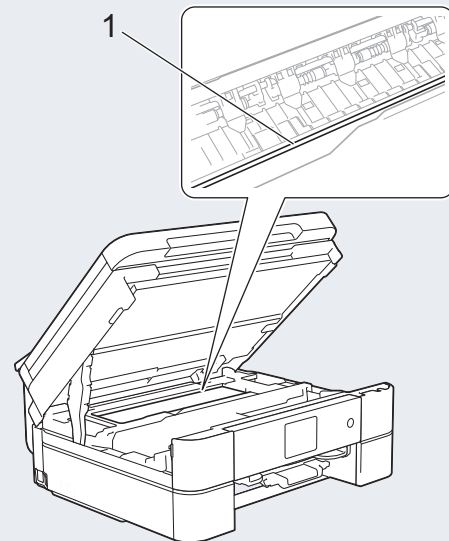
7 更に、内部に紙片 (1) が残っていないかをよく確認する

残っている紙片があれば、破れないように静かに抜き取ります。



重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 内部に詰まった用紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。用紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

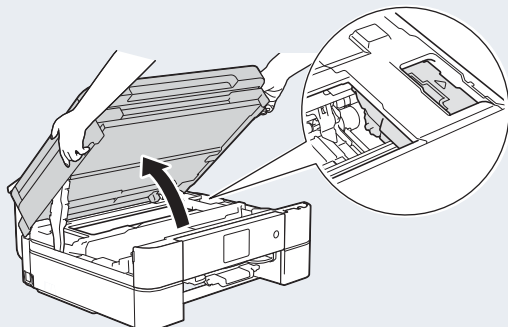
留守番機能

こんなときは

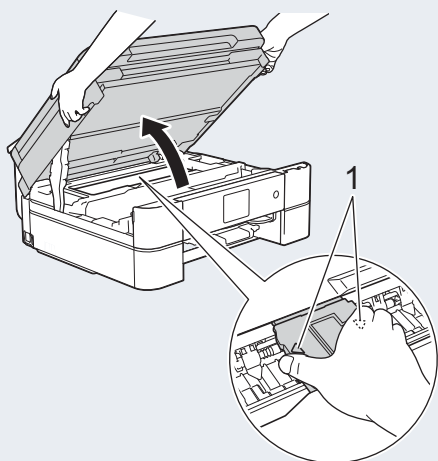
録付

重要

■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

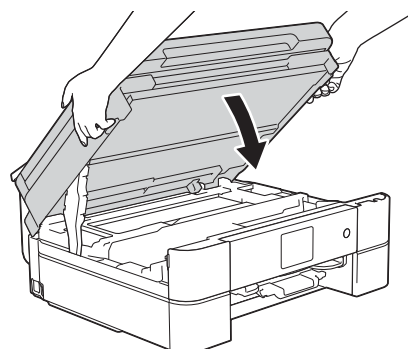


- (1) 本体カバーを閉じる
 - (2) 電源プラグを差し込む
 - (3) 本体カバーを開く
 - (4)  を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。
 - (5) 電源プラグを抜いて、用紙を取り除く
 - (6) 本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、用紙を取り除いてください。
プリントヘッドは、△マークがあるくぼみ部分 (1) を持って動かしてください。



8 本体カバーを閉じる

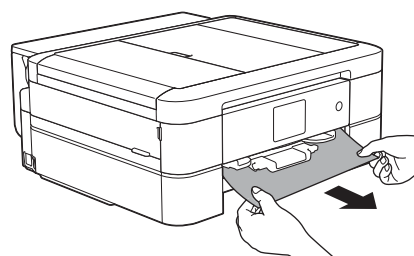
本体カバーの両側にある突起を持ち、ゆっくりと閉じてください。



 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
多目的トレイが開いている場合は、多目的トレイを閉じてください。

9 トレイの挿入口に残っている用紙をゆっくり引き抜く

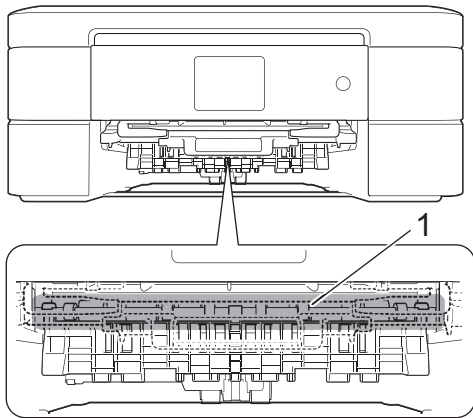
紙が破れないように静かに抜き取ります。



- 【用紙詰まり A: 内部 / 前】と表示されていた場合：
MFC-J830DN/J830DWN ⇒ 手順 **15** へ
MFC-J900DN/J900DWN ⇒ 手順 **14** へ
- 【繰返し用紙詰まり A: 内部 / 前】と表示されていた場合：⇒ 手順 **10** へ

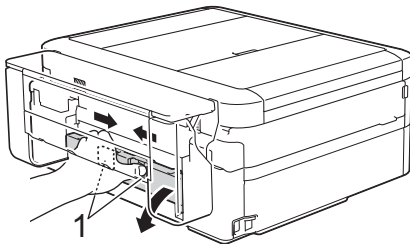
10 本体内部に紙片（1）が残っていないか確認する

残っている紙片があれば、破れないように静かに抜き取ります。



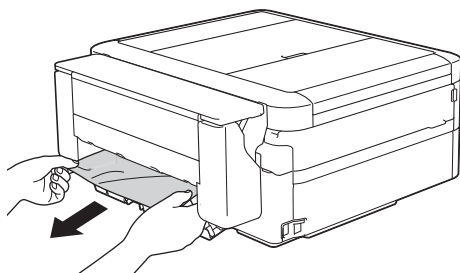
11 本体背面の紙づまり解除カバーを開く

両方のレバー（1）をつまみ、手前に引いて開きます。



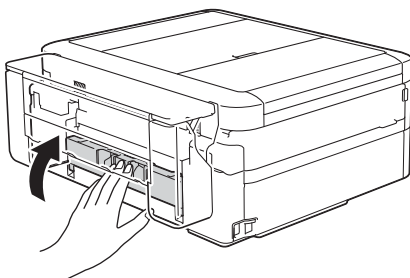
12 詰まった用紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

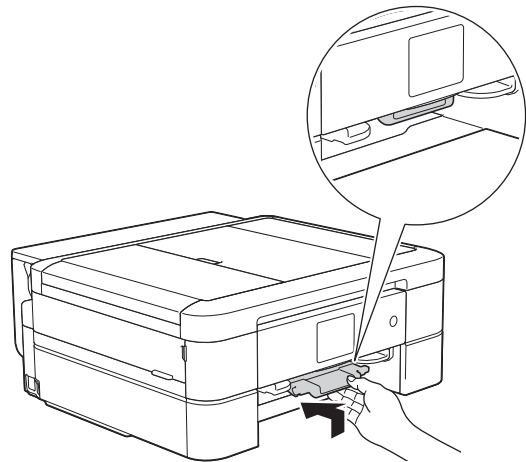


13 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。

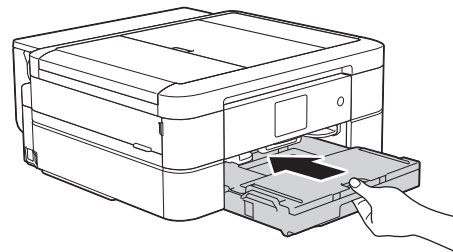


14 (MFC-J900DN/J900DWN のみ) ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む

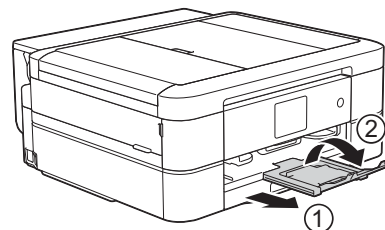


15 用紙トレイを元に戻す

用紙トレイはしっかりと奥まで押し込んでください。



16 用紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



17 電源プラグをコンセントに差し込む

18 エラーメッセージが消えていることを確認する

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

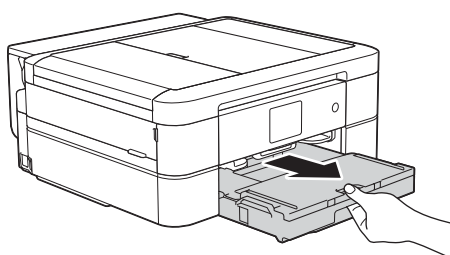
こんなときは

付録

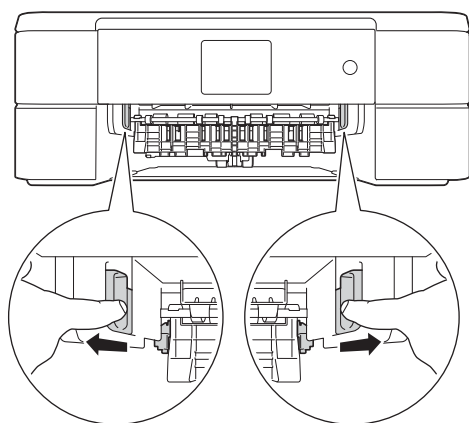
用紙が前面に詰まったときは

画面に【用紙詰まり B: 前】または【繰返し用紙詰まり B: 前】と表示された場合は、次のようにして用紙を取り除きます。

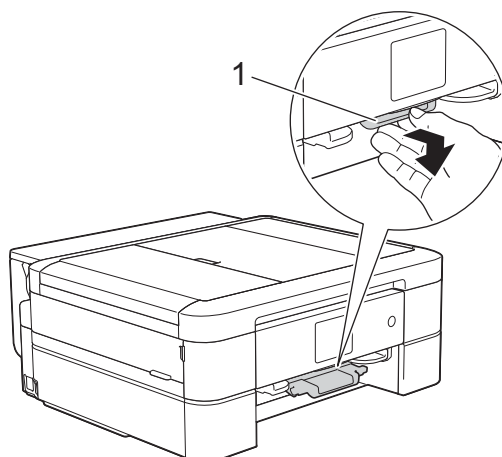
- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す
- 3 用紙トレイを引き出す



- 4 (MFC-J830DN/J830DWN)
左右にある緑色のレバーを手前に引く

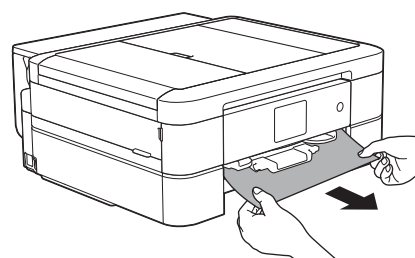


(MFC-J900DN/J900DWN) ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる



- 5 トレイの挿入口に残っている用紙を
ゆっくり引き抜く

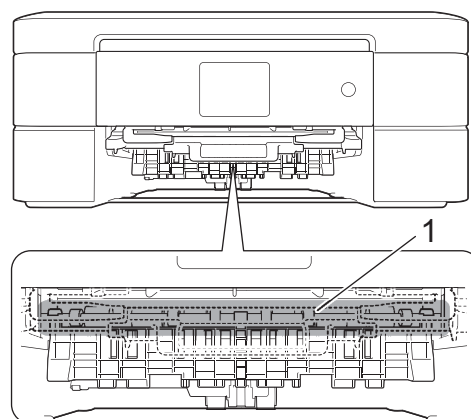
紙が破れないように静かに抜き取ります。



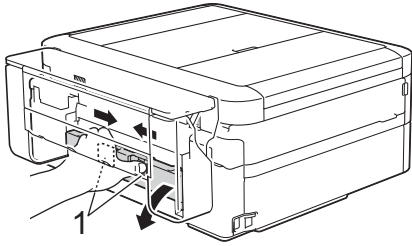
- 【用紙詰まり B: 前】と表示されていた場合：
MFC-J830DN/J830DWN ⇒ 手順 11 へ
MFC-J900DN/J900DWN ⇒ 手順 10 へ
- 【繰返し用紙詰まり B: 前】と表示されていた場合：⇒ 手順 6 へ

- 6 本体内部に紙片 (1) が残っていないか確認する

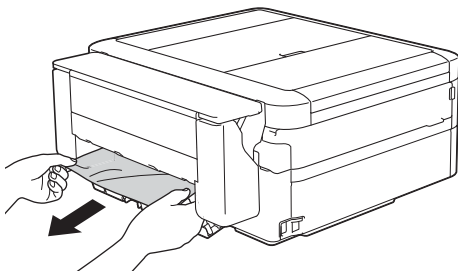
残っている紙片があれば、破れないように静かに抜き取ります。



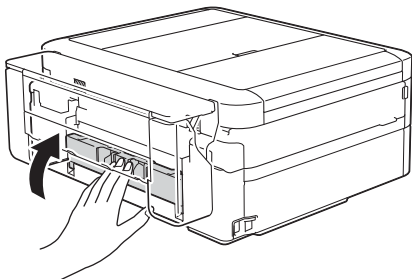
- 7 本体背面の紙づまり解除カバーを開く**
両方のレバー (1) をつまみ、手前に引いて開きます。



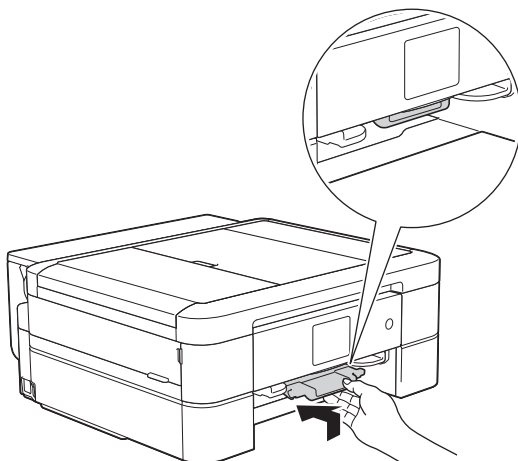
- 8 詰まった用紙を抜き取る**
紙が破れないように静かに抜き取ります。



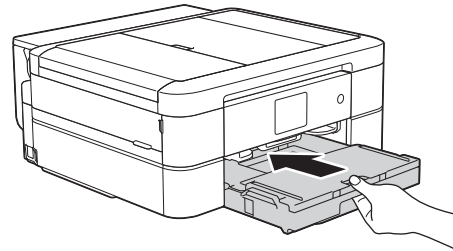
- 9 紙づまり解除カバーを閉じる**
カバーを押して確実に閉じてください。



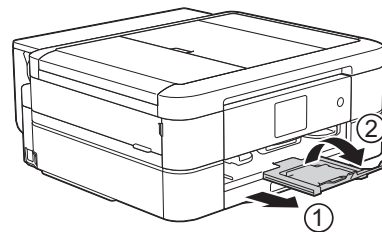
- 10 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)**
ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む



- 11 用紙トレイを元に戻す**
用紙トレイはしっかりと奥まで押し込んでください。



- 12 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)**



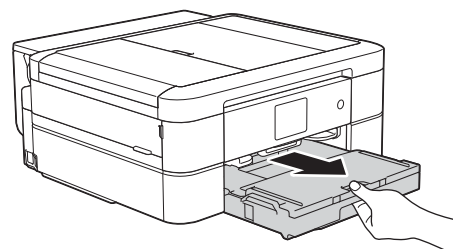
- 13 電源プラグをコンセントに差し込む**

- 14 エラーメッセージが消えていることを確認する**

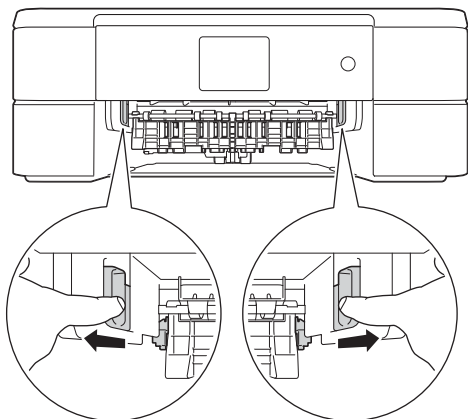
用紙が背面に詰まったときは

画面に【用紙詰まり C: 後ろ】と表示された場合は、次のように用紙を取り除きます。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く**
- 2 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)**
多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す
- 3 用紙トレイを引き出す**

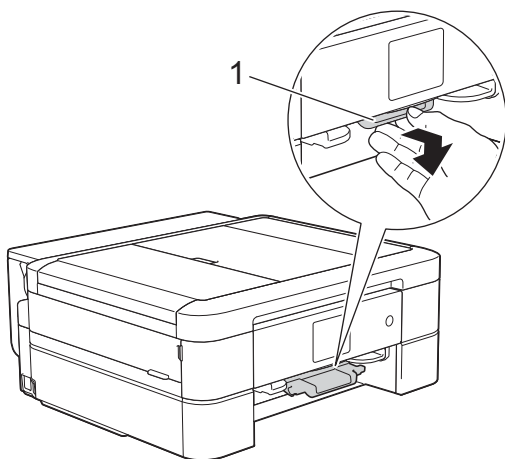


4 (MFC-J830DN/J830DWN)
左右にある緑色のレバーを手前に引く

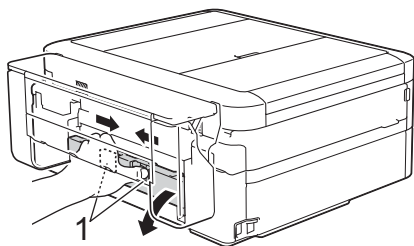


 用紙サイズによっては、背面よりも前面からの方が抜き取りやすい場合があります。

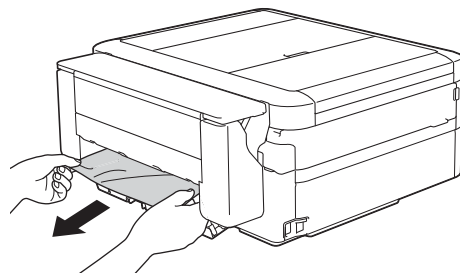
(MFC-J900DN/J900DWN)
ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる



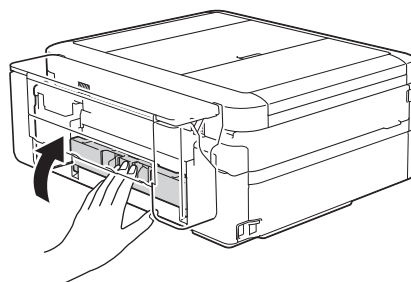
5 本体背面の紙づまり解除カバーを開く
両方のレバー (1) をつまみ、手前に引いて開きます。



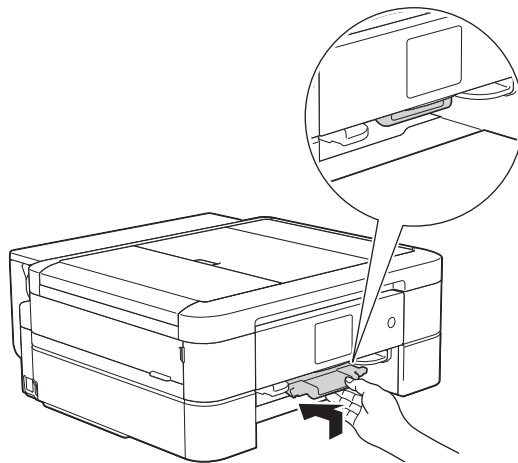
6 詰まった用紙を抜取る
紙が破れないように静かに抜き取ります。



7 紙づまり解除カバーを閉じる
カバーを押して確実に閉じてください。

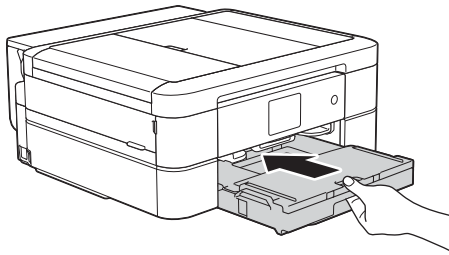


8 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)
ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む

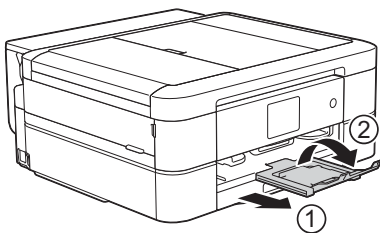


9 用紙トレイを元に戻す

用紙トレイはしっかりと奥まで押し込んでください。



10 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



11 電源プラグをコンセントに差し込む

12 エラーメッセージが消えていることを確認する

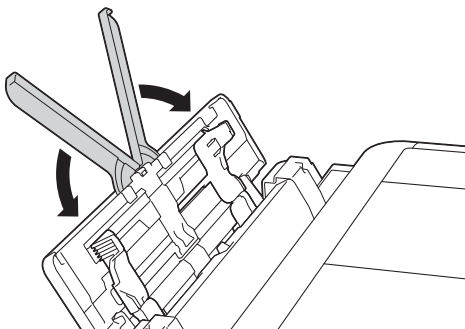
用紙が多目的トレイに詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

画面に【用紙詰まり D: 多目的トレイ】と表示された場合は、次のようにして用紙を取り除きます。

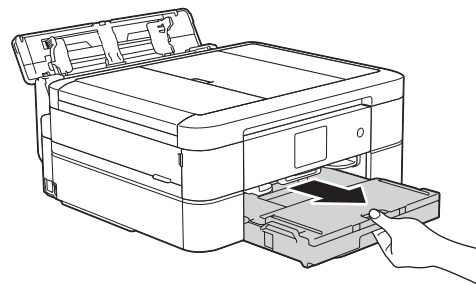
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す

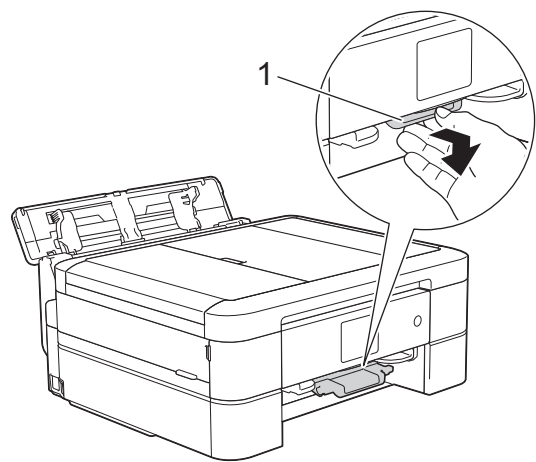
用紙サポーターが立っている場合はサポーターを戻します。



3 用紙トレイを引き出す

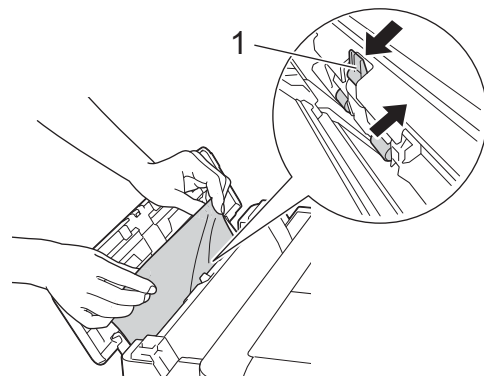


4 ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる



5 詰まった用紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。
抜き取れない場合は、解除レバー (1) を本体の後ろ方向に押しながら、用紙を抜き取ります。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

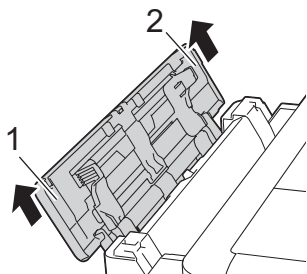
留守番機能

こんなときは

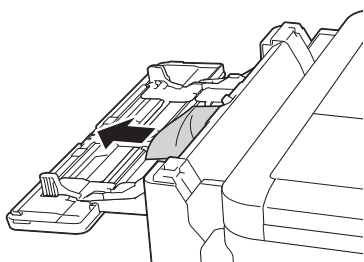
付録

 A6 サイズ以下の用紙、または小さな紙片が詰まったときは以下の手順で操作してください。

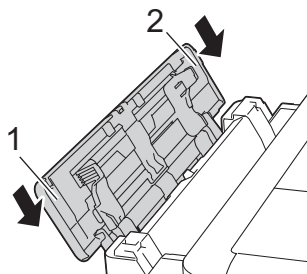
(1)多目的トレイの右側 (1) と左側 (2) をそれぞれ片方ずつ引きあげ、後方に倒す



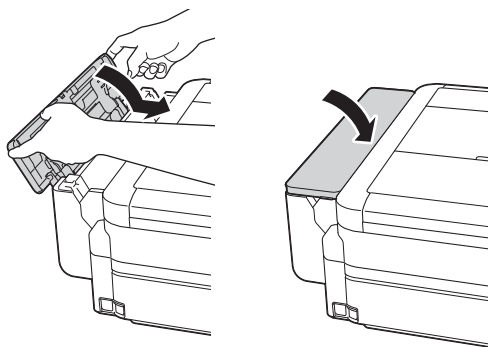
(2)詰まった用紙を取り除く



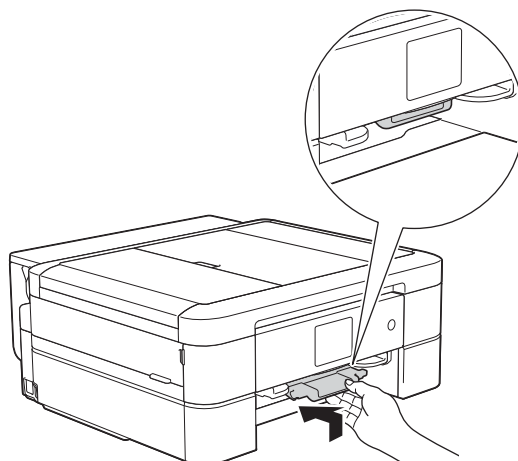
(3)多目的トレイを持ち上げ、トレイの右側 (1) と左側 (2) を片方ずつ押し込む



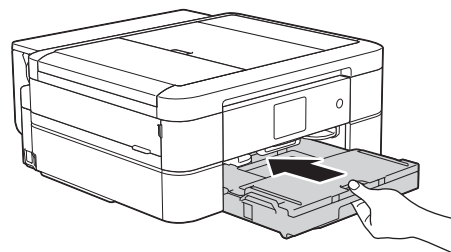
6 多目的トレイを閉じる



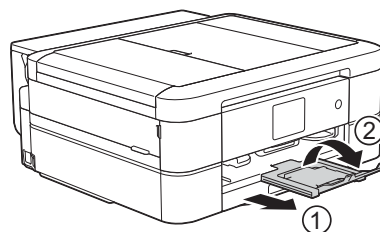
7 ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む



8 用紙トレイを元に戻す



9 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



10 電源プラグをコンセントに差し込む

11 エラーメッセージが消えていることを確認する

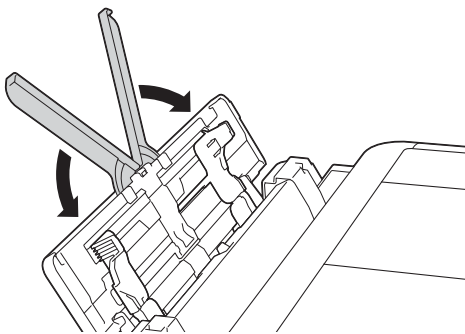
用紙が多目的トレイまたは内部に詰まったときは
(MFC-J900DN/J900DWN のみ)

画面に【用紙詰まり E: 内部 / 多目的】または【繰返し用紙詰まり E: 内 / 多目的】と表示されたときは、次のようにして用紙を取り除きます。

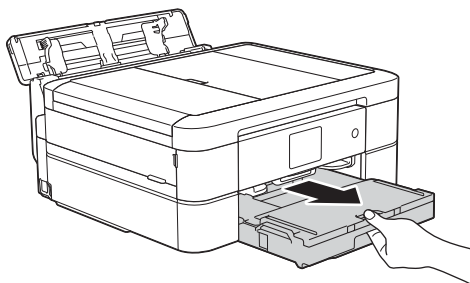
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す

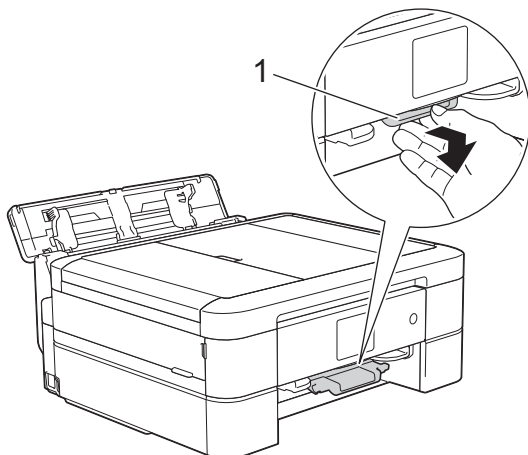
用紙サポーターが立っている場合はサポーターを戻します。



3 用紙トレイを引き出す

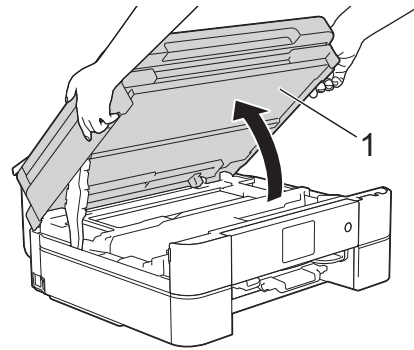


4 ディスクレバー (1) を手前に引いて下げる



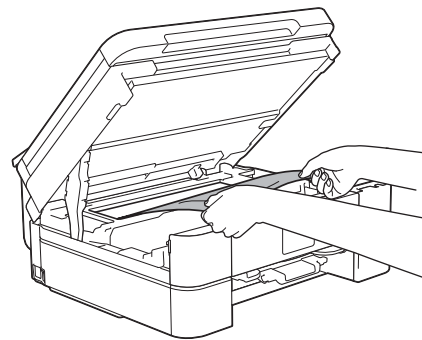
5 両手で本体カバー (1) を開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。



6 内部に残っている用紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります。



- 【用紙詰まり E: 内部 / 多目的】と表示されていた場合：⇒手順 **8** へ
- 【繰返し用紙詰まり E: 内 / 多目的】と表示されていた場合：⇒手順 **7** へ

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

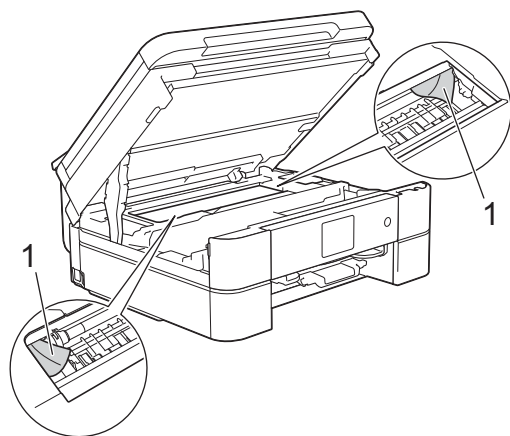
留守番機能

こんなときは

付録

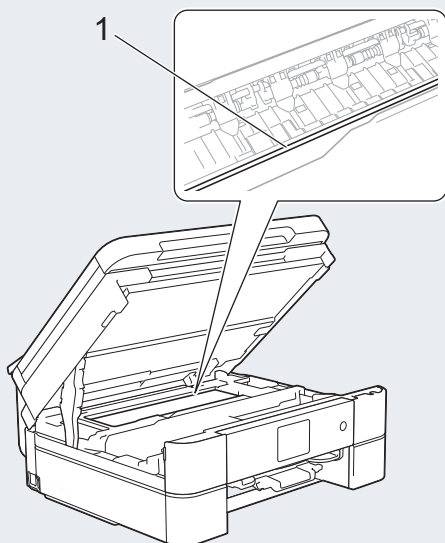
7 更に、内部に紙片 (1) が残っていないかをよく確認する

残っている紙片があれば、破れないように静かに抜き取ります。



重要

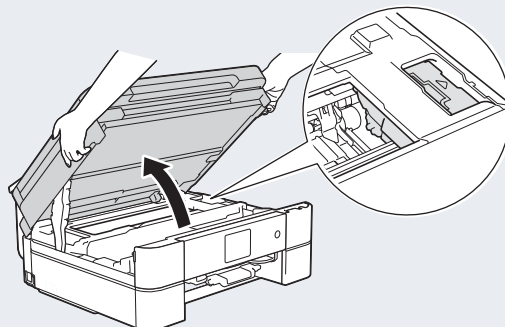
- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 内部に詰まった用紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。用紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

重要

- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



- (1) 本体カバーを閉じる
- (2) 電源プラグを差し込む
- (3) 本体カバーを開く

- (4)  を長押しする

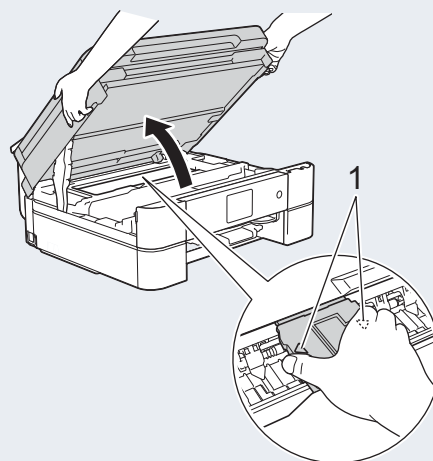
プリントヘッドが中央に移動します。

- (5) 電源プラグを抜いて、用紙を取り除く
- (6) 本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む

本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

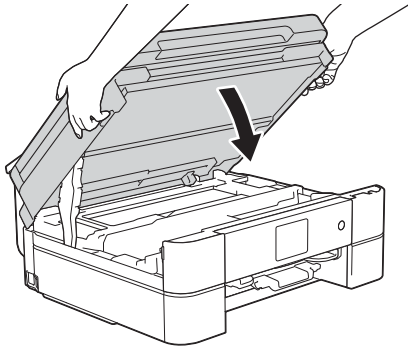
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、用紙を取り除いてください。

プリントヘッドは、△マークがあるくぼみ部分 (1) を持って動かしてください。



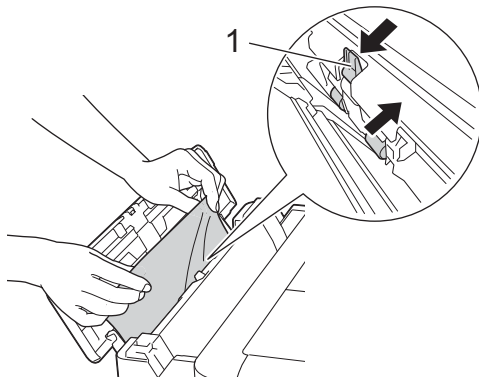
8 本体カバーを閉じる

本体カバーの両側にある突起を持ち、ゆっくりと閉じてください。

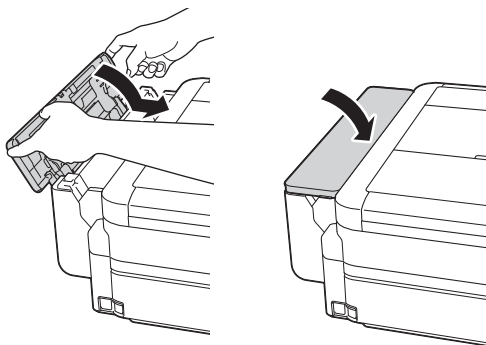


9 詰まった用紙を抜取る

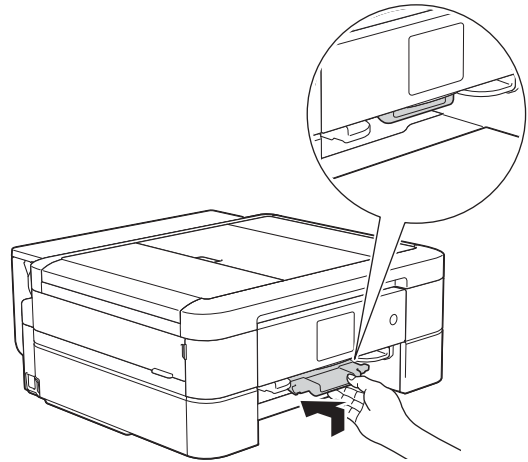
紙が破れないように静かに抜取ります。抜き取れない場合は、解除レバー (1) を本体の後ろ方向に押しながら、用紙を抜取ります。



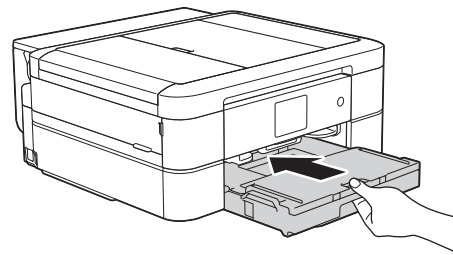
10 多目的トレイを閉じる



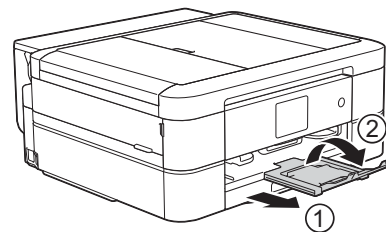
11 ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む



12 用紙トレイを元に戻す



13 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



14 電源プラグをコンセントに差し込む

15 エラーメッセージが消えていることを確認する

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

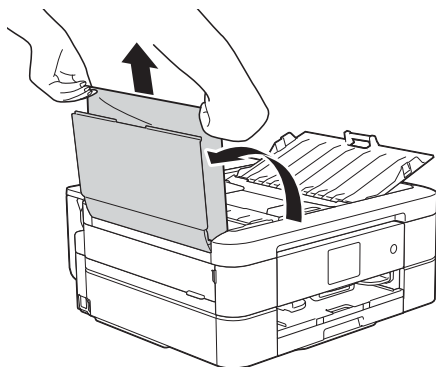
ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合

1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。



3 ADF カバーを閉じる

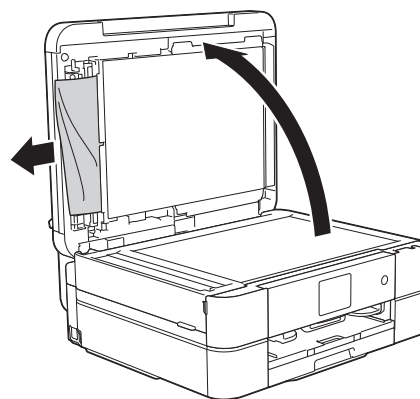
4  を押す

吸い込み口付近に詰まった場合

1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 原稿台カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。



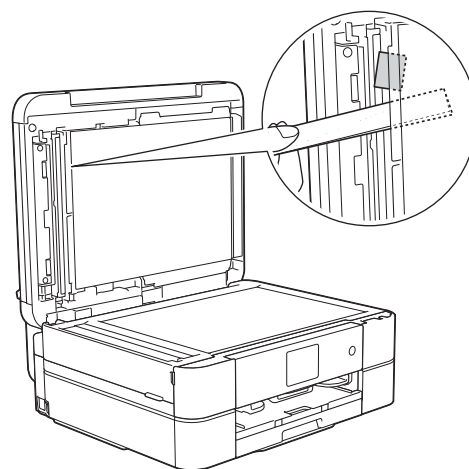
3 原稿台カバーを閉じる

4  を押す

紙片が詰まった場合

1 原稿台カバーを開く

2 名刺のような、折れ曲がりにくくしなる紙を差し込んで紙片を取り除く



3 原稿台カバーを閉じる

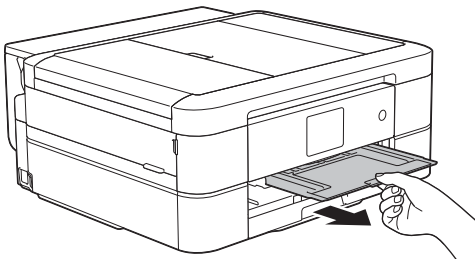
4  を押す

ディスクが詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)

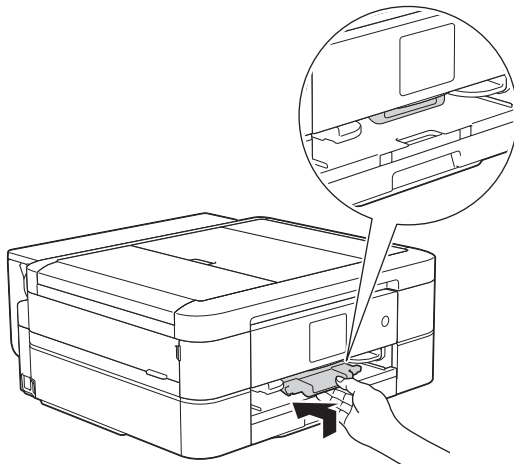
ディスクが前面に詰まったときは

前面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されます。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 ディスクトレイを取り出す



- 3 ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む

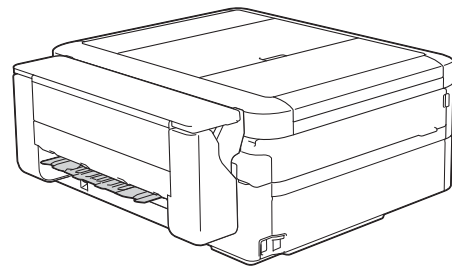


- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

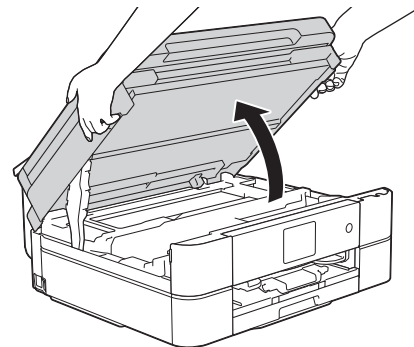
ディスクが背面に詰まったときは

背面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されます。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 本体の背面にディスクトレイを取り出すことができるスペースを確保する



- 3 両手で本体カバーを開く
本体カバーが保持される位置まで上げてください。



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

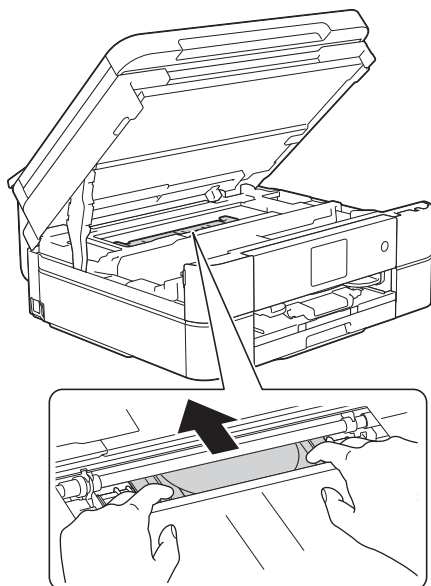
留守番機能

こんなときは

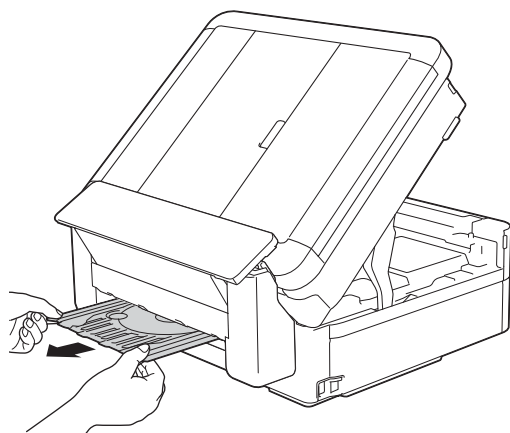
付録

4 指でディスクトレイを本体の背面方向に進める

強く押さないでください。

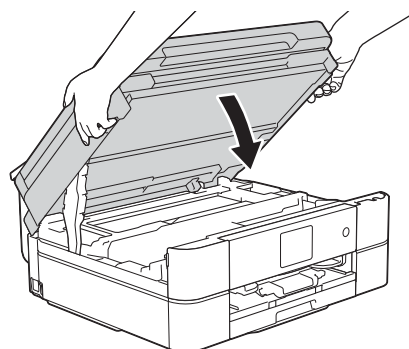


5 本体の背面からディスクトレイを取り出す



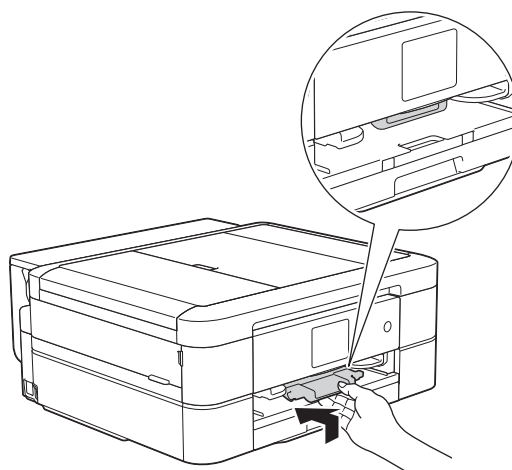
6 本体カバーを閉じる

本体カバーの両側にある突起を持ち、ゆっくりと閉じてください。



 多目的トレイが開いている場合は、多目的トレイを閉じてください。

7 ディスクレバーを持ち上げて本体に押し込む



8 電源プラグをコンセントに差し込む

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ったり、印刷位置のズレを補正する必要があります。

印刷品質をチェックする

【印刷品質のチェックと改善】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、「印刷品質チェックシート」を出し、再度クリーニングを行います。

1 を押す

2 【印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善】を押す

3 【印刷品質のチェックと改善 - かすれ、白スジの改善】を押す

4 A4 サイズの普通紙を用紙トレイにセットして、【スタート】を押す

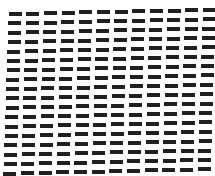
⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

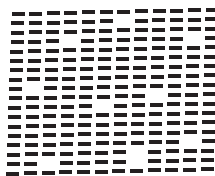
5 印刷にかすれや抜けがある場合は【はい】を、きれいに印刷されている場合は【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【はい】を押します。

<良い例>



<悪い例>



【はい】を押した場合は、⇒手順 6 へ
【いいえ】を押した場合は、⇒手順 8 へ

6 画面の表示に従って、カラーおよびモノクロそれぞれの印刷結果にもっとも近い番号を選ぶ

番号の選択結果により、適切なクリーニングを行います。
画面に従って操作してください。

7 【スタート】を押す

プリントヘッドのクリーニングを行います。クリーニング終了後、【はい】を押して、手順 4 に戻ります。

8 を押してチェックを終了する

 1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。



目詰まり時



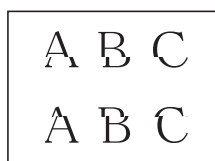
正常

罫線ずれ、文字ぶれを改善する

【罫線ずれの補正】

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。

 補正前と補正後は次のようになります。



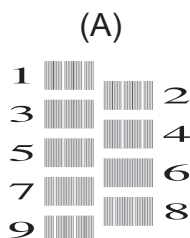
印刷位置がずれている状態



印刷位置が正しい状態

- 1  を押す
 - 2 【印刷品質のチェックと改善 - かすれ, スジ, ずれの改善】を押す
 - 3 【罫線ずれの補正 - 罫線ずれ, 文字ぶれ改善】を押す
 - 4 【次へ】を押す
 - 5 A4 サイズの普通紙を用紙トレイにセットして、【スタート】を押す
⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」
- 「罫線ずれチェックシート」が印刷されます。
- 6 印刷されたチェックシートのパターンで、最も縦筋が目立たない番号を (A) パターンから順に選び、【OK】を押す

下記の例では、「6」が最適な印刷位置です。



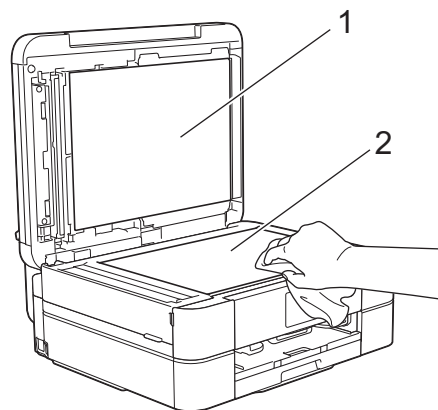
- 7  を押して操作を終了する

スキャナー（読み取り部）を清掃する

スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

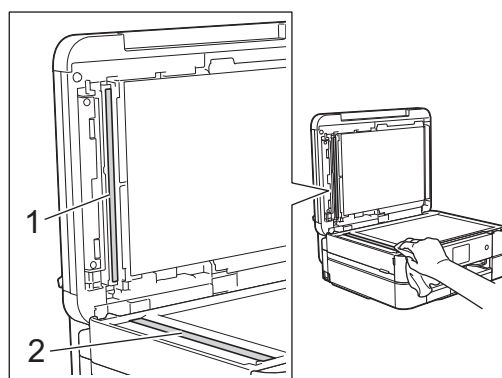
- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台カバーのプラスチック面 (1)、原稿台ガラス (2) を拭いてください。



- 3 (MFC-J900DN/J900DWN のみ) ADF 読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー (1) と ADF 読み取り部 (2) を拭いてください。

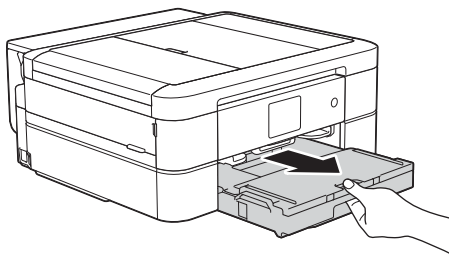


- 4 原稿台カバーを閉じる
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む

給紙ローラーを清掃する

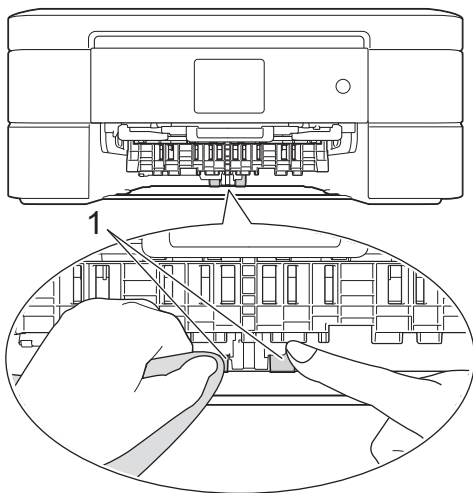
給紙ローラーが汚れていると、給紙しづらくなったり、用紙が汚れたり、用紙が詰まりやすくなります。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る
- 3 用紙トレイを引き出す



4 給紙ローラー (1) を拭く

ローラーの 1 つを縦方向にゆっくりと回転させながら、残りのローラーを横方向に拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。同様にすべてのローラーを拭いてください。



- 5 用紙トレイを元に戻す
- 6 電源プラグをコンセントに差し込む



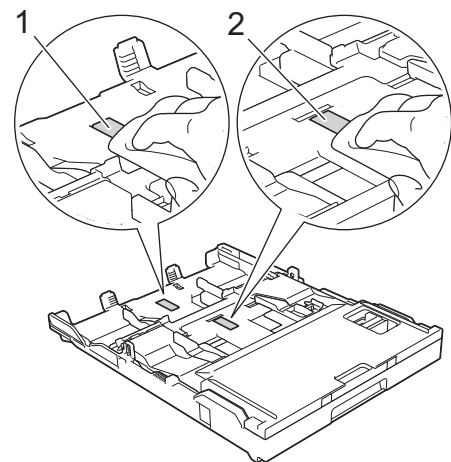
(MFC-J900DN/J900DWN のみ)

付属のローラークリーニングシートを使って、給紙ローラーを清掃することもできます。ローラークリーニングシートについて、詳しくは⇒別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」

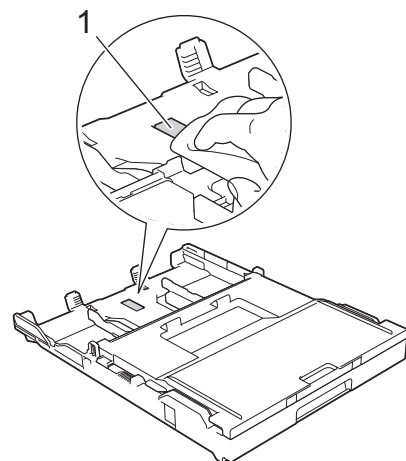
用紙が重なって給紙されてしまうときは

用紙の残りが少なくなってきたときに、用紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、用紙トレイの黒色のゴム部分 (1) とスライドトレイの黒色のゴム部分 (2) を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。

- MFC-J830DN/J830DWN



- MFC-J900DN/J900DWN



ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源をオフにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

（MFC-J900DN/J900DWN のみ）

NFC 機能が搭載された Android™ 端末をお持ちの場合、画面にメッセージが表示された状態で、本製品の操作パネルの NFC のロゴに端末をかざすと、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）に接続し、端末の画面に「よくあるご質問（Q&A）」ページが表示されます。（サポートサイトの接続には、別途通信料がかかります。）

あらかじめ本製品と Android™ 端末の NFC 設定がオンになっていることをご確認ください。

複合機本体のメッセージ

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」
インクカートリッジの型番が違います	正しい型番のインクカートリッジを使用していない。	本製品で使用できるインクカートリッジをご利用ください。 ⇒ 130 ページ「消耗品」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度ゆっくり取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	リリースレバーが上がるまで、インクカートリッジを確実に押してセットします。
	正しい型番のインクカートリッジを使用していない。	本製品で使用できるインクカートリッジをご利用ください。 ⇒ 130 ページ「消耗品」
インク量を検知できません	純正インクを使用していない。	弊社純正でないインクカートリッジをご使用になると、本製品がインク量を検知できない場合があります。弊社純正品に交換してください。純正品に換えてもメッセージが表示される場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
印刷できません インク交換	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。 ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色と型番のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」 一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。

メッセージ	原因	対処
印刷できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で用紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった用紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。 ⇒ 118 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8 : 3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。
紙詰まりを繰り返しています	機械内部で用紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	内部に詰まった紙片を除去してください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
給紙の失敗を繰り返しています	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーの清掃をしてください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録ディスクが詰まっています 前	印刷中に記録ディスクが詰まった。	ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 79 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
記録ディスクが詰まっています 後ろ	印刷中に記録ディスクが詰まった。	本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 79 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
記録ディスクを確認してください	ディスクトレイに記録ディスクがない。 レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されている。	記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm の CD/DVD/BD です。 ⇒ 26 ページ「記録ディスクをセットする（MFC-J900DN/J900DWN のみ）」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で用紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった用紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。 ⇒ 118 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

メッセージ	原因	対処
原稿検出に失敗しました	レーベルコピー時に、原稿（ディスクまたは写真）の読み取りに失敗した。	エラーが表示されてからしばらく経つと、画面が切り替わります。切り替わった画面で  を押し、画像を拡大すると、▲/▼/◀/▶ が押せるようになります。このあと  /  で原稿サイズを合わせて、▲/▼/◀/▶ で原稿位置を白い枠に合わせた後、【OK】を押してください。 下記の処置を行ってください。 • 原稿台ガラスを清掃してください。 • 原稿を読み取る前に、正しい原稿のタイプを選択してください。 • 原稿の読み取り中は、原稿台カバーを閉じてください。 • 原稿台ガラスに置く原稿は、一度に 1 枚にしてください。 • 原稿を正しく原稿台ガラスに置いてください。
子機使用中です	子機通話中または通話終了直後はファクス送信できない。	子機の通話中はファクス送信できません。また、通話終了直後も複合機本体と通信ボックスとの接続確認を自動で行うため、すぐにはファクスできません。しばらく待ってファクス送信し直してください。
室温が高すぎます	室温が高くなっている。	室温を下げ、しばらくたった後にお使いください。
室温が低すぎます	室温が低くなっている。	室温を上げ、しばらくたった後にお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外してオン/オフボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB ハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。

メッセージ	原因	対処
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で用紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった用紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。 ⇒ 118 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で用紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった用紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。 ⇒ 118 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
接続できません エラー No.E1 ユーザーズガイド＜こんなときは＞をご覧ください	何らかの異常が発生したために、通信ボックスと複合機本体が接続できない。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してもらってください。
設定できませんでした	ADSL の IP 電話に接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
送信できません	送信先のファクス機がカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。
送信できません 通信ボックスとの接続状態を確認しもう一度送信してください 停止  を押してください	ファクスデータ転送中に、複合機本体と通信ボックス間の接続が確立できなくなった。	複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認してください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本製品の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本製品の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を確認してください 解決しない時は回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください	モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性がある。	モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

メッセージ	原因	対処
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用している。(相手側を含む)	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信 / 受信してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	ブランチ接続 (並列接続) していませんか。	ブランチ接続 (並列接続) をしないでください。1 つの電話回線に複数台の電話機を接続する場合は、本製品のみを電話回線に接続してご利用ください。
通信ボックスと接続できません 電波状態が悪くなっています 通信ボックスと複合機本体を近づけてください	通信ボックスの電源が接続されていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのこの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。コンセントに差し込み直したら、「接続確認」を行ってください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
	複合機本体と通信ボックスが離れすぎている。	2 台を近づけて接続状態をお確かめください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
	鉄筋コンクリート、アルミサッシ、その他金属製の壁、扉などが妨げになり、複合機本体と通信ボックスが通信できない。	近づけることで正常に接続される場合は、設置場所を変更してください。
	通信障害が発生し、複合機本体と通信ボックスが通信できない。	通信ボックスと複合機本体の同期がとれなくなっています。通信ボックスで「ネットワーク接続リセット」を行って、2 者間の通信をお買い上げ時の状態に戻してください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の状態に戻す (通信ボックスの再接続)」
通信ボックスの登録が間違っています ユーザズガイド<こんなときは>をご覧ください	本製品の正常な通信の妨げになる通信機器が近くにある可能性がある。	コールセンター (お客様相談窓口) にお問い合わせください。
詰まっています / 長すぎます	原稿が ADF (自動原稿送り装置) に詰まっている。または、原稿が長すぎる。	詰まった原稿を取り除き、  を押したあと、原稿を正しくセットし直してください。 ⇒ 78 ページ「ADF (自動原稿送り装置) に原稿が詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)」 セットできる原稿の長さを確認してください。 ⇒ 24 ページ「ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿」
データが残っています	印刷データが本体のメモリに残っている。	 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の用紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ディストレイが背面に当たりました	ディストレイを搬送したときに背面に 10cm 以上のスペースがなかった。	前面にディストレイが戻ってきた場合は、前面からディストレイを取り出してください。 ⇒ 79 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
		途中で止まってしまった場合は、本体背面からディストレイを引き出すために十分なスペースを確保し、背面からディストレイを取り出してください。 ⇒ 79 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
ディストレイを送れません	ディストレイがディスクガイドにセットされていない。	ディストレイを正しくセットしてください。 ⇒ 26 ページ「記録ディスクをセットする」

メッセージ	原因	対処
ディスクレバーが開いています	ディスクレバーが完全に閉まっていない。	ディストレイが無いことを確認して、ディスクレバーを持ち上げて、奥までしっかり押して閉じてください。 ⇒ 27 ページ「記録ディスクを取り出す」
電話・ファクスが使えません	電話回線が接続されていない可能性がある。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。 ⇒ かんたん設置ガイド
トレイが引き出されました	用紙トレイが抜かれたとき、用紙設定を確認するためのメッセージと現在トレイに設定されている用紙タイプと用紙サイズが表示されます。	メッセージを表示させない場合は、【トレイ確認】を【オフ】に設定してください。 ⇒ 23 ページ「トレイ確認を設定する」
トレイ設定が違います (MFC-J900DN/J900DWNのみ)	本製品で設定した【用紙サイズ】が、パソコンからの印刷やコピーを行うときに指定した用紙のサイズと一致していない。	画面のメッセージに従って、用紙を入れ替えるか、【用紙サイズ】を変更して、再度印刷してください。 【用紙サイズ】の設定を印刷したいサイズに変更し、用紙トレイに印刷したいサイズの用紙をセットしてください。 ⇒ 23 ページ「用紙の種類とサイズを設定する」
廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に達した。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お問い合わせいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリ少なくなりました	みただけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「不要なファクスのみを消去する」 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「すべてのファクスを消去する」
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「メモリー受信をやめる」 ただし、【メモリ受信】のオン・オフ操作でメモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファクスをメモリーで受信する」
プリンター使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

メッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ	インクの残りが少なくなっている。	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 131 ページ「消耗品などのご注文について」 なお、ファクス受信に影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。カラーコピーの場合は、【モノクロ片面印刷のみ可能】になるまで利用できます。
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に近づいている。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアカードエラー	メモリーカード、USB フラッシュメモリーが複数セットされている。	メモリーカード、USB フラッシュメモリーが複数セットされている場合は、1 つだけにしてください。
メディアのファイルが多すぎます	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカード内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
メディア容量がいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
メモリがいっぱいです 読み取り分コピー/取り消し	コピー中に本製品のメモリーに空き容量がなくなった。	複数枚をコピーしたときは、【読み取り分コピー】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のみコピーします。  または 【取り消し】 を押すとコピーを中止します。
メモリがいっぱいです 読み取り分送信/中止する	複合機本体の空きメモリーが不足している。	複数枚をファクスしたときは、【読み取り分送信】を押すと送信されます。  または 【中止する】 を押すと送信を中止します。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「不要なファクスのみを消去する」 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「すべてのファクスを消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「メモリー受信をやめる」
メモリーカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。

メッセージ	原因	対処
モノクロ片面印刷のみ可能	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 印刷設定時、用紙種類を [普通紙]、カラーを [モノクロ] に設定して、強制的にモノクロ印刷をすれば、片面印刷の場合に限りモノクロでの印刷が可能です。ブラックインクがあるあいだは、この状態でも約 1 ヶ月間使用できます。 • コピー 用紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。ただし、両面コピー (MFC-J900DN/J900DWN のみ) はできません。 ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した場合 • プリンタードライバーの [基本設定] タブで [乾きにくい紙] をチェックしている場合 (パソコン側で印刷をキャンセルし、本製品でも  を押して印刷を取り消してください。)	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」
用紙詰まり A: 内部 / 前 繰返し用紙詰まり A: 内部 / 前	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
	ガイドが用紙のサイズに合っていない。	ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認してください。
	手差しトレイに用紙を 2 枚以上セットしている。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	手差しトレイには、一度に 1 枚しかセットできません。また、複数枚の用紙を使用するときは、画面に次の用紙のセットを促すメッセージが表示されるのをお待ちください。
	次の用紙のセットが可能であることを示すメッセージが表示される前に、手差しトレイに用紙をセットした。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	詰まった用紙は取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
用紙詰まり B: 前 繰返し用紙詰まり B: 前	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 70 ページ「用紙が前面に詰まったときは」
	ガイドが用紙のサイズに合っていない。	ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認してください。
用紙詰まり C: 後ろ	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 71 ページ「用紙が背面に詰まったときは」
	ガイドが用紙のサイズに合っていない。	ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

メッセージ	原因	対処
用紙詰まり D:多目的トレイ	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 73 ページ「用紙が多目的トレイに詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)」
	ガイドが用紙のサイズに合っていない。	ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認してください。
用紙詰まり E: 内部 / 多目的 繰返し用紙詰まり E: 内 / 多目的	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 75 ページ「用紙が多目的トレイまたは内部に詰まったときは (MFC-J900DN/J900DWN のみ)」
	ガイドが用紙のサイズに合っていない。	ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認してください。
用紙サイズが不一致です 用紙サイズが不一致です [トレイ #1]	用紙のセット方向が間違っている。	トレイに示されている用紙サイズの目盛りに合わせて用紙をセットし直してください。
	設定した用紙サイズ以外の用紙がセットされている。	設定したサイズの用紙を正しい方向でセットしたことを確認してください。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」 レポート印刷は、A4 より小さいサイズ of 用紙に対応していません。トレイに A4 サイズ of 用紙をセットし、用紙サイズも A4 に設定してください。
用紙トレイが抜けています 用紙トレイ #1 が抜けています	用紙トレイが正しい位置にセットされていない。	用紙トレイを本体からいったん引き出し、もう一度ゆっくりと確実に差し込んでください。 それでもメッセージが表示される場合は、紙片や異物が本体内部に詰まっていないか確認してください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
用紙を送れません	用紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに用紙を入れ直してください。 用紙を補給するか、正しい位置にセットして、 [OK] を押してください。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	トレイカバーを完全に奥にずらしてください。 ⇒ 18 ページ「スライドトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)」
	スライドトレイが手前にセットされていない。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	トレイカバーを完全に手前に引いてください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」
	用紙が詰まっている。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」手順 13
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	用紙が手差しトレイの中央にセットされていない。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	用紙を手差しトレイからいったん外し、ガイドを用紙サイズの目盛りに合わせ直した上で再度セットしてください。 ⇒ 20 ページ「手差しトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)」

子機のメッセージ

メッセージ	状態	対処
親機と接続中	通信ボックスとの通信を確立中。	子機で設定した内容を通信ボックスに送り同期させるため、通信を確立する必要があります。しばらくお待ちください。
親機応答なし 親機と通信 できません	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスのACアダプターのプラグをコンセントに差ししてください。
親機を 探しています	子機の使用圏内（通信ボックス（親機）から、障害物のない直線距離で約100m以内）を越えた。	通信ボックス（親機）から 100m 以内に移動してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機のID登録をしておってください。 子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター） (http://support.brother.co.jp/) からダウンロードできます。
外線使用中	別の子機が通話中。	使い終わるのを待ってください。
充電デキマセン。 もう一度セット してください	充電器に異物が付着している、または接地不良。（すぎ間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
通話圏外 親機に近づい てください	電波状態が悪い、通信ボックス（親機）の電源プラグが抜けている。	通信ボックス（親機）の状態を確認してください。 子機の「外線」を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機のID登録をしておってください。 子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター） (http://support.brother.co.jp/) からダウンロードできます。
<電池残り少> 充電 して下さい	バッテリー残量がなくなった。	子機充電器に置いて充電してください。
電話帳が いっぱいです	電話帳に登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
電話帳登録 登録が ありません	電話帳に登録がない。	電話帳に登録してください。 ⇒ 56 ページ「子機の電話帳に登録する」
電話 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から発信しようとしている。	この履歴からは発信できません。
転送 デキマセン アンテナ 確認後 ヤリナオシテクダ サイ	複合機本体の電源が入っていない。	複合機本体の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認し、操作パネル上の  を押して電源を入れてください。
登録 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から登録しようとしている。	この履歴からは電話帳登録できません。
発信履歴無し	発信履歴は子機ごとに残される。	操作中の子機からあらためてダイヤルするか別の子機から発信してください。
ファクス受信あり [クリア/音質] を 押して下さい	ファクスを受信して通信ボックスから複合機本体に転送されている。	複合機本体で確認してください。
ファクス受信あり 複合機を確認して ください	ファクスを受信したが、複合機本体の電源が入っていないため、通信ボックスから転送できない。	複合機本体の電源をオンにして、通信ボックスとの接続を確認してください。
メモリ不足です 録音 できません	録音した通話または留守録メッセージがいっぱいになった。	メモリー内のメッセージを整理してください。 ⇒ 41 ページ「録音した通話を再生/消去する」 ⇒ 63 ページ「メッセージを 1 件選んで再生/消去する」

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録
付

《第 11 章 こんなときは》

メッセージ	状態	対処
留守応答中	留守録音中。 子機 1 で留守録メッセージをモニターしている。	録音中のメッセージは子機 1 でしかモニター（聞くことは）できません。 外線 または  スピーカーホン を押すと、留守録中の相手と回線がつながります。 外線発信したいときは、留守録中の相手が電話を切り表示が切り替わるのを待ってください。
留守録モニター中	留守録メッセージをモニターしている。	留守応答を続ける場合は、相手が電話を切るのを待ってください。 相手と話す場合は、 外線 または  スピーカーホン を押します。

無線 LAN 設定で困ったときは（無線 LAN レポート）

パソコン画面または製品から印刷された無線 LAN レポートに表示されたエラーコードを確認してください。エラーコードの意味と解決方法は、以下のとおりです。

エラーコード	意味	解決方法
TS-01	無線 LAN 設定が有効になっていない。	本製品の無線 LAN 設定を有効にしてください。
TS-02	無線 LAN アクセスポイントが見つかりませんでした。	ルーターの電源プラグを抜き、10 秒待ってから、もう一度電源プラグを差し直してください。
		MACアドレスフィルタリングなどの接続制限機能を利用している場合は、本製品のアクセスを許可してください。
		SSID やネットワークキーを入力した場合は、再度無線 LAN 設定をやり直してください。
TS-04	本製品でサポートしていない認証方式、暗号化方法です。	無線 LAN アクセスポイントで使用されている認証方式、暗号化方式を、本製品ではサポートしていません。無線 LAN アクセスポイントの認証と暗号化方式を変更してください。
TS-05	SSID とネットワークキーの設定が間違っています。	無線 LAN アクセスポイントの SSID、ネットワークキーを確認してください。
TS-06	無線 LAN のセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、ネットワークキー）の設定が間違っています。	無線 LAN のセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、ネットワークキー）を確認して、再度無線 LAN 設定をやり直してください。 WEP を使用している場合、本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
TS-07	WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが見つかりません。	WPS または AOSS™ 対応の無線 LAN アクセスポイントを使用している場合、本体と無線 LAN アクセスポイントの両方の操作が必要です。無線 LAN アクセスポイントの操作方法是、お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
TS-08	WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが複数見つかりました。	近くで別の WPS/AOSS™ の設定が行われています。干渉を避けるため、数分後に無線 LAN 設定をやり直してください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源をオフにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない/電話を受けられない。	外線 を押し了吗か。	充電台から取るだけでは回線はつながりません。 外線 を押して、ツー音が聞こえることを確認してください。
		モジュージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッターを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるかを確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		通信ボックスの電源が入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていない場合は電話はかけられません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		現在の回線状態を診断し、診断結果レポートを印刷することができます。レポートに記載されている対処方法をお試しください。 ⇒ 120 ページ「現在の電話回線状態を確認する」	
	電話がかけられない。（受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP 電話などの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 発信履歴/P 文字 を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」
	相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	 を押してスピーカーホン通話を解除し、子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	呼出ベル回数が0回になっていませんか。	呼出ベル回数を確認してください。 ⇒ 29 ページ「呼出ベル回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【なし】にしてください。 ⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
	受話口から「ツー」という音が聞こえない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していますか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していますか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		電話会社のナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合、本製品も設定されていますか。	ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、本製品のナンバー・ディスプレイ機能を【あり】に設定する必要があります。 ⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイサービス（有料）の契約はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイ機能を契約する必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバー・ディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 120 ページ「回線状況に応じて通話音質を調整する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」	
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
		呼出回数を2回以下に設定していませんか。	ナンバー・ディスプレイ機能を利用するときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。 2 回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。 ⇒ 29 ページ「呼出ベル回数を設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」
	電話がかかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のまま使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 ・サブアドレスなし着信：「着信する」 ・HLC 設定：「HLC 設定しない」 ・識別着信：「識別着信しない」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 - サブアドレスなし着信：「着信する」 - HLC 設定：「HLC 設定しない」 - 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいこととなります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【光・ISDN】にしてください。⇒ 119 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
ADSL	ファクス送受信ができない。（電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイ機能が動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
子機	動作しない/着信音が鳴らない。	外線を押ししましたか。	充電台から取るだけでは回線はつながりません。外線を押し、「ツーン音」が聞こえることを確認してください。
		通信ボックス（親機）の電源が入っていますか。	通信ボックス（親機）の電源が入っていない場合は子機を使用することはできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 64 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない/着信音が鳴らない。	バッテリーの残量がなくなっていますか。	バッテリーを充電してください。 バッテリーを交換してください。 ⇒ 64 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
		着信音量がオフ【□□□□】になっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「子機の音量を設定する」
		呼出ベル回数が1回に設定されていますか。	呼出ベル回数を 2 回以上に設定してください。
		通信ボックス（親機）から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、子機を通信ボックス（親機）に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。
		別の子機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が0本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、ACアダプターが近くにいたり、電源が一緒になっていませんか。	通信ボックス（親機）や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	通話状態がよくない ・声が途切れる ・通話が切れる ・雑音が入りやすい	ひかり電話やインターネット電話、IP 電話など、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	ひかり電話やインターネット電話、IP 電話など、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		1.9GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。
		声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【しない】にしてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 53 ページ「電話に出ってから受ける」
		電話会社のナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合、本製品も設定されていますか。	ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、本製品のナンバー・ディスプレイ機能を【あり】に設定する必要があります。 ⇒ 31 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
		近くに電気製品や障害物はありませんか。	電気製品などから離してください。 置き場所や向きを変えてみてください。 本製品と電気製品の電源プラグを別々のコンセントに接続してみてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話状態がよくない ・声が途切れる ・通話が切れる ・雑音が入りやすい	移動しながら子機を使用 していませんか。	使用場所により電波が弱い場所がありま す。雑音が少ない場所で使用してください。 または子機のアンテナが 3 本表示され るところでご使用ください。
		通話音質を調整すると改 善される場合があります。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 120 ページ「回線状況に応じて通話音 質を調整する」
		子機のアンテナ表示が0本 ～ 2 本になっていません か。	子機のアンテナが 3 本表示されるところで ご使用ください。
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいま せんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さく ありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を 設定する」
	相手から聞こえないと言 われる。	送話口（マイク）に向かっ て話していますか。 また、送話口を髪でふさい だり、顔に押し付けたりし て話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面 にくるようにし、ふさがないようにして話 してください。
		通話音質を変更していま せんか。	【通話音質】の設定値を小さくすると、相手 にこちらの声が聞こえやすくなります。双 方の聞こえかたを試しながら調整してくだ さい。 ⇒ 120 ページ「回線状況に応じて通話音 質を調整する」
	通話中・トリプル通話中・ スピーカーホン通話中に 自分の声が響く、相手の声 が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変 更してみてください。音質が改善されることが あります。 ⇒ 120 ページ「回線状況に応じて通話音質を調整する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「音量を設定する」	
	充電器に置いても【充電 中】と表示されない。	充電器の電源プラグは確 実に差し込まれています か。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに 差し込んでください。
		充電器に正しく置かれて いますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いて ください。
		バッテリーを交換しまし たか。	新しいバッテリーは充電されていないこと があります。その場合は、子機を充電器に 置いて約 2 分後に【充電中】と表示されま す。そのまま約 12 時間充電をしてください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッ テリーが温かくなります。 故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではあ りませんか。	バッテリーを外して、充電器にセットして ください。 ・画面に文字が表示される場合 ご購入後 1 年以上経過していればバッテ リーの寿命だと思われます。新しいバッ テリーに交換してください。 ⇒ 64 ページ「子機のバッテリーを交換す るときは」 ・画面に何も表示されない場合 電源プラグを確認してください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録
付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	外線 や  を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	別の子機が使用されていませんか。	使い終わるのを待ってください。
		通信ボックスから離れすぎていませんか。	通話圏内に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<電池残り少>充電して下さい」と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 64 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	通話圏内に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていますか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。 通話を保留にして子機を充電器に戻し、別の子機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		スマートフォンなどの携帯端末からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
	留守番機能		
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス / コピー	ファクス送信 / 受信ができない。	通信ボックスの電源が入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていない場合はファクスの送受信はできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		受信する前に子機を戻していませんか。	【親切受信】が【する】に設定されていれば（お買い上げ時の設定）、子機を持ったまま7秒待つと受信できます。親切受信されない場合は、手動で受信してください。 ⇒ 53 ページ「電話に出てから受ける」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「電話 / ファクス回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		内線で本製品を接続していますか。	構内交換機（PBX）をご利用の場合は、本製品が自動応答しない場合があります。特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 119 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス / コピー	ファクス送信 / 受信ができない。	ひかり電話、インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話、インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。 安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心 (VoIP)】の順にお試しください。 ⇒ 119 ページ「安心通信モードに設定する」
		複合機本体と通信ボックスの接続は良好ですか。	接続状態を確認してください。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
		ファクスを送信 / 受信できる相手とできない相手がありますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心 (VoIP)】の順にお試しください。 ⇒ 119 ページ「安心通信モードに設定する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信) / 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、用紙に印刷されるようになります。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファクスを自動的に印刷する (みるだけ受信を解除する)」
		通信ボックスの電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 テストしたい原稿を下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス送信先：052-824-4773	
		現在の回線状態を診断し、診断結果レポートを印刷することができます。レポートに記載されている対処方法をお試しください。 ⇒ 120 ページ「現在の電話回線状態を確認する」	
	ファクスが送信できない。	カラーで送信しようとしていますか。	本製品はカラーファクスに対応していないファクス機にカラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもありません。送信先のファクス機がカラーに対応しているかどうかをお聞きいただき、対応していなければモノクロで送信してください。また、相手のファクス機がカラー対応であっても、インクが準備されていないときは本製品からの送信ができません。この場合もモノクロで送信してください。
	ファクスを受信できない。	転送電話 (ボイスワープ) の契約をしていませんか。	転送電話 (ボイスワープ) の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	印刷されていませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
		【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。排紙トレイを確認してください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	カラーファクス受信ができない。	【メモリ受信】を【PC ファクス受信】にしていますか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心 (VoIP)】にしていますか。	カラーファクスを受信することはできません。カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】または【高速】にしてください。 ⇒ 119 ページ「安心通信モードに設定する」
		残り少なくなっているインクがありませんか。	インクが残り少なくなるとカラーファクスの印刷ができません。カラーファクスを印刷するには、新しいインクカートリッジに交換する必要があります。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」
	みるだけ受信が設定されているのにファクスが印刷される。	ファクスがカラーではありませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
	ファクスを送信できない場合がある。(IP 網を使用している場合)	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけている場合は、「0000」や選択番号のあとに【ポーズ】を押してポーズ (約 3 秒間の待ち時間) を入れ、電話番号を入力してください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	送信後、相手から受信したファクスに黒い線が入っていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 82 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「設定を変えてファクスするには」
		ブランチ接続 (並列接続) された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続 (並列接続) はしないようにしてください。
		相手のファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。	まず、本製品の読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 82 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心 (VoIP)】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】または【高速】に設定してください。 ⇒ 119 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	受信 / コピーしても、用紙 が出てこない。	複合機本体の電源は入っ ていますか。	複合機本体の電源プラグをコンセントに差 し、  を押して電源を入れてください。 通信ボックスとの接続状態を確認してくだ さい。 ⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認 する」
		用紙は正しくセットされ ていますか。	用紙、本体カバーを正しくセットしてくだ さい。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」
		用紙がなくなっていませ んか。	
		本体カバーまたはインク カバーは確実に閉まっ ていますか。	
		用紙が詰まっていますか。	詰まった用紙を取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分で すか。	インク残量を確認してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インク 残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定 されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、 ファクスはメモリーに保存されます。ファ クスを画面で確認してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「受信し たファクスを画面で見 (みるだけ受信) / 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、用紙 に印刷されるようになります。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファク スを自動的に印刷する (みるだけ受信を解 除する)」
		給紙ローラーが汚れてい ませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	用紙が白紙のまま出てく る。	プリントヘッドのノズル が目詰まりしていません か。	印刷品質チェックを行い、問題のあるプリ ントヘッドをクリーニングしてください。 ⇒ 81 ページ「印刷品質をチェックする」 本製品には、印刷品質を維持するために、 自動でヘッドクリーニングを行う機能があ ります。ただし、電源プラグが抜かれてい るとこの機能が動きません。電源の入 / 切 は、電源プラグの抜き差しではなく、操作 パネル上の電源ボタンで行うことを強くお 勧めします。
		原稿を裏返しにセットし ていませんか。	原稿を正しくセットし、操作をやり直して ください。 ⇒ 24 ページ「原稿のセット」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いと きに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってくだ さい。
		相手側の原稿に異常があ りませんか (うすい、かす れなど)。	相手に確認し、送信し直してもらってくだ さい。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていま せんか。	スキャナー (読み取り部) を清掃してくだ さい。 ⇒ 82 ページ「スキャナー (読み取り部) を 清掃する」

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付 録

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス / コピー	きれいにコピーできない。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が動きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
	コピーに黒い線が入る。 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	ADF 読み取り部が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 82 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」
	文字や罫線、画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	罫線ずれチェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 82 ページ「罫線ずれ、文字ぶれを改善する」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「自動的に縮小して受ける」
	受信したファクスデータが確認できない。	複合機本体の電源をオンにした直後ではありませんか。	複合機本体の電源をオンにしたあと、しばらくお待ちください。 ⇒ 50 ページ「受信のしくみ」
	自動受信できない。	呼出ベル回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出ベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出ベル回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 29 ページ「呼出ベル回数を設定する」 または、手動で受信してください。 ⇒ 53 ページ「電話に出てから受ける」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信) / 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、用紙に印刷されるようになります。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファクスを自動的に印刷する (みるだけ受信を解除する)」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	用紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
	自動両面コピーのとき、用紙が何度も詰まる。 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、用紙のうら面が汚れる。 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、用紙のうら面が汚れる場合があります。	両面コピーの【あんしん設定】をお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「両面コピーする」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス / コピー	ADF（自動原稿送り装置） 使用時、原稿が送り込まれて いかない。 (MFC-J900DN/J900DWNのみ)	画面に【原稿セット OK】 と表示される位置まで原 稿をしっかりと差し込ん でいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセッ トしてください。
		ADF カバーは確実に閉 まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎ たりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、 カールしたり、しわになっ ていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーを してください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセット してください。
		原稿挿入口に破れた原稿な どが詰まっていますか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取 り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置） 使用時、原稿が斜めになっ てしまう。 (MFC-J900DN/J900DWNのみ)	ADF ガイドを原稿に合わ せていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿 をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿な どが詰まっていますか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取 り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置） 使用時、本製品の動作が遅 くなる。 (MFC-J900DN/J900DWNのみ)	大量の原稿を連続で読み 取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くな ることがあります。しばらく時間をおいて からご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込ま れない。	給紙ローラーが汚れてい ませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットし ていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙 をセットしてください。ブラザー写真光沢 紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットし てください。
	拡大 / 縮小で【用紙に合わ せる】が機能しない。	セットした原稿が傾いて いませんか。	セットした原稿が3° 以上傾いていると、原 稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わ せる】が機能しません。原稿が傾かないよ うにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部） が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してくだ さい。 ⇒ 82 ページ「スキャナー（読み取り部）を 清掃する」
		用紙ストッパーを確実に 引き出していますか。	用紙ストッパーを確実に引き出してくださ い。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」手 順 9
プリント (印刷)	用紙が重なって送り込ま れる。	用紙がくっついていませ んか。	用紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」
		用紙がトレイの後端に乗り 上げていませんか。	用紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う用紙を混ぜて セットしていませんか。	種類の違う用紙は取り除いてください。
		用紙トレイの黒色のゴム 部分が汚れていませんか。	黒色のゴム部分を清掃してください。 ⇒ 83 ページ「用紙が重なって給紙されてし まうときは」
		用紙のセット枚数に余裕 はありますか。	用紙のセット枚数に余裕がないと、うまく 送り込まれないことがあります。用紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
		手差しトレイに用紙を 2 枚以上セットしていませ んか。 (MFC-J830DN/J830DWNのみ)	手差しトレイには、一度に 1 枚しかセット できません。また、複数枚の用紙を使用す るときは、画面に次の用紙のセットを促す メッセージが表示されるのをお待ちくだ さい。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録
付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	① 本製品とパソコンの接続方式 (USB、無線 LAN) を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 84 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
		③ USB ケーブルはパソコンと複合機本体側にしっかりと接続されていますか。 無線 LAN 接続の場合、正しくセットアップされていますか。	複合機本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USB ハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合は、⇒ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワークをご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。 • Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] から [すべてのドキュメントの取り消し] を行ってください。 <Windows® 8> マウスをデスクトップ右下端に移動させ、メニューバーが表示されたら、[設定] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。 <Windows® 7> スタートボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。 <Windows Vista®> スタートボタンから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。 <Windows® XP> スタートボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して [×] をクリックしてください。 <OS X v10.8.5> [システム環境設定] - [プリントとスキャン] - [プリントキューを開く...] の順に選択します。 <OS X v10.9.x / 10.10.x> [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] - [プリントキューを開く...] の順に選択します。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていませんか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 <OS X v10.8.5> [プリントとスキャン] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。 <OS X v10.9.x /10.10.x> [プリンタとスキャナ] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。
		⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	• Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [一時停止] をクリックしてチェックを外します。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して [再開] をクリックします。
		⑧ オフラインの状態になっていませんか。 (Windows® のみ)	<Windows® 7/Windows® 8> プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プリンターをオフラインで使用する] をクリックして、チェックを外します。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックします。
		⑨ 印刷先 (ポート) の設定は正しいですか。 (Windows® のみ)	印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。 <Windows® 7/Windows® 8> プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、[プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法 (Windows® のみ) Brother Utilities から [MFC-XXXXXX*1] – [ツール] – [アンインストール] をクリックしてください。 *1 「XXXXXX」はモデル名です。 Brother Utilities については⇒ 8 ページ「Brother Utilities について (Windows® のみ)」	
	斜めに印刷されてしまう。	用紙が正しくセットされていますか。	用紙をセットし直してください。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」手順 13

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録
付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	用紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	用紙ストッパーを確実に引き出していますか。	用紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」手順 9
		用紙が正しくセットされていますか。	トレイに用紙を正しくセットしてください。
		種類の違う用紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う用紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」手順 13
		用紙トレイの黒色のゴム部分が汚れていませんか。	黒色のゴム部分を清掃してください。 ⇒ 83 ページ「用紙が重なって給紙されてしまうときは」
		用紙のセット枚数に余裕がありますか。	用紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。用紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
		手差しトレイに用紙を 2 枚以上セットしていませんか。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	手差しトレイには、一度に 1 枚しかセットできません。また、複数枚の用紙を使用するときは、画面に次の用紙のセットを促すメッセージが表示されるのをお待ちください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を 1 枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。
	印刷面に規則的に線が入る。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの「乾きにくい紙」をチェックしてください。
		用紙送り量がずれていませんか。	用紙送り量を補正してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「用紙送り量を補正する」
	文字や画像がゆがんでいる。	用紙がトレイに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 16 ページ「用紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」手順 13
	印刷速度が極端に遅い。	「色補正」または「画質強調」が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がある場合は、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、[拡張機能] タブをクリックし、[色補正] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で [カラー詳細設定] から [画質強調] のチェックを外す。
		「ふちなし印刷」の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常よりも速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がある場合は、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、[基本設定] タブをクリックし、[ふちなし印刷] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 [ファイル]、[ページ設定] をクリックし、[用紙サイズ] のプルダウンメニューから [縁なし] と付いていない用紙サイズを選ぶ。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
	印刷した用紙が汚れたり、しみにになったりする。	カールしている用紙や、厚すぎる用紙を使用していないですか。	- 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 130 ページ「専用紙・推奨紙」 - カールしていない用紙をご利用ください。また、用紙の厚さを確認してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「用紙のセット」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
	印刷面の下部が汚れる。	用紙ストッパーを確実に引き出していますか。	用紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」手順 ⑨
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 83 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「排紙ローラーを清掃する」
	印刷された用紙にしわがよる。	〔双方向印刷〕の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、〔双方向印刷〕に設定されています。〔双方向印刷〕では、薄い用紙をご利用の場合など、用紙の種類によってはしわがよることがあります。〔双方向印刷〕を解除して印刷をお試しく下さい。ただし、〔双方向印刷〕を解除すると、印刷速度は落ちます。 - Windows® の場合 印刷設定画面で、〔拡張機能〕タブ、〔その他特殊機能〕、〔カラー詳細設定〕の順にクリックし、〔双方向印刷〕のチェックを外す。 - Macintosh の場合 印刷設定画面で〔拡張機能〕、〔その他特殊機能〕の順にクリックし、〔双方向印刷〕のチェックを外す。
	インクがにじむ。	用紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている用紙に合わせて、用紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）の向きをセットするトレイに従って、セットしてください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」
	文字や罫線、画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	罫線ずれチェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 82 ページ「罫線ずれ、文字ぶれを改善する」

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	白紙が印刷される。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
	印刷がかすれる。		
	印刷が薄い。		
	白い筋が入る。		
		用紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	用紙の厚さを確認してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「用紙のセット」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 130 ページ「専用紙・推奨紙」
	濃い筋が周期的に入る。	用紙送り量がずれていませんか。	用紙送り量を補正してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「用紙送り量を補正する」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合は、インクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	印刷品質を確認してください。 ⇒ 81 ページ「印刷品質が良くないときは」
		プリントヘッドがずれていませんか。	
		用紙送り量がずれていませんか。	用紙送り量を補正してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「用紙送り量を補正する」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
		用紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	用紙の厚さを確認してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「用紙のセット」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 130 ページ「専用紙・推奨紙」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	印刷の質が悪い。	室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33℃ の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 9 章「仕様」－「温度」
	インクが乾くのにかかり時間がかかる。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）の向きをセットするトレイに従って、セットしてください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」
		用紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、用紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの [基本設定] タブの用紙種類で設定します。
	[2 ページ] 印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで [2 ページ] を設定している場合は、プリンタードライバーの [2 ページ] の設定を解除してください。
	用紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 66 ページ「用紙が前面または内部に詰まったときは」
	自動両面印刷のとき、用紙が何度も詰まる。 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、用紙のうら面が汚れる。 (MFC-J900DN/J900DWN のみ)	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、用紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワーク
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。 (MFC-J830DN/J830DWN のみ)	スライドトレイが奥にセットされているか確認してください。 ⇒ 18 ページ「スライドトレイにセットする (MFC-J830DN/J830DWN のみ)」
デジカメ プリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
		Macintosh をお使いですか。	Macintosh の場合、OS によっては、本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンがデスクトップに表示されます。アイコンがデスクトップに表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったん [ゴミ箱] に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
	よりきれいにプリントしたい。	プリント画質の設定をしていますか。	お好みでプリント画質の調整をしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「設定を変えてプリントするには」
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで [ファイル]－[ソースの選択] または [取り込みデバイスを選択] を順にクリックして、ブラザー TWAIN ドライバー (TW-Brother- モデル名 LAN) を選択し、[OK] または [選択] をクリックしてください。

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録
付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
スキャナー	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。（黒い線が入る） (MFC-J900DN/J900DWNのみ)	ADF 読み取り部が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 82 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
ソフト Windows®	[接続エラーです。] か [本製品はビジー状態です。] というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	①リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワーク
		メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	②メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	③パソコン上で [取り出し] 操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、[取り出し] 操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	①～③の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から [検索] をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワーク
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、製品を選択する画面で、[IP アドレスを指定して検索] をクリックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・ IP 取得方法の変更 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワーク ・ ネットワーク設定リストの印刷 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「本製品の設定内容や機能を確認する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバを正しくインストールしてください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。 ⇒ユーザズガイド パソコン活用 & ネットワーク
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	〔デバイスセクター〕画面で、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザズガイド パソコン活用 & ネットワーク
その他	電源が入らない。	 を押して電源をオンにしましたか。	 を押して、電源をオンにしてください。
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された用紙の下端が汚れる。	用紙ストッパーを確実に引き出していますか。	用紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」手順 9
	出力された用紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	複合機本体：画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザズガイド 応用編 第 2 章「画面の明るさを設定する」
		子機：画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ユーザズガイド 応用編 第 2 章「子機の画面のコントラストを変更する」
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	用紙トレイが抜けにくい。	用紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

《第 11 章 こんなときは》

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	用紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		用紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	用紙トレイを清掃してください。用紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ユーザズガイド 応用編 第 8 章「本製品の外側を清掃する」
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。	

複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは

ファクス送受信時には、複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っている必要があります。2 台のあいだの通信がうまくいかないときや、ファクスが送れないときは、次の項目を確認してください。

- 複合機本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、 で電源が入っていますか？
- 通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
- 通信ボックスから電話機コードが抜けていませんか？
- 電話機コードは壁側の電話機コード差し込み口にしっかり差し込まれていますか？

通信ボックスとの接続を確認する

上記を確認しても通信できない場合は、次の手順で、複合機本体と通信ボックスの接続状況およびメッセージ内容を確認してください。

1 【メニュー】を押す

2 【接続確認】(1) を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。メッセージの詳細については、下記をご覧ください。
⇒ 84 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押して確認を終了する

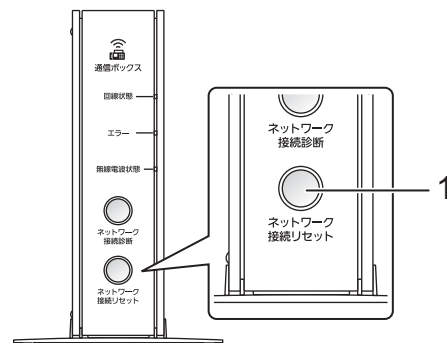
通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の状態に戻す（通信ボックスの再接続）

電源コード、電話機コードの差し込みや通信ボックスと複合機本体間の距離などを調整し、再度接続確認を行っても正常に通信しないときは、2 者間の通信を本製品お買い上げ時の状態に戻す通信ボックスの再接続を行ってください。

1 通信ボックスの電源プラグがしっかりと接続され、複合機本体の電源がオンになっていることを確認する

2 通信ボックス前面のネットワーク接続リセットボタン (1) を 5 秒以上押す

前面のランプが 3 つとも点滅を始めたらボタンから指を離してください。



接続が正常に戻ると回線状態ランプと無線電波状態ランプが点灯します。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

ファクス通信で困ったときは

通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試してください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決しない場合は、本製品で受信したファクスを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する

1 を押して、エラーメッセージを閉じる

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。
- ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 **4** に進んでください。

4 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する

1 を押して、エラーメッセージを閉じる

2 Brother Utilities を起動する

- Windows® XP、Windows Vista®, Windows® 7 の場合
スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] -  (Brother Utilities) の順にクリックします。
- Windows® 8 の場合
スタート画面またはデスクトップ上の  (Brother Utilities) をダブルクリックまたはタップします。
- Windows® 8.1 の場合
スタート画面の左下の  をクリックします。(タッチパネルをご使用の場合は、下から上へスワイプしても、アプリ画面が表示されます。)
アプリ画面が表示されたら  (Brother Utilities) をクリックまたはタップします。

3 モデル名を選択する

4 ナビゲーションバーのメニューから、[パソコンからファクスを送受信する] - [PC-FAX 受信を起動] をクリックする

5 パソコンの画面の指示に従って操作する

この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態に戻してください。

⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ファクスをメモリーで受信する」

- 本製品のメモリーに残っているファクスがパソコンに転送されない場合は

本製品が【PC ファクス受信】に設定されているかを確認してください。

PC-FAX 受信を起動させたときにメモリーにファクスメッセージがあるときは、本製品の画面にパソコンに転送するかどうかを確認するメッセージが表示されます。【はい】を押すとすべてのファクスがパソコンに転送されます。

このあと「みるだけ受信」が設定されていない場合は、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を選んでください。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する

- 1  を押して、エラーメッセージを閉じる
- 2 【メニュー】を押す
- 3 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す
※発信元登録がされていないと転送ができません。
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

回線環境を改善する

特別な回線に合わせて設定する

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【特別回線対応】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 回線種別を選ぶ
お使いの環境に合わせて、【一般 / PBX / 光・ISDN】から選びます。
- 4  を押して設定を終了する

お願い

- 【PBX】に設定すると、ナンバー・ディスプレイの設定が無効になります。【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にするときは、【特別回線対応】の設定を【一般】にしてください。

安心通信モードに設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【安心 (VoIP)】を押す
設定を戻すときは、【高速】または【標準】を選びます。

お願い

- 【安心 (VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、【標準】に設定してください。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

4 を押して設定を終了する

-  【安心 (VoIP)】に設定すると、ファクスの送信・受信にかかる時間が、より長くなります。
-  【安心 (VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【高速】または【標準】に設定して使用してください。
-  IP 電話で通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
-  ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
 - 通信回線の品質
 - 信号レベル
 - 通信相手機の影響
 - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。

お願い

- 【検知する】に設定している場合、使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】に設定してください。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【検知する】または【検知しない】を押す

4 を押して設定を終了する

現在の電話回線状態を確認する

現在の回線状態を診断し、結果を印刷することができます。

1 用紙をセットする

⇒ 16 ページ「用紙トレイにセットする」

⇒ 21 ページ「多目的トレイにセットする (MFC-J900DN/J900DWN のみ)」

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【電話回線診断】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

画面に【電話回線の接続状況を診断し結果を印刷します 診断を開始しますか? / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

回線診断が始まります。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

回線状況に応じて通話音質を調整する

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。

1 子機の^{「機能確定」}を押す

2 で【通話音質】を選び、^{「機能確定」}を押す

3 で現在とは異なる設定値を選び、^{「機能確定」}を押す

設定後、声の響きかたを確認してください。
【音質設定 1】、【音質設定 2】、【音質設定 3】、【音質設定 4】の順にお試しください。

-  【音質設定 1】 → 【音質設定 2】 → 【音質設定 3】 → 【音質設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感ずることがあります。

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

初期化内容一覧

初期化機能 (メニュー)	機能設定 リセット	ネットワーク 設定リセット	電話帳 & ファクス リセット	全設定 リセット
初期化される内容				
複合機本体の各種機能の設定内容	○			○
無線 LAN の設定内容		○		○
ファクスの発信元情報 (登録した名前 / ファクス番号)			○	○
複合機本体電話帳の内容 (グループダイヤルを含む)			○	○
電話の発信履歴 (再ダイヤル機能を含む) *1				
電話の着信履歴 *2			○	○
ファクスの発信履歴、着信履歴			○	○
留守録転送の設定	○		○	○
暗証番号 (リモコンアクセス)				○
通信管理レポートの内容			○	○
メモリーに保存されている音声データ			○	○
メモリーに保存されているファクスデータ			○	○
通信待ちのファクスデータ	○		○	○
録音した応答メッセージ	○		○	○
録音した通話内容			○	○
子機電話帳の内容 *1				

*1 通信ボックスや複合機本体の操作では初期化できません。子機単体で初期化する必要があります。

*2 電話の着信履歴は、複合機本体で消去しても子機には残ります。

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

録付

初期化のしかた

初期化は、通信ボックスと複合機本体が正常に接続されている状態で行ってください。

複合機本体

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

- 3 初期化メニューを選ぶ

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 電話帳 & ファクスリセット
- 全設定リセット

初期化していいかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 4 【はい】を押す

【再起動しますか？ 実行する場合は [はい] を2秒間押してください キャンセルする場合は [いいえ] を押してください】と表示されます。

- 5 【はい】を2秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待ち受けまたは時計設定の画面になるまで触らずにお待ちください。

初期化後、【全設定リセットできません】というメッセージが表示された場合は、通信ボックスの初期化に失敗しました。

この場合は、通信ボックス単体で初期化してください。

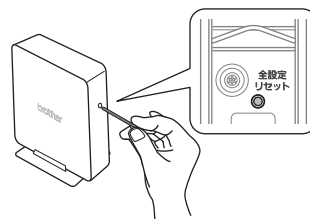
⇒ 122 ページ「通信ボックスで全設定リセットする」

通信ボックスで全設定リセットする

複合機本体での初期化後、【全設定リセットできません】とメッセージが表示された場合には、下記の手順で初期化してください。

- 1 通信ボックスの電源プラグと電話機コードがすべてしっかりとつながっていることを確認する
- 2 通信ボックス背面の全設定リセットボタンを、先の細いピンのようなもので5秒以上押す

通信ボックス前面のランプが3つとも点滅し始めるのを目安にしてください。点滅が始まったらボタンからピンを離してください。



3つのランプの点滅が止まり、しばらくのあいだ点灯・点滅を繰り返します。1分ほど経過すると複合機本体との無線信号の交換が始まり、続いて自動的に「回線種別設定」が始まります。

通信ボックスが回線種別を認識し、設定できると「回線状態ランプ」が点灯し、複合機本体と正常に接続できると「無線電波状態ランプ」が点灯します。

「無線電波状態ランプ」が点灯しないときは、通信ボックスの初期化をいったん中止し、下記をご覧になって、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 117 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

その後、再度通信ボックスの初期化を行ってください。

3 通信ボックスの「エラーランプ」が 消灯し、「無線電波状態ランプ」が 点灯していることを確認する

通信ボックスが初期化できました。引き続き複合機本体の【全設定リセット】を実行し、複合機本体を初期化してください。
「回線状態ランプ」が消灯しているときは、複合機本体を初期化したあと、回線種別設定を行ってください。
⇒ユーザズガイド 応用編 第 2 章「電話 / ファクス回線種別を設定する」

子機の電話帳 / 履歴を消去する

子機電話帳の内容、発信履歴、着信履歴を消去します。

お願い

■ 子機電話帳の内容は、いったん初期化すると元に戻すことができないのでご注意ください。また、子機電話帳単独では、リストを印刷したり、データを保存することはできないため、子機の電話帳データを残したいときは、いったん複合機本体に転送してください。
⇒ユーザズガイド 応用編 第 6 章「子機の電話帳を本製品（親機）に転送する」

- 子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。
- 子機の電話帳や履歴を削除しても、複合機本体には反映されません。

1 子機の を続けて押す

【個人情報 消去？ / 1. スル 2. シナイ】と表示されます。

2 を押す

【全て消去？ / 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。

3 を押す

情報が消去されます。

4 を押して操作を終了する

ご使用前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付録

こんなときは

子機を増設する / 登録抹消する

【子機増設モード】

別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。MFC-J830DWN/J900DWN は 2 台、MFC-J830DN/J900DN は 3 台の子機を増設することができます。付属の子機とあわせ、本製品で使えるのは最大 4 台です。

使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

増設 / 抹消の操作方法については、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

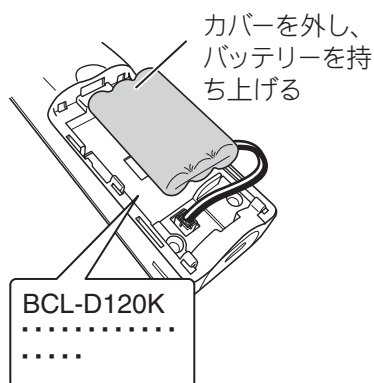
増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。

<http://support.brother.co.jp/>

- 増設子機（BCL-D120K-BK（黒）、BCL-D120K-WH（白））は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 131 ページ「消耗品などのご注文について」

- BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機は増設することができません。子機の型番の調べ方は下図をご覧ください。

◀子機型番の調べ方▶



停電になったときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。ファクスの送受信もできません。

本製品のメモリーに保存されているデータは本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

お願い

- 日付と時刻は設定し直してください。
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「日付と時刻を設定する」

本製品のシリアルナンバーを確認する

【製品情報】

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【製品情報】、【シリアル No.】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

- 3 を押して確認を終了する

本製品のファームウェアのバージョンや更新情報を確認する

【製品情報】

本製品の現在のファームウェアのバージョンを調べることができます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【全てのメニュー】、【製品情報】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 確認したい情報を選ぶ

- 【ファームウェアバージョン】
【Main バージョン】または【Sub3 バージョン】を押すと、本製品のファームウェアバージョンが表示されます。
- 【ファームウェア更新】
最新のファームウェアに更新します。
- 【ファームウェア更新通知】
【オン】に設定すると、ファームウェアが更新されたときに、待ち受け画面にメッセージが表示されます。

 ファームウェアの更新や更新通知を受け取るには、インターネット接続が必要です。

- 4 を押して確認を終了する

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジタルプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

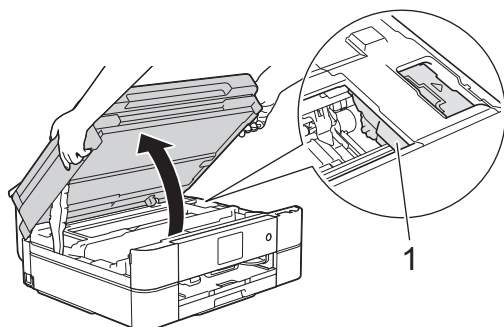
こんなときは

付録

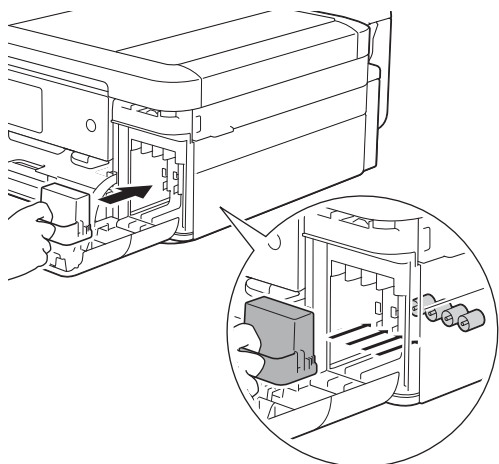
本製品を輸送するときは

引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

- 輸送時のインク漏れを防ぐため、プリントヘッド(1)が、図のように右端で止まっていることを確認してください。

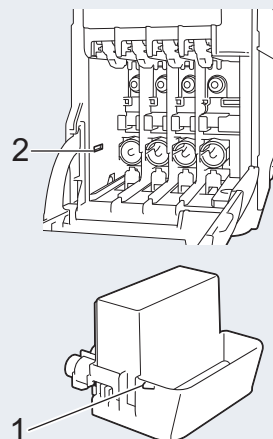


- 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。
- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。



重要

- 保護部材の突起 (1) が、カートリッジのセット部内壁の溝 (2) の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄する場合は、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 121 ページ「初期状態に戻す」

また、子機には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。子機のバッテリーの取り外しかたおよびリサイクルについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 64 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。

一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者へ引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

索引

数字

- 2 ページ印刷がうまくできない 113
2 枚に分かれて印刷される (ファクス受信) 106

英字

- ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする 25
ADF (自動原稿送り装置) のトラブル 107
ADSL のトラブル 99
Brother Utilities 8
ControlCenter 36
ISDN のトラブル 98
Macintosh 使用時のトラブル 115
NFC (近距離無線通信) 38
PictBridge のトラブル 113
Presto! PageManager のお問い合わせ 裏表紙
TWAIN エラー 113
Windows® 使用時のトラブル 114

あ行

- 相手に声が聞こえにくい / 聞こえない 97
相手に声が聞こえにくい / 聞こえない (子機) 101
アフターサービスのご案内 裏表紙
安心通信モード 119
インクカートリッジ 130, 131
インクが乾くのにかかる時間 113
インクがにじむ (印刷) 111
印刷テスト 81
印刷のトラブル
印刷が薄い、かすれる 81
印刷が汚い 81, 112
印刷が極端に遅い 110
印刷が斜めになる 109
印刷できない 108
印刷できない (Macintosh) 115
印刷に規則的な線が入る 110
印刷に白い筋が入る 112
印刷の端や中央がかすむ 112
液晶ディスプレイ (子機) 15
エラーメッセージ 84
エラーメッセージ (子機) 93
応答しない 97
お客様相談窓口 裏表紙
音量ボタン (子機) 14

か行

- 外出先から操作できない 102
外線ボタン (子機) 14
会話データの再生 / 消去 41
会話を録音する 41
かすれる (コピー / 印刷) 81
画像の周りに余白ができる (スキャン) 114

- 画像の乱れ (ファクス通信) 104
紙が詰まったときは 66
画面の文字が読みにくい 115
カラーファクス受信ができない 103
かんたん印刷 39
関連製品のご案内 130
機能 / 確定ボタン (子機) 14
機能設定リセット 122
キャッチ / 着信履歴ボタン (子機) 14
キャッチホンサービス 47
キャッチホンで電話を受ける 47
キャッチホンでファクスを受ける 47
キャッチホンのトラブル 97
給紙ローラーを清掃する 83
切ボタン (子機) 14
クリア / 音質ボタン (子機) 14
黒い線 (ADF 使用でスキャン) 114
黒い線 (コピー) 106
黒い線 (ファクス) 104
警告音が鳴る (子機) 102
罫線ずれチェック / 補正 82
原稿が送り込まれない (ADF 使用) 107
原稿が詰まったときは 78
原稿が斜めになる (ADF 使用) 107
原稿のセット 24
公衆電話拒否 49
光沢紙が送り込まれない (印刷) 110
光沢紙が送り込まれない (コピー) 107
声が大きく聞こえて話しにくい (ISDN) 98
声が途切れる 97
声が途切れる (子機) 100
コールセンター 裏表紙
子機 13
子機が温かい 101
子機に何も表示されない 101
子機の増設 124
子機のトラブル 99
子機のバッテリー交換 64
子機を置いたまま通話する 43
子機を置いたまま電話をかける 42
故障 96
個人情報の消去 (子機) 123
コピー 34
トラブル 102
汚れ 105
設定変更 34

さ行

- 最近かかってきた相手に電話する 42
最近かけた相手に電話する 42
再ダイヤル 42
再ダイヤルボタン (子機) 13
再呼出 (ベル / メッセージ / 時間) の設定 30
雑音が入る (子機) 100

《第 12 章 付録》

サポートサイト	4
自動受信	53
自動送信	51
自動的に本製品が動き出す（操作なしで）	115
自分の声が響く	97
自分の声が響く（子機）	101
写真の一部がプリントされない	113
写真をプリントする（デジカメプリント）	39
「充電中」と表示されない（子機）	101
充電できない（子機）	101
充電ランプ（子機）	14
手動受信	53
受話音質（子機）	43
受話音量が小さい	97
受話口（子機）	13
使用済み電池の届出	65
初期状態に戻す	121
シリアルナンバーの確認	125
白い筋（印刷面）	112
しわ（印刷後）	111
スキャナー（読み取り部）の清掃	82
スキャンしたデータをパソコンに保存する	36
スキャンのトラブル	113, 114
スピーカー音量が小さい	96
スピーカー（子機）	13
スピーカーホンボタン（子機）	14
スピーカーホン	42, 43
スピーカーホン通話ができない（子機）	97
製品情報	125
接続エラー	114
接続確認	117
設置場所（子機）	15
線が入る	110
全設定リセット（通信ボックス）	122
全設定リセット（複合機本体）	122
全設定リセットボタン（通信ボックス）	12
専用紙・推奨紙	130
操作パネル	9
操作パネルの角度を調整する	9
操作パネル（子機）	13
送受信できない	102
送信できない（IP 網使用）	104
送信できない（電話帳）	104
送話口（子機）	14

た行

ダイヤルイン	97
ダイヤルできない	96
ダイヤルトーン設定	120
ダイヤルボタン（子機）	14
縮んでいる（ファクス受信）	104
着信音が小さい / 鳴らない	97
着信音が鳴らない（子機）	99
着信鳴り分け設定	48
中央がかすむ（印刷）	112
注文	131
通信エラーの解消（安心通信モード）	119
通信ボックス	12
通信ボックスのランプ	12

通話音質調整	120
通話が切れる	97
通話が切れる（子機）	100
通話を録音する	41
「ツー」音が聞こえない	97
ディスクが詰まったときは	79
ディスクのセット	26
停電	124
デジカメからプリントできない（PictBridge）	113
電源が入らない	115
電源が入らない（子機）	101
電話がかかけられない	96
電話がかかけられない（子機）	99
電話機コード接続	12
電話帳	
消去（子機）	123
消去（複合機本体）	122
登録（子機）	56
登録（複合機本体）	55
電話帳 & ファクスリセット	122
電話帳からダイヤルできない	96
電話帳から電話をかける	40
電話帳からファクス送信できない	104
電話帳ボタン（子機）	14
電話取り次ぎ	44
電話に応答しない	97
電話のトラブル	96
電話番号が表示されない （ナンバー・ディスプレイ）	98
電話をかける / 受ける	40
トールセーバー	29
特別回線対応	119
トリプル通話	45

な行

内緒話モード	43
内線通話	45
内線 / 保留ボタン（子機）	14
斜めに印刷される	109
斜めに原稿が送られる	107
ナンバー・ディスプレイサービス	31
ナンバー・ディスプレイのトラブル	98, 99
にじみ（印刷）	111
ネットワーク接続診断ボタン（通信ボックス）	12
ネットワーク接続リセットボタン （通信ボックス）	12, 117
ネットワーク設定リセット	122

は行

廃棄	126
はがきに印刷する	33
白紙が出る（印刷）	112
白紙が出る（コピー）	105
端がかすむ（印刷）	112
発信元登録	54
発信履歴ボタン（子機）	13
バッテリー交換（子機）	64
バッテリー残量（子機）	15

ひかり電話のトラブル	99, 103
ビジー状態	114
非通知着信拒否	49
非通知の相手からの着信ができない	99
「ピッピッピッ」と鳴る（子機）	102
表示圏外拒否	49
ファームウェアバージョンの確認	125
ファクス	
自動送信	51
受信	50, 53
受信したファクスの汚れ	105
受信できない	103
送受信できない	102
送信	50, 51
送信できない	103
送信できない（IP 網使用）	104
送信できない（電話帳）	104
トラブル	102, 118
無鳴動受信	28
ファクス受信ランプ（子機）	14
プッシュホンサービスを利用する	43
プリント	32
プリントのトラブル	107
ベル（呼び出し回数）	29
ベル（再呼出時間）	30
ポーズボタン（子機）	13
保留ボタン（子機）	14
本製品が表示されない（Macintosh）	115
「本製品はビジー状態です」	114

ま行

マイク（子機）	14
待ち受け画面	10
無線 LAN レポート	95
迷惑電話拒否	46
迷惑番号指定	49
メッセージが途中で切れている / 録音できない ...	102
メッセージの再生 / 消去 / 停止	62
メモリーカードのトラブル（Macintosh）	115
メモリーカードのトラブル（Windows®）	114
文字切替ボタン（子機）	13
文字化け、文字欠け	111
文字や画像のゆがみ	110

や行

輸送（本製品）	126
用紙トレイの確認	23
用紙に合わせるが使えない	107
用紙のセット	
スライドトレイ	18
多目的トレイ	21
手差しトレイ	20
用紙トレイ	16
用紙のトラブル	
用紙が重なって送り込まれる	107, 110
用紙がしわになる（印刷後）	111
用紙がそろわない	115
用紙下端の汚れ	115
用紙が出てこない（コピー）	105

用紙が白紙で排出される	105
用紙が詰まった	66
汚れ（印刷）	111
汚れ（コピー）	105
汚れ（受信したファクス）	105
汚れ（用紙の下端）	107, 111
呼出ベル回数	29

ら行

リサイクル（電池）	65
リセットボタン（通信ボックス）	12
留守応答メッセージ	61
留守番機能	57
留守番機能解除	62
留守番機能のセット	61
留守番電話応答メッセージ	59
留守モード	61
留守 / 録音ボタン（子機）	14
留守録メッセージの再生 / 消去	62
留守録モニター	60
録音時間	58
録音（通話中の会話）	41
録音できない	102
録音途中で切れている	102
録音（応答メッセージ）	59

ご使用の前に

プリント

コピー

スキャン

NFC

デジカメプリント

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

こんなときは

付 録

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
 名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
 特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
 高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。



消耗品

インクや用紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。純正品は、弊社公式直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」でもご購入になれます。詳しくは、⇒ 131 ページをご覧ください。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC211BK
イエロー（黄）	LC211Y
シアン（青）	LC211C
マゼンタ（赤）	LC211M
4 個パック [ブラック（黒）/イエロー（黄）/シアン（青）/マゼンタ（赤）各 1 個]	LC211-4PK
黒 2 個パック [ブラック（黒） 2 個]	LC211BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

用紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（<http://support.brother.co.jp/>）をご覧ください。

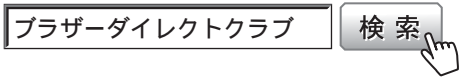
その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

消耗品などのご注文について

純正消耗品は家電量販店でお買い求めになれます。また、弊社の直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」では、インターネットやお電話によるご注文を承っております。

● インターネットによるご注文

 http://direct.brother.co.jp	 公式直販サイト ダイレクトクラブ スマートフォンなどの携帯端末からは、上記の二次元コードを読み取ってアクセスしてください。
--	---

● お電話によるご注文

フリーダイヤル：☎ 0120-118-825

(土・日・祝日、弊社指定休日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時)

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm>

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート



サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問(Q & A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー

検索

<http://support.brother.co.jp/>

故障・トラブルかんたん診断

24時間対応のオンラインサービスです。選択肢に沿って進むことで、解決策が見つかります。万一、故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。



スマートフォン
からはこちら

ブラザーサポートナビ24

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ブラザーコールセンター (お客様相談窓口)

0570-061015

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～土 9:00～18:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

●製品ご購入後1年間無償保証いたします。

※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

※修理の際は故障部位にかかわらず、複合機本体、通信ボックス、子機すべてをいったん回収させていただきます。あらかじめご了承ください。

※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

●5日以内に修理品を返送。

弊社到着後、5日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。

ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター

電話：03-5472-7008 FAX：03-5472-7009 10:00～12:00 13:00～17:00 (土日・祝日を除く)

テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp ホームページ：<http://www.newsoft.co.jp>

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。

●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。(印刷物は2年です)

brother

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1



LEX131047-00

JPN

Printed in China

Version 0